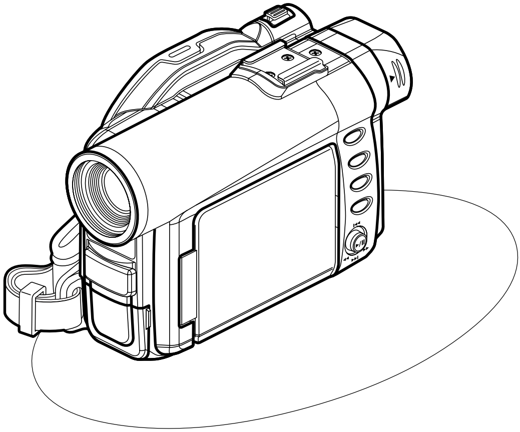
Panasonic

DVDビデオカメラ

取扱説明書

品番 VDR-M30K



DVD DIGICAM

はじめに

本体の準備

撮る

見る

使いこなす（カメラを設定する）

編集する（ディスクナビゲーション機能）

上手に使って上手に節電

保証書別添付

パソコンと接続する

その他

本機で撮影・再生するには、8cmDVD-RAM規格およびDVDビデオレコーディング規格に準拠した8cm DVD-RAMディスクが必要です。

MultiMediaCard™

このたびは、DVDビデオカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT0E24

もくじ

パソコンと接続する

その他

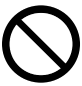
安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）**

	この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

バッテリーパックの充電は、専用のACアダプター／チャージャーを使う	機器の形状が同じでも性能が異なると、バッテリーパックの液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。 ・バッテリーパックを指定以外の機器に使わないでください。	
バッテリーパックの端子部（⊕と⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない	液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。 ・ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。	禁止
バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない	液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。	禁止
バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない	液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。	禁止

警告

異常なときは使わない	火災や感電の原因となります。 煙が出ている、変なにおいがするなど異常なときは、ただちに使用を中止し、バッテリーパックやACアダプター／チャージャーなどの電源を外してください。 ・修理については、販売店にご相談ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。 ・本機を落としたりして強い衝撃を与えると、ケースが破損し、異常な状態になることがあります。	禁止
分解・改造しない、カバーを開けない	火災や感電の原因となります。 ・カバーの内部には、電圧の高い危険な部分もあります。 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。	分解禁止
内部に異物を入れない	火災や感電の原因となります。 本機・ACアダプター／チャージャーの内部に水や金属類、燃えやすいものを入れないでください。 ・万一異物が内部に入った場合は、すぐに使用を中止し、バッテリーパックやACアダプター／チャージャー・電源コードを外して販売店にご相談ください。	禁止

⚠ 警告

自動車などの運転中は使わない	自動車・オートバイ・自転車などの運転中に撮影や再生をしないでください。交通事故の原因となります。	禁止
歩きながら使うときは、周囲の状況に注意する	歩きながら使用すると、転倒や交通事故の原因となることがあります。また、不安定な場所での撮影は、転倒や転落などにより事故や大けがの原因となります。撮影するときは、周囲の状況に注意を払ってください。	
雷が鳴るときは使わない	屋外で使用中に雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプター／チャージャーなどの電源プラグに触れないでください。	接触禁止
ぬれた手でプラグの抜き差しをしない	プラグを抜き差しするときは、ぬれた手で触らないでください。感電の原因となることがあります。	ぬれ手禁止
ACアダプター／チャージャーを水にぬらさない	風呂場やシャワー室などの水のかかるところでACアダプター／チャージャーを使用しないでください。火災や感電の原因となります。	水場使用禁止
ACアダプター／チャージャーは電源コンセントの近くで使用する	ACアダプター／チャージャーは、電源コンセントの近くで使用してください。タンスの裏や机の下など、手の届きにくいところの電源コンセントには差し込まないでください。	
ACアダプター／チャージャーのケースを破損しない	万一落としたりしてケースを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。	電源プラグを抜く
コイン電池やSDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない	誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 ・万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。	禁止
電源コードを破損しない	火災や感電の原因となります。 電源コードを破損しないよう、取り扱いの際は、次のことを守ってください。 ・刃物などで傷つけない ・ねじらない ・無理に曲げない ・重いものや角が鋭利なものをのせない ・加熱しない ・引っ張らない ・加工しない ・束ねない ・敷物などでおおわない ・万一コードが破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。	禁止

⚠ 警告

電源プラグは確実に接続する	電源プラグの接続が不完全なまま使用すると、接触不良で発熱し、火災の原因となります。	
たこ足配線をしない	火災の原因となります。	禁止
電源プラグに異物を付着させない	電源プラグにほこりや汚れ、金属などの異物が付着したまま使用すると、発熱し、火災や感電の原因となります。異物が付着したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で異物を取り除いてください。	禁止
市販の電子式変圧器は使わない	海外旅行用に市販されている電子式変圧器にACアダプター／チャージャーを接続しないでください。火災や感電の原因となります。	禁止

⚠ 注意

バッテリーパック、ショルダーベルト、マジックストラップは正しく取り付ける	取り付けかたが不完全なまま使用すると、落下などにより、けがの原因となることがあります。	
水にぬらさない	本機に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。故障の原因となります。雨天時、降雪時、海岸や水辺での使用時には、特にご注意ください。	水ぬれ禁止
レンズ・ビューファインダーを太陽光に向けない	レンズ・ビューファインダーを太陽光に向けたままにしておくと、集光により発熱し、火災の原因となることがあります。	禁止
航空機内で使うときは、航空会社の指示に従う	航空機の中など、使用を制限または禁止されているところでは使用しないでください。本機の出す電磁波により、航空機の計器類に影響をおよぼすことがあります。	
ディスク挿入口に指をはさまれないように注意する	ディスク挿入部のふたなどに手をはさまれて、けがの原因となることがあります。お子様が触らないようご注意ください。	

⚠注意

内部の部品に触れない	ディスク挿入部のふたを開けて、中に指を入れたり、内部の部品に触れたりしないでください。けがの原因や故障の原因となることがあります。	接触禁止
不安定な場所で三脚を使わない	倒れてけがの原因となります。	禁止
三脚を付けたまま持ち運ばない	持ち運んでいるときの振動や衝撃により、三脚のねじがゆるんで本機が落下し、けがの原因となることがあります。	禁止
本機を落とさない	ガラス部分が壊れ、けがの原因となることがあります。またバッテリーパックが破損すると、液漏れにより、けがや周囲の汚損の原因となります。	禁止
電源コードや接続ケーブルに注意する	電源コードや接続ケーブルに足を引っ掛けると、転倒したりけがの原因となることがあります。	⚠
電源コードを引っ張って抜かない	コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。	禁止
本機や電源コードを熱器具に近付けない	機器表面や部品が劣化するほか、火災や感電の原因になることがあります。	禁止
長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントにつないだまま長期間放置すると、火災の原因となることがあります。	電源プラグを抜く
AC アダプター／チャージャーを振動の多いところに置かない	振動によって内部部品が破損すると、発熱し、火災や故障の原因となることがあります。	禁止
AC アダプター／チャージャーをほこりや湿気の多いところに置かない	内部にほこりや水分が入ると、火災や感電の原因となることがあります。	禁止

⚠注意

AC アダプター／チャージャーを油煙や湿気の当たるところに置かない	調理台や加湿器のそばに置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。	禁止
コイン電池の取り扱いに注意する	コイン電池を取り扱うときは、次のことをお守りください。 ・火や水の中に投入しない ・火に近付けたり、加熱しない ・ショートさせない ・鍵などの金属物と接触させない ・分解・改造しない ・衝撃を与えない ・種類の異なるものを使用しない ・高温場所（60℃以上）で使用しない	⚠
コイン電池の向きに注意する	リモコンに電池を入れるときは、極性に注意してください。向きを間違えて入れると、電池の破裂や液漏れにつながり、火災やけが、やけどなどの原因となります。	⚠
バッテリーパックやコイン電池の保管場所に気を付ける	直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。	⚠
コイン電池に直接はんだ付けしない	火災や感電の原因となることがあります。	禁止
レーザーピックアップ部に触らない	レーザーピックアップ部を直接手で触らないでください。 故障の原因となることがあります。	接触禁止

電池が液漏れしたときは：

- 万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

使用上のお願い

まずお読みください

ためし撮りをしましょう

・ 本番前に必ずためし撮りをして、正常に記録されることを確認してください。本機の故障のため正常に記録できなかったデータは復元できません。
また、ためし撮りは録画した内容を消去することができるDVD-RAMディスクをお使いになることをおすすめします。

録画内容の補償はできません

・ 万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。（下記の様な操作を行うと不具合を生じる可能性があります）
  ・本機で録画・録音・編集したディスクを他社の DVD レコーダーやパソコンの DVD ドライブで動作させる
  ・上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる
  ・他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで記録したディスクを本機で動作させる

著作権について

・ お客様が他のデジタル／アナログのメディア／機器から本機のディスクやカードに記録したデータは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。また、実演や興業、展示物などは、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、お気を付けください。

業務用として使わないでください

・ 本機は一般のご家庭での撮影／再生を目的として作られています。

本機の取り扱い

液晶モニターの取り扱いについて

・ 液晶モニターは、とても繊細な表示装置です。壊れやすいので、表面を強く押したり、たたいたり、先のとがったもので突いたりしないでください。
・ 表面を押すと、表示ムラができることがあります。表示ムラがなかなか消えないときは、いったん電源を切り、しばらく待ってから入れ直してください。
・ 液晶モニターを下側にして本機を置かないでください。
・ 本機の液晶モニターは、使用しないときは閉じてください。

液晶モニター・ビューファインダーについて

- 液晶モニターやビューファインダーは非常に精密度の高い技術で作られています。全表示画素のうち（液晶モニターは約12万画素、ビューファインダーは約11万画素）0.01%以下の画素欠け（黒い点）や常時点灯（赤・青・緑）するものがあります。これは現在の技術の限界であり、不良ではなく、録画には支障ありません。
- 寒冷地など本体が冷えきっている場合や電源を入れた直後は、液晶モニターやビューファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

正しい持ちかたをする

- ビューファインダ－や液晶モニターをつかんで本機を持ち上げると、ビューファインダーや液晶モニターが外れて、本機が落下することがあります。

衝撃を与えない

- 本機は精密機械です。硬いものにぶつけたり、落としたりしないよう、十分お気を付けください。
- 三脚に固定して使用するときは、極度に振動、衝撃の大きいところで使用しないでください。

砂やほこりがかからないようにする

- 細かい砂やほこりが本機･ACアダプター／チャージャーの内部に入ると、故障の原因となります。

水や油など、液体がかからないようにする

- 本機･ACアダプター／チャージャーの内部に水や油が入ると、感電や故障の原因となります。

製品表面の熱について

- 本機は製品表面が多少熱くなりますが、故障ではありません。

接続したテレビの画面について

- ディスクナビゲーション画面や静止画、カメラ画面を接続したテレビに表示したままにしないでください。テレビの画面に焼き付きなどの損傷を与えることがあります。

環境の温度に気を付ける

- 気温40℃以上の暑いところや、0℃以下の寒いところで使用すると、正常に撮影／再生できないことがあります。
- 本機とパソコンをつないで使用するときは、室温（0～30℃）で行ってください。また、長時間連続使用しないでください（約30分を目安）。気温の高いところで長時間使用すると、本機が熱くなり正常に動作しなくなることがあります。
- 海岸の砂の上や締め切った車内などに長時間放置すると、故障するおそれがあります。

太陽に向けない

- レンズやビューファインダーに直射日光が入ると、本機が故障したり火災が発生するおそれがあります。
- 液晶モニターを直射日光に当てたまま放置すると、故障の原因となります。

テレビやラジオの近くで使わない

- テレビ画面にノイズが出たり、ラジオに雑音が入ることがあります。

強い電波や磁気のあるところで使わない

・ 電波塔の近くやモーターが含まれる電化製品のそばなど、強い電波や磁気のあるところで使用すると、映像・画像・音声の記録時に雑音が入ることがあります。また、正常に記録されている映像・画像・音声でも、再生時に雑音が入ることがあります。本機が故障することもあります。

油煙や湯気の多いところで使わない

・ 本体ケースが変形したり、レーザーピックアップ部のレンズが汚れたり、故障の原因となります。

腐食性ガスがあるところで使わない

・ ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンなどの排気ガスや硫化水素のような腐食性のガスがあるところで使用すると、バッテリーパック取付け端子が腐食し、電源が入らなくなることがあります。

超音波加湿器の近くで使わない

・ 加湿器に入っている水の水質によっては、水中に溶けているカルシウムなどが空気中に飛散し、本機のレーザーピックアップ部に白い粉として付着して、本機が正常に動作しなくなることがあります。

殺虫剤などがかからないようにする

・ 本機の内部に殺虫剤などが入ると、レーザーピックアップ部のレンズが汚れ、本機が正常に動作しなくなることがあります。殺虫剤などを使用するときは、本機の電源を切り、ビニールシートなどでカバーしてください。

市販の 8 cmCD レンズクリーナーを使用しない

・ 一般的な使用では、レンズクリーニングは不要です。

・ 8 cmCD レンズクリーナーを使用すると、本機が故障するおそれがあります。

露付きについて

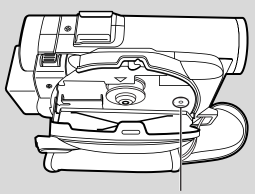
・ 冬にスキー場のゲレンデからロッジに入ったり、夏に冷房の効いた部屋や車内から屋外に出たりしたときに、極端な温度差によりレンズや本機の内部に結露（暖かい水蒸気が急速に冷やされて水滴になること）することがあります。できるだけディスクやカード挿入部のふたは開けないでください。レンズが結露した場合は、乾いたやわらかい布でふき取ってください。外部が乾いても内部に結露が残っている場合があります。電源を切った状態でなるべく乾燥した場所に 1 ～ 2 時間以上置き、乾いてからお使いください。

長時間連続して使わない

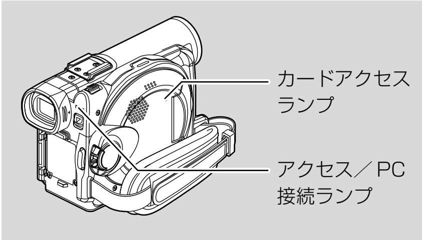
・ 本機は、監視カメラやモニターとして長時間連続して使用することはできません。長時間連続して使用した結果、温度が一定限度をこえて上昇すると、記録／再生動作が遅くなることがあります。この場合は、電源を切ってしばらくたってから使用してください。

カメラの内部に手を触れない

・ 特にレーザーピックアップ部のレンズを直接手で触らないでください。故障の原因となります。
レーザーピックアップ部の補償はできませんので、あらかじめご了承ください。



アクセス／PC 接続ランプやカードアクセスランプが点灯または点滅しているときは、本機の電源を切らない



・ アクセス／PC 接続ランプやカードアクセスランプが点灯または点滅しているときは、ディスクやカードにデータが書き込まれたり、読み出されたりしています。このときに以下のことをするとデータが壊れるおそれがあります。
  ・バッテリーパックを取り外す
  ・AC アダプター／チャージャーとの接続を外す
  ・USB ケーブルを抜き差しする
  ・ディスクやカードを取り出す
  ・強い振動や衝撃を加える
  ・液晶モニターを激しく開閉する

ディスク使用時、アクセス／PC 接続ランプが点灯または点滅しているときに、万一電源を切ってしまった場合は、ディスクを入れたまま、再度電源を入れてください。ディスクの修復を行います（☞P.172）。

本体ケースをベンジンやシンナーなどでふかない

・ 本体ケースの塗装がはがれたり、変形することがあります。
・ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

別売アクセサリーの説明書もお読みください

・ 別売のアクセサリーについては、それぞれの説明書の指示に従ってください。

保管について

非常に高温になるところに長時間放置しない

・ 締め切った車内やトランク内は、非常に高温になります。このような場所に置いたままにすると、本機が故障したり、本体が変形したりするおそれがあります。また、直射日光が当たるところや熱器具の近くにも置かないでください。

湿気やほこりの多いところで保管しない

・ 本機の内部にほこりが入ると、故障の原因となります。また、湿気が多いと、レンズにカビが生えて使えなくなることがあります。押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に箱に入れることをおすすめします。

強力な磁気や激しい振動のあるところに置かない

・ 故障の原因となります。

バッテリーパックは、本機から取り外して涼しいところに保管する

・ 取り付けたままにしたり、高温のところで保管すると、バッテリーパックの寿命を縮める原因となります。

付属のCD-ROMの開封前に必ずお読みください

使用許諾契約書

第１条　使用権の許諾
松下電器産業株式会社は、お客様に対し、本契約書とともに入手した下記製品（以下「本ソフトウェア」といいます）に関し、以下の権利を許諾します。
(a) お客様は、本ソフトウェアを特定の一装置においてのみ使用することができます。ただし、特定の一装置が故障等で使用できない場合、本ソフトウェアを一時的に他の装置で使用することができます。
(b) 本ソフトウェアには、独立した機能をコンピューター上で実行する複数のコンポーネントが含まれていますが、すべてのコンポーネントをもって１つの製品として扱わなければなりません。いかなる場合も各コンポーネントを同時に複数のコンピューター上で使用することはできません。

第２条　著作権
本ソフトウェアおよび添付マニュアル等の著作権は、それぞれ下記に示す各社が有するものであり、日本国著作権法、アメリカ合衆国著作権法および国際条約により保護されています。

ソフトウェア名	著作権保有者
DVDビデオカメラ用USBドライバー	株式会社 日立製作所
DVD-RAM ドライバーソフト	松下電器産業株式会社
DVD-MovieAlbumSE	松下電器産業株式会社
MyDVD	Sonic Solutions 社

第３条　その他の権利および制限
(a) お客様は、バックアップまたは保管目的での複製を除き、本ソフトウェアおよび本ソフトウェアに付属するすべての印刷物を複製できません。
(b) お客様は、本ソフトウェアを譲渡、貸出、移転、その他の方法で第三者に使用させてはなりません。
(c) お客様は、本ソフトウェアについて逆コンパイル、逆アセンブルをすることはできません。
(d) お客様は、本記録媒体上にあるいかなるファイルを商業的に複製または再配布することはできません。

第４条　品質保証
いかなる場合においても、株式会社 日立製作所、松下電器産業株式会社、Sonic Solutions 社は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生ずるいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他金銭的損害を含むがこれらに限定されない）に関して、一切責任を負わないものとします。

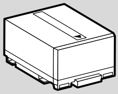
第５条　契約の解除
お客様が本契約に違反した場合、株式会社 日立製作所、松下電器産業株式会社、Sonic Solutions社は、本契約を解除することができるものとします。その場合、お客様は、本ソフトウェアの複製物およびその構成部分をすべて破棄しなければなりません。

第６条　優先される使用許諾契約書
ソフトウェアによっては、インストール時に使用許諾契約書が表示されるものがあります（以下、その契約書をオンライン使用許諾契約書と呼びます）。
オンライン使用許諾契約書とこのページの使用許諾契約書に矛盾がある場合は、オンライン使用許諾契約書が優先されるものとします。

付属品の確認

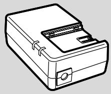
箱を開けたら、付属品がすべてそろっているか、必ず確認してください。

バッテリーパック（品番：VW-VBD140）



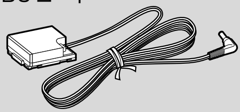
本機の充電式バッテリーです。充電してからお使いください。

ACアダプター／チャージャー（品番：VSK0629）



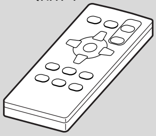
家庭用コンセントから電源をとるときに使用します。バッテリーパックを充電するときにも使用します。

DC コード



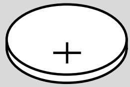
家庭用コンセントから電源をとるときに、本機とＡＣ アダプター／チャージャーとを接続します。

リモコン（品番：VEQ3980）



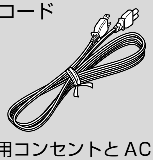
本機を遠隔操作するときに使用します。

リモコン用リチウム電池（品番：CR2025）



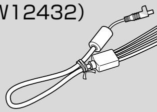
リモコン用の電池です。

電源コード



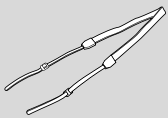
家庭用コンセントと AC アダプター／チャージャーとを接続します。

AV／S入出力ケーブル（品番：EW12432）



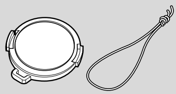
本機の映像と音声をテレビで見るときや、他のビデオ機器に映像と音声を入出力するときに使用します。

ショルダーベルト



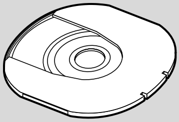
本機を肩から下げるために取り付けます。

レンズキャップ
レンズキャップひも



撮影していないときは、レンズ保護のためレンズキャップを付けてください。

8cm DVD-RAM ディスク（丸型ホルダー付き）



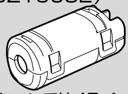
本機の映像を記録します。

ソフトウェア CD-ROM（品番：VFF0197）／USB 接続ケーブル（品番：EW12381）



パソコンと接続するときに使います。

フェライトコア（品番：BZ10682）



- 付けかたについては 47 ページをお読みください。
- 乳幼児などがフェライトコアを飲み込まないようにお気を付けください。

本書について

* 本機に搭載されている機能のなかには、使用するディスクやカードによって、使える機能が異なるものがあります。
ご使用になるディスクやカードがその機能に対応しているかどうかは、右上のマークで識別してください。

RAM ：DVD-RAM ディスク　　R ：DVD-R ディスク

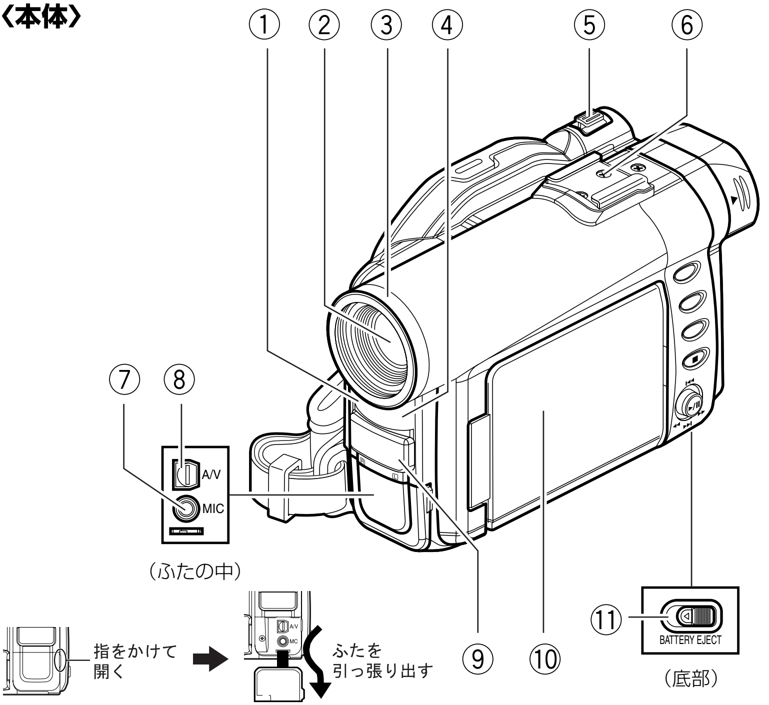
カード ：SD メモリーカードまたはマルチメディアカード

本書内の画面について

実際にご覧になる映像とは異なることがあります。

各部の名前

〈本体〉



① **録画ランプ（P.46、75、86、90）**
録画中、赤く点灯します。

② **光学 10 倍ズームレンズ（P.50）**

③ **レンズフード（P.51）**
別売のテレコンバージョンレンズ、ワイドコンバージョンレンズをお使いのときは、取り外してください。

④ **リモコン受信部（P.31）**

⑤ **ズームレバー（P.50、52）**
T 側に押すと望遠に、W 側に押すと広角になります。

⑥ **アクセサリーシュー**
別売のステレオマイクロホン（VW-VMS2）を付けるところです。

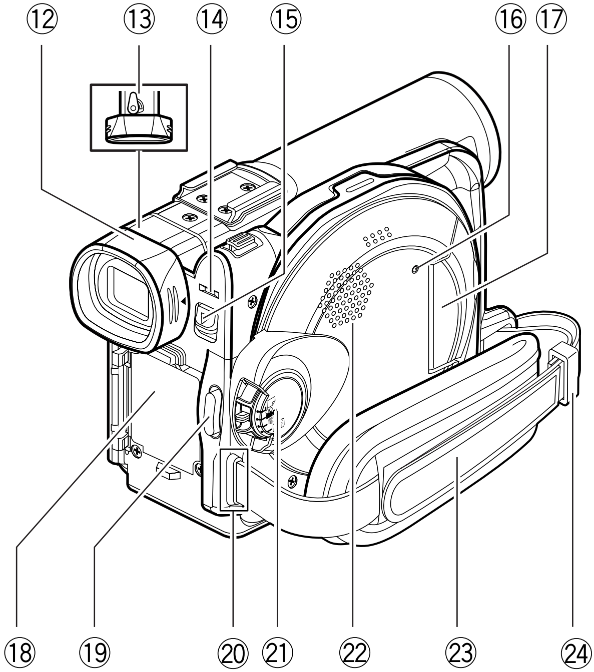
⑦ **外部マイク端子（P.47）**

⑧ **AV ／ S 入出力端子（P.60、68）**

⑨ **ステレオマイク（P.47）**

⑩ **2.5 型カラー液晶モニター（P.42、43）**

⑪ **BATTERY EJECT スイッチ（P.33）**
本機底部にあります。
バッテリーを取り外すときにスライドさせます。



⑫ **ビューファインダー（P.42）**

⑬ **視度調節つまみ（P.42）**
ビューファインダーのピントを調節します。（ビューファインダーを引き出してください）

⑭ **アクセス／PC 接続ランプ（P.42）**
カメラが動作中に点滅または点灯します。

⑮ **ディスク取出しボタン（P.37）**
ディスクホルダーを開けるときに押し下げます。

⑯ **カードアクセスランプ（P.42）**

⑰ **カード挿入部（P.40）**

⑱ **バッテリー取り付け部（P.33）**

⑲ **録画ボタン（P.46、48）**

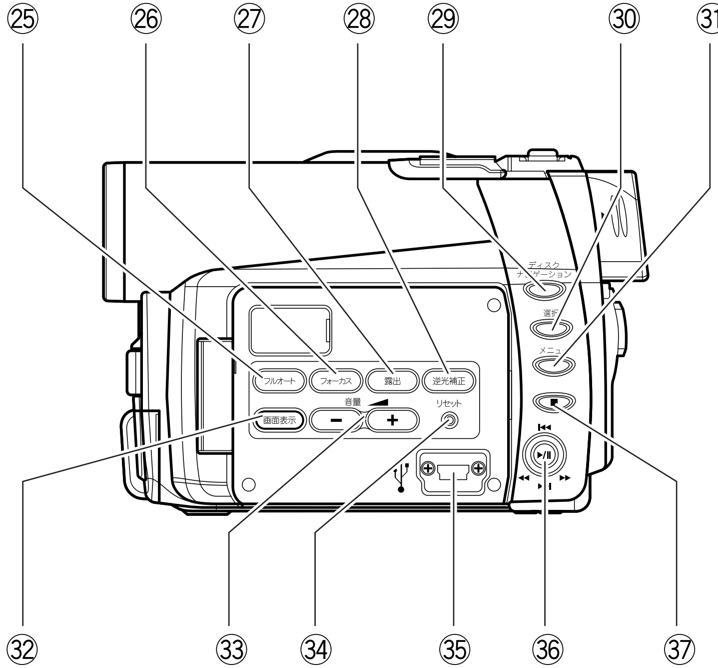
⑳ **ショルダーベルト取り付け部（P.30）**

㉑ **電源スイッチ（P.41）**

㉒ **スピーカー（P.62）**

㉓ **マジックストラップ（P.29）**

㉔ **アジャスター（取り付け具）（P.29）**



㉕ **フルオートボタン（P.56）**
フルオート撮影をしたいときに押します。

㉖ **フォーカスボタン（P.52）**
マニュアルフォーカスとオートフォーカスの切り換えをします。

㉗ **露出ボタン（P.54）**
露出を調整するときに押します。

㉘ **逆光補正ボタン（P.55）**
逆光のときに押します。

㉙ **ディスクナビゲーションボタン（P.92）**

㉚ **選択ボタン（P.95、109）**

㉛ **メニューボタン（P.74、97）**
カメラの機能などを設定するためのメニューやディスクナビゲーションのメニューを表示します。
カメラメニューは、ディスクやカードが入っていない場合でも表示されます。

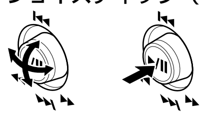
㉜ **画面表示ボタン（P.57、59）**
再生中の映像の詳細や、カメラの設定状態を表示したり、消したりできます。

㉝ **音量ボタン／⊖ ⊕ ボタン（P.52、54、62）**
スピーカーから聞こえる音量などを調節します。

㉞ **リセットボタン（P.184）**
すべての設定を工場出荷状態に戻します。

㉟ **USB 端子（P.141）**

㊱ **ジョイスティック（P.44、62、74）**

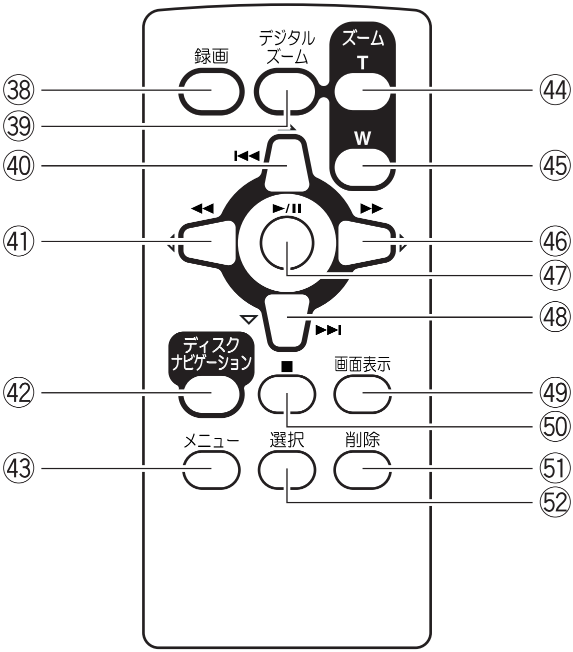


上下左右に動かして、シーンやメニューを選んだり、再生、一時停止したりします。

㊲ **停止／キャンセルボタン（P.62、76）**
再生を終了します。

各部の名前

〈リモコン〉



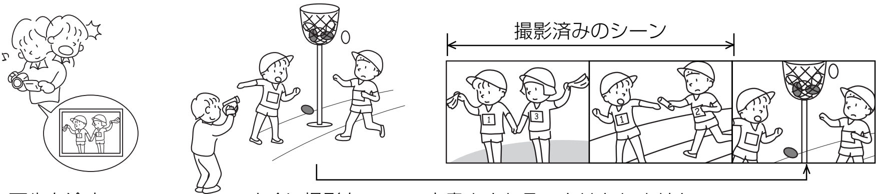
㊳ 録画ボタン（P.46、48）
㊴ デジタルズームボタン（P.81）
㊵ 逆方向スキップボタン（P.64）
㊶ 逆方向サーチボタン（P.63）
㊷ ディスクナビゲーションボタン（P.92）
㊸ メニューボタン（P.74、97）
㊹ ズームＴボタン（P.50）
㊺ ズームＷボタン（P.51）
㊻ 正方向サーチボタン（P.63）
㊼ 再生／一時停止ボタン（P.62、76）
㊽ 正方向スキップボタン（P.64）
㊾ 画面表示ボタン（P.57、59）
㊿ 停止ボタン（P.62、76）
51 削除ボタン（P.98）
52 選択ボタン（P.95、109）

※リモコンのボタンは、本体のボタンと同じ動作をします。

こんなことができます!!

再生途中でもすぐに撮影できます

テープのように撮影開始場所を探したり、頭出しする必要がありません。
再生を途中で止めて、そこから撮影を開始しても上書きされることはありません。



再生を途中で止めて…

すぐに撮影を開始しても…

上書きされることはありません

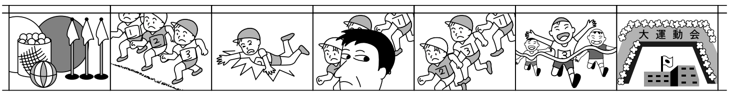
見たいシーンがすぐに再生できます

テープのように巻き戻す必要がありません。
見たいシーンを選んですぐに再生できます（ディスクナビゲーション機能）。

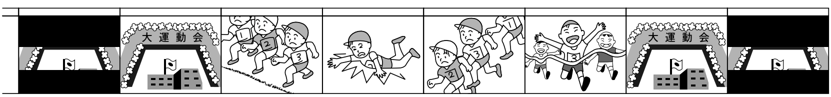
ディスクナビゲーション機能を使ってオリジナルムービーを作りましょう

いらない場面を削除したり、シーンを並べ替えたりして、自分だけのムービー作品を作ることができます（プレイリスト）。

編集前



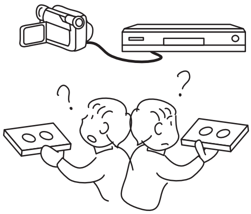
編集後



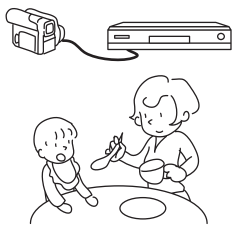
面倒だったテープ編集も簡単にできます

お子様のシーンだけを編集してビデオデッキにダビングするといった作業は、これまで大変でした。
本機を使えば、ディスクナビゲーション機能のプレイリストでお子様のシーンだけを集めたオリジナルムービーを作り、それを再生してビデオデッキにダビングするだけです。しかも同じテープを何本も作ることも簡単です。

今までは…
ボタンを繰り返し押さなくてはいけなかった。



これからは！
本機を再生し、ビデオデッキの録画ボタンを押すだけ。



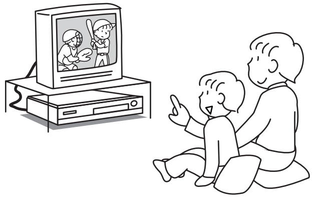
パソコンを使ってオリジナル DVD を作成できます

付属のソフトウェアCD-ROMを使用して、DVD-Rディスクでオリジナル DVDを作成することができます。
作成したDVDディスクは、DVD プレーヤーやDVD-ROM ドライブで再生することができます。

オリジナル DVD 作成中



DVD を再生



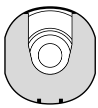
ディスクやカードについて

本機で使用できるディスク、カードは以下のとおりです。それぞれ以下の特長があります。

種類 / 特長	DVD-RAM ディスク	DVD-R ディスク	SD メモリーカード マルチメディアカード
動画撮影	○	○	×
静止画撮影	○	×	○
撮った映像を消す	○	×	○
本機で編集する	○	×	×
DVD プレーヤーで見る	×※1	○※2	×
DVD ビデオレコーダーで見る	○	○※2	×※3

※１： 再生可能な DVD プレーヤーもあります。
※２： DVD プレーヤーやレコーダーで再生するために、ファイナライズが必要です（P.132）。
再生できない DVD プレーヤーもあります。
※３： 再生可能な DVD ビデオレコーダーもあります。

使用できるディスクについて



使用できるディスクとマーク（ロゴ）		形状
DVD-RAM Ver2.1 (8 cm)	DVD RAM RAM4.7	丸型ホルダー入り
DVD-R [for General Ver2.0 (8 cm)]	DVD R R4.7	

本機で使用できるディスクは、ビデオカメラ用の８ cmDVD-RAM ディスクと８ cmDVD-R ディスクだけです。
本機では中身のディスクだけでの使用はできません。丸型ホルダーに入れてご使用ください。

お願い
- ディスクは本機と組合せ動作が確認されている当社製のディスクをお使いになることをおすすめします。当社製以外のディスクをお使いになると、本機の性能が十分発揮されないことがあります。
- 新品の DVD-R ディスクをお使いになるときは、初期化が必要です。初期化していないディスクを本機に入れるとメッセージが表示されますので、画面の指示に従い初期化してください（☞ P.38、130）。
- 丸型ホルダーは、以下の製品では使用できません。
ディスクが取り出せなくなることがあります。
－ VDR-M10
－ VDR-M20
－ その他、角形アダプタを使用する DVD ビデオカメラ

DVD-R ディスクについて

DVD-R ディスクには静止画の録画はできません。また、録画した映像やデータの消去もできません。本機では、DVD-R ディスクで最適な録画を行うため、録画をともなうディスクの出し入れの際にディスクの書き込み調整を行います。ディスク調整のための書き込み領域がなくなると録画できなくなることがありますので、録画をともなうディスクの出し入れは 1 枚の DVD-R ディスクに対して、50 回以上行わないようにしてください。ディスクを入れたままでの電源の切 / 入や、ディスクを出し入れしても、録画をしなければ、ほとんど書き込み調整は行われません。

お願い
- 本機で記録したディスクで、ファイナライズしていないディスクは、DVD ビデオレコーダーなどの記録できる機器に入れないでください。記録データが壊れることがあります。
- パソコンなどで編集してファイナライズしたり、DVD ビデオレコーダーでファイナライズした DVD-R ディスクは、ご使用になる編集ソフトや DVD-R ディスクの記録状態によっては、本機で再生できない場合があります。

本機で使用できないディスクの例

以下のディスクは、本機で使用できません。

- DVD-RAM (2.6 GB) Ver. 1.0
- DVD-R (3.9 GB) Ver. 1.0
- DVD-R (4.7 GB) for Authoring Ver. 2.0
- DVD-RW
- +RW
- DVD+R
- CD-ROM
- DVD-ROM
- DVD ビデオ
- CD-R
- CD-RW
- CD
- LD
- MO
- MD
- iD
- フロッピーディスク
- 直径 8 cm 以外のディスク

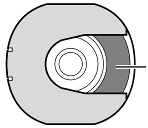
お願い
- パソコンや DVD レコーダーで記録されたディスクは、本機で再生できない場合があり、"このディスクは使用できません" と表示されたり、青色のサムネイル（☞ P.25 図 1*）が表示されたり、正常に再生できない場合があります。

ディスクの取り扱いについて

●ディスクの扱いかた

DVD-RAM ディスクや DVD-R ディスクは、非常に繊細な記録メディアです。
下記の項目をよくお読みになり、正しくお使いください。

・ 本機で使用する場合は、必ず丸型ホルダーに入っている状態でお使いください。
・ 貴重な映像を撮影する場合は、新品のディスクをお使いください。
・ ディスクがむき出しになっているところは、手を触れたり、汚れが付着したりしないように十分お気を付けください。



・ ディスクにごみ・傷・汚れ・そりがあると、以下のような現象が発生する場合があります。
  － 再生映像のブロックノイズ
  － 再生映像の一瞬停止
  － 再生中の音の途切れ、異常音
  － 青色のサムネイル表示 *（図 1 参照）
  － ディスクを正しく認識しない
  － 映像と音声がずれる

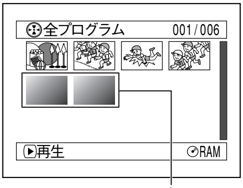
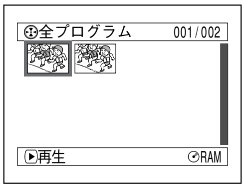


図 1



ディスクが正常な場合でも、まれに上記のような現象が発生することがあります。アクセスランプが点灯しているときに、強い振動・衝撃を加えることや、極端な高低温、結露しやすい環境でのご使用は避けてください。

・ ディスクのごみや傷など記録できない部分を避けて記録することがあります（自動で一時停止（●II）し、自動で記録（● 記録）を再開します）。
その結果、数秒から数分程度記録が中断し、右図のように 1 回の記録で複数のサムネイル（☞ P.92）ができます。この場合、記録可能な時間が減少します。
・ ディスク取り出し時、取り出し口の金属やディスクが高温になっている場合がありますので、お気を付けください。



（1 回の記録でも 2 つ以上のサムネイルになることがあります）

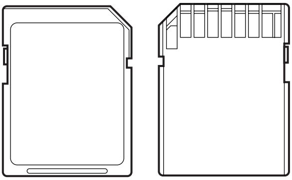
●ディスクの保管のしかた

・ 保管するときは、丸型ホルダーごとプラスチックケースに入れてください。
・ 結露させないでください。
・ 以下のような場所には置かないでください。
  － 直射日光が長時間当たるところ
  － 湿気、ほこりが多いところ
  － 暖房器具などの熱が当たるところ

ヒント

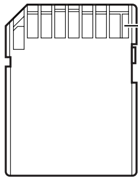
- ディスクは取り出してクリーニングできます（☞ P.73）。
- 丸型ホルダーからのディスクの取り出し方法（☞ P.72）。
- 丸型ホルダーから取り出したディスクや、別のディスクを丸型ホルダーに正しくセットしたい（☞ P.73）。

使用できるカードについて

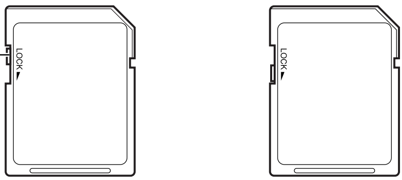


本機で使用できるのは、SDメモリーカードとマルチメディアカードです。

●カードの扱いかた



- 正規のカード以外は使用しないでください。
- 貴重な映像を記録する場合は､必ず新品のカードをお使いください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- ラベルのはり付け部には､専用ラベル以外ははり付けないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下、暖房器具の近くなど、気温の高いところ
  - 湿気、ほこりが多いところ
- SDメモリーカードでは､誤消去防止スイッチをロックしておくと､記録や消去､編集ができなくなります。



ロックがかかっている状態

- 大切なデータは､パソコンのハードディスクなどへバックアップをとっておくことをおすすめします。
- 以下の場合はデータが壊れたり、消失したりすることがありますので、お気を付けください。
  - 読み込み中や書き込み中にカードを抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

ディスクやカードの記録容量

動画の記録時間

記録画質により、記録できる時間が変わります。記録画質の設定はP.83をご覧ください。
ディスク 1 枚（片面）の動画の記録時間（動画のみを記録した場合）

使用ディスク／記録画質	DVD-RAM ディスク	DVD-R ディスク
XTRA	約 18 分※1	記録できません
FINE	約 30 分※2	約 30 分※2
STD	約 60 分※3	約 60 分※3
LPCM	記録できません	約 30 分※4

※ 1： 可変ビットレート記録（撮影する被写体により約 3 Mbps ～約 10 Mbps の間で自動的に変わりますので、18 分以上記録できることもあります）
※ 2： 転送レート約 6 Mbps
※ 3： 転送レート約 3 Mbps
※ 4： リニア PCM 記録（ご使用になる DVD プレーヤーが MPEG1 オーディオレイヤー 2 に対応していない場合は、LPCM モードで記録してください）

ヒント

- XTRA、FINE および STD モードの音声は、MPEG1 オーディオレイヤー 2 方式です。MPEG1 オーディオレイヤー 2 方式は、DVD ビデオ規格のオプション規格です。
- SD メモリーカードやマルチメディアカードには、動画は記録できません。
- DVD-RAM ディスクをご使用のときは途中で画質変更ができますが、DVD-R ディスクをご使用のときは、ディスクの途中での画質変更はできません。
- 高温の環境で長時間 XTRA モードをご使用し記録した場合、本機が高温になり最大転送レートが約 6Mbps に制限される場合があります。
- XTRA モードで記録したディスクを高温の環境で長時間ご使用した場合、正常に再生できないことがあります。そのようなときは電源を切って、しばらくたってからお使いください。

静止画の記録枚数

● ディスク 1 枚（片面）の静止画の記録枚数
（DVD-RAM ディスクに静止画のみを記録した場合）

最大 999 枚　記録可能

※ ただし、999枚記録したあとでもディスク容量に空きがあれば、動画の記録はできます。

● カード 1 枚の静止画の記録枚数
（何も記録していないカードをご使用のとき）

記録画質によって、撮影できる枚数が変わります。
記録画質の設定は P.84 をご覧ください。

容量＼記録画質	FINE	NORM	ECO
8MB	約 45 枚	約 95 枚	約 190 枚
16MB	約 100 枚	約 200 枚	約 400 枚
32MB	約 220 枚	約 440 枚	約 880 枚
64MB	約 440 枚	約 880 枚	約 1,760 枚
128MB	約 880 枚	約 1,760 枚	約 3,520 枚
256MB	約 1,760 枚	約 3,520 枚	約 7,040 枚
512MB	約 3,520 枚	約 7,040 枚	約 14,080 枚

（枚数は目安です）

・ 他の機器で使用したカードは、使えないことがあります。
・ カードに動画や音楽のデータが記録されていても、本機で見たり聴いたりすることはできません。また、そのようなファイルの表示もできません。
・ 残量表示で、カードの残量を確認してからご使用ください（☞ P.128「残量表示」）。
・ 本機で記録したデータを他機で再生する場合は、すべてのデータを再生できないことがあります（例：最大認識枚数を 999 枚に制限している機種など）。

ヒント

- DVD-R ディスクには、静止画は記録できません。

本体の準備

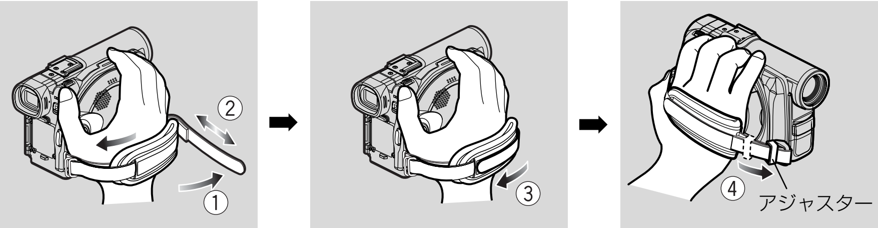
マジックストラップの調整

●グリップベルトとして使う

本機の下側から、マジックストラップに右手を差し入れる

「録画」ボタン、ズームレバーが押しやすい位置にしてください。

本機がぐらついたり、マジックストラップがきついときは、マジックストラップの長さを調節してください。

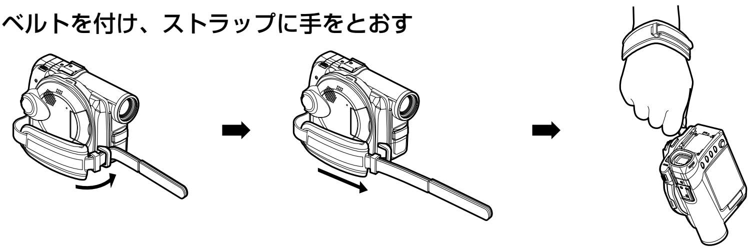


●ハンドストラップとして使う

1 ベルトをめくり、本機からベルトを外す

2 パットを矢印の方向に最後までスライドさせて、長さを調整する

3 ベルトを付け、ストラップに手をとおす



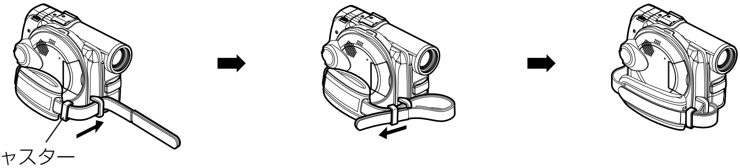
お願い
- 本機からベルトをはずしてご使用になる場合、アジャスターをなくさないようお気を付けください。

●グリップベルトに戻す

1 ベルトを本機の取り付け部に通す

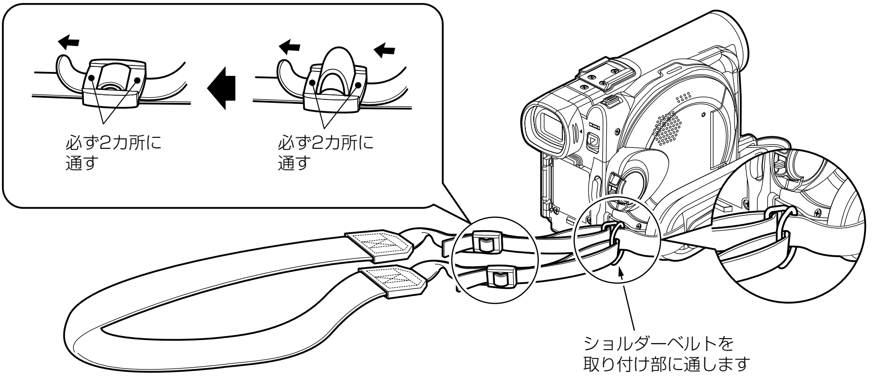
2 ベルトをアジャスター（取り付け具）に通す

3 マジックストラップの長さを調節する



本体の準備

ショルダーベルトを取り付ける

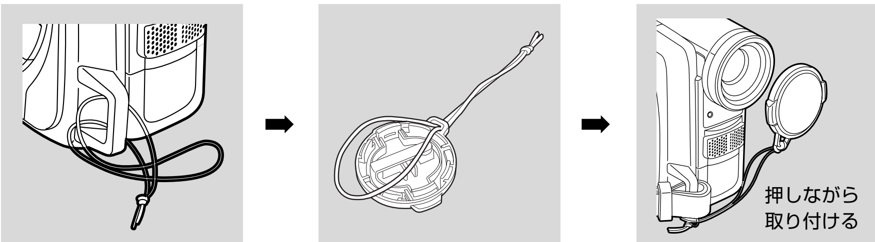


レンズキャップを取り付ける

1 レンズキャップひもを本機に取り付ける

2 レンズキャップをレンズキャップひもに取り付ける

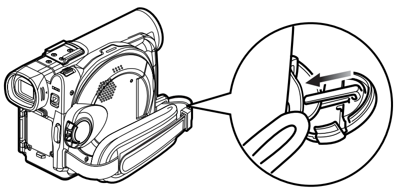
3 レンズキャップの両サイドを押しながらレンズに取り付ける



お願い
- 本機を使用しないときは、レンズ保護のために必ずレンズキャップを付けてください。

ヒント

- 撮影するときは、レンズキャップ内側のつめを使用してグリップベルトに取り付けておくと便利です。



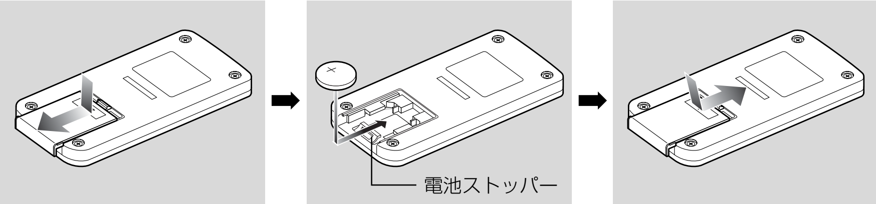
リモコンに電池を入れる

リモコンは、付属のリチウム電池を入れて使用します。

1 ふたをスライドして開ける

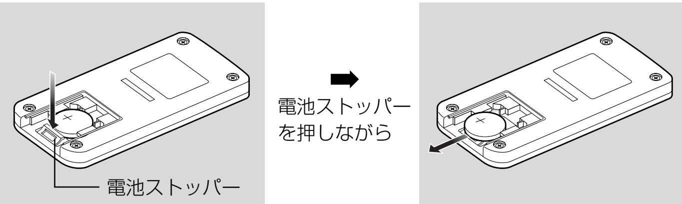
2 ⊕（プラス）面を上にして入れる

3 ふたをスライドして閉じる



リモコンから電池を取り外す

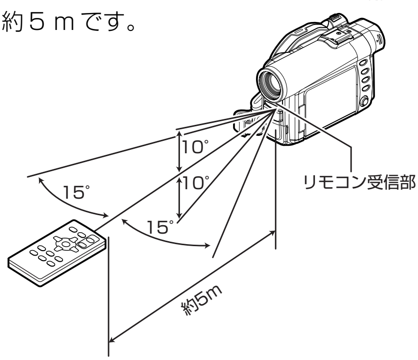
1 電池ストッパーを押しながら電池をスライドさせる



ヒント
- 取り外した電池の取り扱いについては、P.8 をご覧ください。

●リモコンの使いかた

リモコンで操作するときは、必ず本機のリモコン受信部へ向けてから操作してください。正常に動作しないときは、再度リモコンをリモコン受信部へ向けてから押し直してください。リモコンの操作可能距離は、約５ｍです。



お願い
- リチウム電池の寿命は約１年です。電池が消耗すると、リモコンのボタンを押しても本機が動作しなくなります。その場合は、新しい電池にお取り換えください。
- リモコンで操作するときは、本機のリモコン受信部が直射日光や強い照明などに向かないようにしてください。リモコン受信部にリモコンの赤外線よりも強い光が当たっていると操作できません。
- リモコンと本機のリモコン受信部との間に障害物があると、正常に動作しない場合があります。
- リモコンで操作するとき、室内の蛍光灯の種類によってはリモコンが正常に動作しない場合があります。

バッテリーパックの準備

お買い上げ時は、本機に付属のバッテリーパック(VW-VBD140)は充電されていません。充電してからお使いください。

お願い
- バッテリーパックは、必ず本機専用のもの（VW-VBD140）をお使いください。異なるバッテリーパックをご使用になると、本機が故障したり、火災が発生するおそれがあります。
- バッテリーパックの充電は必ず指定のＡＣ アダプター／チャージャー（VSK0629）をお使いください。その他の充電器で充電すると、感電したり、火災が起きる可能性があります。
- 充電は、気温が 10℃～ 30℃のところで行ってください。

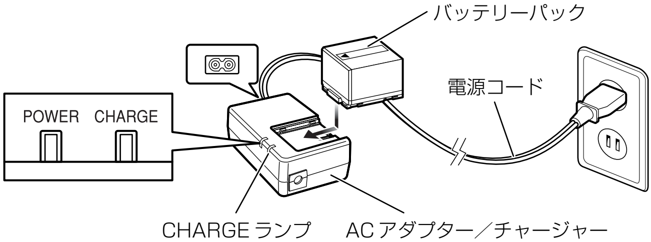
バッテリーパックを充電する

バッテリーパックは、付属の AC アダプター／チャージャーを使って充電します。

1 **電源コードを AC アダプター／チャージャーにつなぐ**

2 **電源コードをコンセントに差し込む**
AC アダプター／チャージャーの POWER ランプが点灯します。

3 **バッテリーパックを AC アダプター／チャージャーに取り付ける**



●バッテリーパックの充電の状態

バッテリーパックの充電状態は、ACアダプター／チャージャーのCHARGEランプの点灯で確認できます。

充電の状態	CHARGE ランプ
充電中	点灯
充電完了	消灯

ヒント

- 点滅した場合は、P.178の「故障かな…と思ったら」をご覧ください。

●バッテリーパックの充電時間の目安（約25℃の場合）

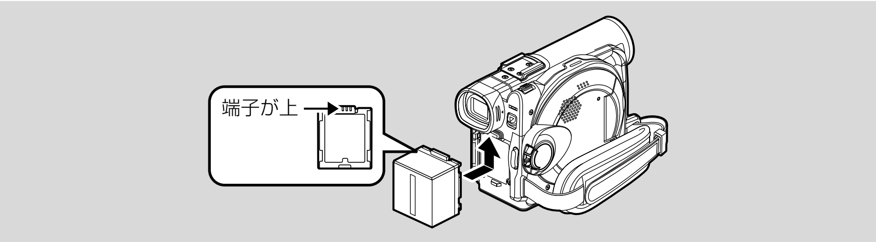
約165分

充電時間はバッテリーパックの残量により変わります。

バッテリーパックを取り付ける

1 本機のバッテリーパック取り付け部にバッテリーパックを押しあて、「カチッ」と音がするまで上へずらす

このとき、バッテリーパックの向きをまちがえないようにお気を付けください。

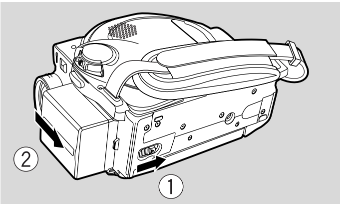


バッテリーパックを取り外す

1 本体底面にある「BATTERY EJECT」スイッチをスライドさせる

バッテリーパックが外れます。

このとき取り外したバッテリーパックが落下しないようにお気を付けください。



バッテリーパックでの連続撮影時間

（ズームなどの操作をまったくしない場合）

満充電されたバッテリーパックで連続撮影できる時間は、下記の表を目安にしてください。

記録モード		DVD-RAM ディスク	DVD-R ディスク
XTRA モード＊	ビューファインダー使用時	約 125 分	−
	液晶モニター使用時	約 100 分	−
FINE モード	ビューファインダー使用時	約 125 分	約 125 分
	液晶モニター使用時	約 100 分	約 100 分
STD モード	ビューファインダー使用時	約 145 分	約 145 分
	液晶モニター使用時	約 115 分	約 115 分
LPCM モード＊＊	ビューファインダー使用時	−	約 125 分
	液晶モニター使用時	−	約 100 分

＊ XTRAモードの時間は参考値です。記録する内容により録画時間が変わります。

＊＊ LPCM モードは、DVD-R ディスク使用時のみ切り換えられます。

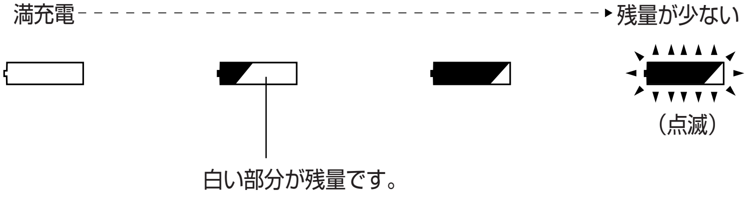
上記の表に示したバッテリーパックの連続記録時間は、撮影を開始してから、そのまま何も行わずに撮影し続けた場合の記録時間です。実際の撮影では、「録画」ボタンやズームの操作、再生などを行うため、バッテリーパックはこの２〜３倍消耗します。また、寒冷地でお使いになるときは、バッテリーパックがより早く消耗するので、お気を付けください。

ヒント

- 充電中や充電直後は、バッテリーパックが温かくなりますが、故障ではありません。

バッテリーパックの残量表示について

バッテリーパックを使用中は、ビューファインダー・液晶モニターにバッテリーパックの残量が次のように表示されます。



バッテリーパックを上手に使うために

使う直前に充電する

- バッテリーパックは本体から取り外していてもわずかに放電しています。
- バッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源を切っていても、ごくわずかな電力を消費します。

本機の使用後は充電しないで、お使いになる前の日などに充電することをおすすめします。
なお、メモリー効果はありませんので充電する前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。

長期間使用しないときは

1年に1回程度満充電し、本機に取り付けた状態で使い切ってから、取り外して涼しい場所に再度保管することをおすすめします。

冷暗所で保管する

使わないときは、本機から取り外して保管してください。
気温の高い場所で保管すると、バッテリーパックの寿命が短くなります。特に60℃以上になる環境（閉め切った車内など）で保管すると、バッテリーパックが故障するおそれがありますので、絶対におやめください。

バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックの寿命は、ご使用の環境や使用頻度によって大きく異なります。満充電したバッテリーパックの使用時間が著しく短くなったら、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

バッテリーパックの廃棄方法

不要になった電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

- バッテリーには、寿命があります。

使用済み充電式電池（バッテリー）の届け先

- 下記の充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。お買い上げの販売店または最寄りの松下電器の販売店・サービスセンター・販売会社へ。もしくは（社）電池工業会にご確認ください。

(ホームページ：http://www.baj.or.jp)

使用済み充電式電池（バッテリー）の取り扱い

- 端子部をセロハンテープなどでおおい、リサイクル箱へ。
- 分解しないでリサイクル箱へ。

リチウムイオン
電池使用

Li-ion

不要（寿命になったなど）バッテリーは火中などに投入しない

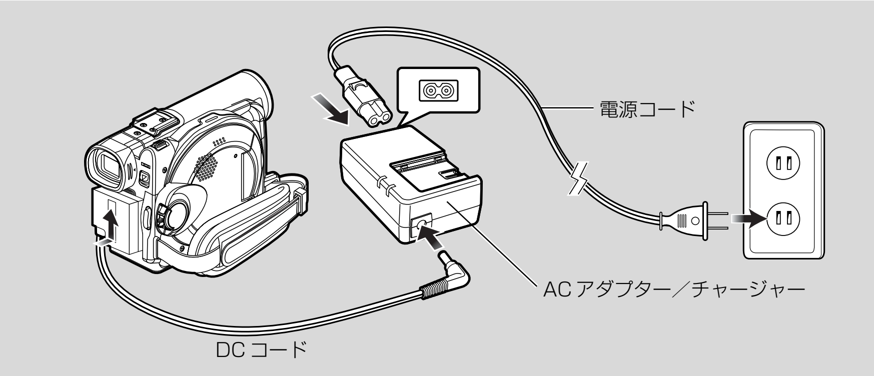
- 加熱したり火中などに投入すると、破裂するおそれがあります。

パワーセーブとバッテリーの消耗

記録一時停止状態のときも、撮影時と同じくらいバッテリーは消耗しますので、撮影時以外はなるべく電源を切るようにしてください。
パワーセーブを設定して、記録一時停止の状態が約5分続くと、自動的に電源が切れます。
パワーセーブを設定したり解除する方法は、P.89「パワーセーブ」をお読みください。

コンセントにつないで使う

付属の AC アダプター／チャージャーを使うと、家庭用コンセントが使えます。



1. 電源コードと AC アダプター／チャージャーをつなぐ
2. 電源コードをコンセントに差し込む
3. DC コードを AC アダプター／チャージャーの DC 出力端子につなぐ
4. DC コードのカメラ接続側を、本機のバッテリーパック取付部に取り付ける

お願い

- AC アダプター／チャージャーは、必ず指定のものをお使いください。指定外のACアダプター／チャージャーを使用すると、感電したり火災が起きるおそれがあります。
- DCコードをACアダプター／チャージャーのDC出力端子につないでいる間は、バッテリーパックの充電はできません。DC コードを外してください。

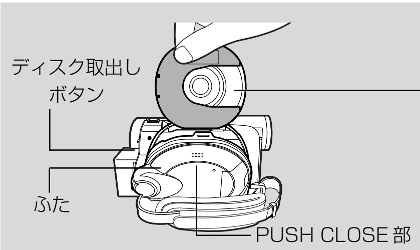
ディスクを入れる／取り出す

ディスクを入れる

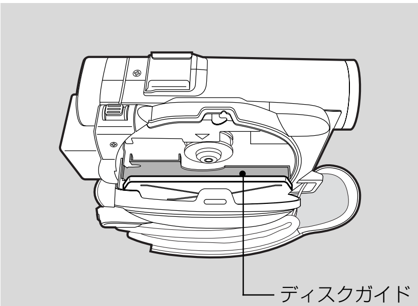
1 **「ディスク取出し」ボタンを 1 回押し下げて、手をはなす**
アクセス／PC接続ランプが点滅して、しばらくするとディスク挿入部（マジックストラップ側）のふたが少し開きます。

2 **ふたが開くところまで、手でゆっくり開く**

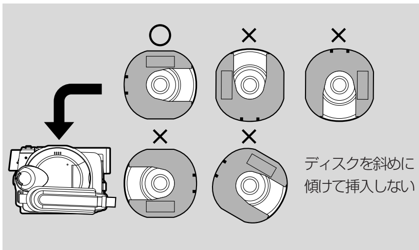
3 **ディスクを丸型ホルダーに入れたまま、正しく奥までディスクガイドに挿入する**
記録再生面を内側にしてください。ディスクの挿入方向は決まっています。下図を参照して、正しく挿入してください。



- **ディスクがむき出しになっている側を図の方向に向けてください。**
- **記録再生面を内側（本体側）にしてください。**

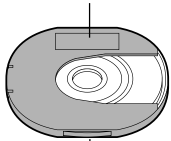


丸型ホルダーを本機に挿入時の
正しい方向と誤った方向



4 **ディスク挿入部（マジックストラップ側）ふたの「PUSH CLOSE」部を「カチッ」と音がするまで、押して閉じる**

5 **電源を入れる（動画、静止画）**
「ディスク認識中です」の表示が消えれば、準備完了です。



＊ディスクの記録再生面とは

- 片面ディスクの場合
  レーベル印刷面の反対側が記録再生面です。
- 両面ディスクの場合
  「SIDE A」表示面の反対側が「SIDE A」の記録再生面です。
  「SIDE A」と表示されている面が「SIDE B」の記録再生面です。

ディスクを入れる／取り出す

ヒント

- ディスクを丸型ホルダーにセットしたい（☞ P.73）。
- 撮影するまでに時間がかかる（☞ P.171）

お願い

- ディスクの出し入れは、バッテリーパックが取り付けてあるか、ACアダプター／チャージャーを使ってコンセントから電源をとっていないとできません。
- ディスクを挿入する方向は決まっています。誤った方向に無理に挿入すると、本機や丸型ホルダーが破損するおそれがあります。
- ディスクが正しく挿入されないとふたが閉まりにくくなります。無理に閉めようとすると故障の原因になりますので、正しく挿入し直してください。
- 片面ディスクの場合、レーベル印刷面を内側にして本機に挿入すると、エラーメッセージが表示されます。いったん取り出して、記録再生面を内側にしてもう一度挿入してください。P.172の「メッセージが表示されたら」を参照してください。

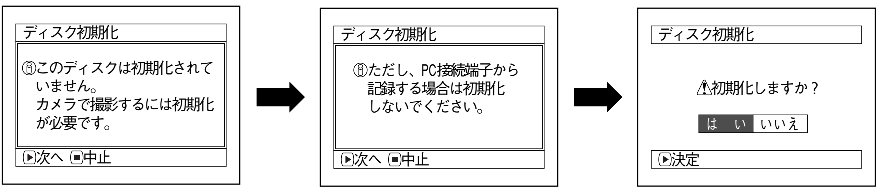
●新品のDVD-Rディスクをお使いの場合

ディスクの認識を開始します。
終了後、ディスク初期化のメッセージが表示されます。

本機で撮影に使う場合

最初に「初期化しますか？」と表示されたときに「はい」を選び、決定してください。自動的に初期化されます。
終了後、「DVD-Rディスクの場合、いったん記録した後の動画画質の変更はできません」と表示されます。▶/II を押してメッセージを消してください。

＊ パソコンからデータを記録することはできなくなります。
＊ 動画画質については、P.83「動画画質」をご覧ください。



パソコンからのデータを記録する場合（☞ P.158）

メッセージが表示されているときに□（停止／キャンセル）ボタンを押すか、「初期化しますか？」と表示されたときに「いいえ」を選び、決定してください。

＊ パソコンからの記録をしていない場合は、電源を入れ直すかディスクを入れ直すと、新品のディスクを入れたときと同じ状態になり、ディスクの認識から始まります。

お願い

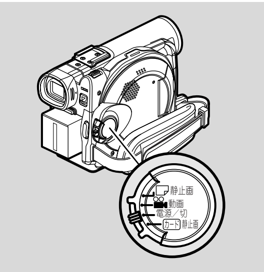
- パソコンのアプリケーション（MyDVD）からの記録をする場合は、初期化しないでください。

ディスクを取り出す

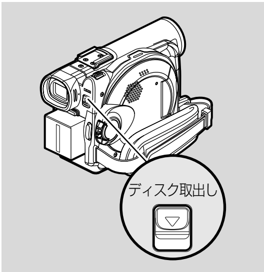
1 電源を切る
電源スイッチを「電源／切」に合わせます。

2 「ディスク取出し」ボタンを 1 回押し下げて、手をはなす
しばらくするとディスク挿入部（マジックストラップ側）のふたが少し開きます。

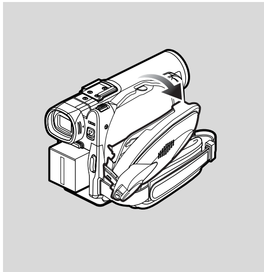
3 ふたが開くところまで、手でゆっくり開く



➡



➡

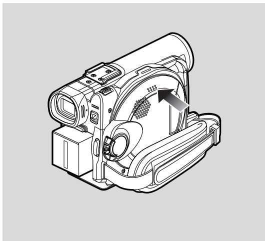


4 ディスクを取り出す
丸型ホルダーの上部をつまむように持ち、まっすぐ静かに引き出してください。
このとき、ディスクに触れないようにしてください。

5 ディスク挿入部（マジックストラップ側）のふたの「PUSH CLOSE」部を「カチッ」と音がするまで、ゆっくり押して閉じる



➡



ヒント

- ディスクの出し入れは、誤操作防止のため、電源を切ることをおすすめします。
- 電源が入っていても記録中でなければ、ディスクを取り出すことができます。
  「ディスク取出し」ボタンを約２秒押し下げてはなすと、ディスクが取り出せます（このとき、液晶モニターまたはビューファインダーの「EJECT」表示が点滅します）。

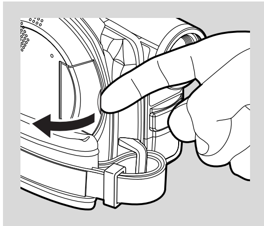
お願い

- 確実に電源が切れるまでバッテリーパックまたはACアダプター／チャージャーを取り外さないでください。
- 電源を切るには、電源スイッチで行ってください。
- ディスク挿入部には、8 cmDVD-RAM ディスクまたは 8 cmDVD-R ディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスクを出し入れするときには、カメラの内部（特にレーザーピックアップ部のレンズ）に触れないようにしてください。
- ディスクを出し入れするときには、充電されたバッテリーか AC アダプター／チャージャーを本機に接続してください。電源がない状態では、ふたは開きません。

カードを入れる／取り出す

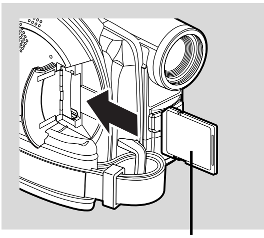
カードを入れたり取り出すときには、電源を切ってください。

1 電源を切った状態で、カード挿入部のふたをあける

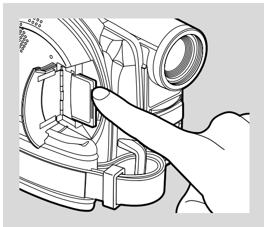


2 カードを入れる

端子部が内側になるように差し込んでください。
ロックされるところまで差し込んでください。

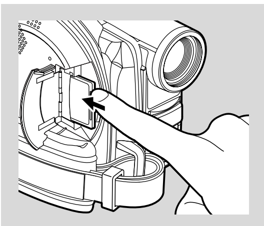


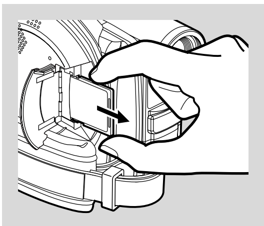
ラベル貼り付け部

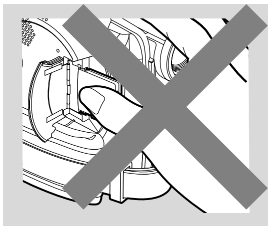


カードを取り出す

カード中央部を押してください。指ではさめるくらいカードが出てきます。

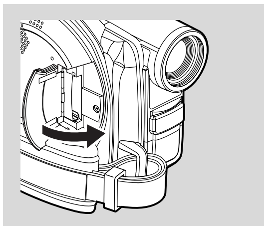






3 カード挿入部のふたを閉じる

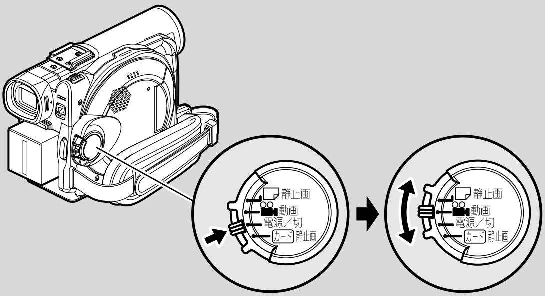
マジックストラップをはさみ込まないように閉じてください。



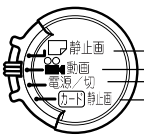
お願い
- SDメモリーカードのラベル貼り付け部を押して、SDメモリーカードを取り出さないでください。SD メモリーカードが破損するおそれがあります。

ビデオカメラの基本的な扱いかた

電源を入れる／切る



まん中の青いスイッチを
押しながら回します



「□ 静止画」に合わせる
DVD-RAM ディスクを使って、静止画を記録するときに合わせます。

「🎥 動画」に合わせる
DVD-RAMディスクまたはDVD-Rディスクを使って、動画を記録するときに合わせます。

「電源／切」に合わせる
電源が切れます。

「カード 静止画」に合わせる
SD メモリーカードまたはマルチメディアカードを使うときに合わせます。

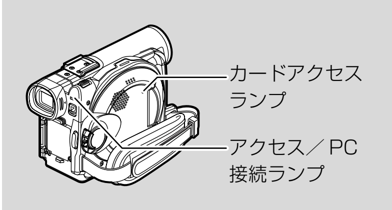
再生する場合は、ディスクをお使いのときは「🎥 動画」または「□ 静止画」、カードをお使いのときは「カード 静止画」に合わせてください。

ヒント

- 最初にお使いのときは、必ず一度電源を入れ、ディスクを認識させた後に電源をお切りください。次に電源を入れたとき、ディスクの認識時間が短縮され、記録できるようになるまでの時間が早くなります。
- 電源を入れたあとに、ディスクやバッテリーを交換したときや、日付が変わったときなどは、ディスクを認識し直すため、時間がかかります（☞ P.171）。
- 電源を入れたあとにディスクナビゲーション画面を表示させるには、しばらく時間がかかります。

お願い

- 電源を入れるとアクセスランプが点灯または点滅し、ディスクやカードの認識をします。液晶モニターに「ディスク認識中です」という表示が出ますが、この表示が消えるとアクセスランプが点灯していても、記録が可能となります。
  －アクセスランプが消灯しない（☞ P.171）

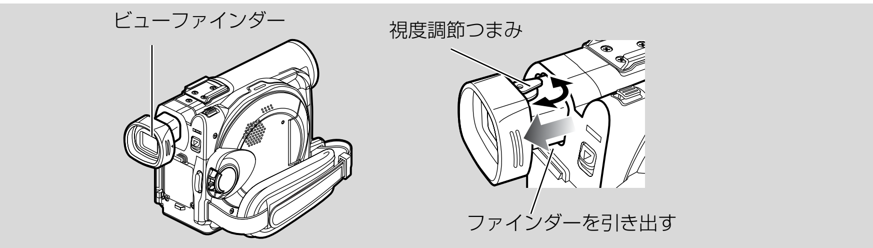


- 電源を入れたときに本機の自己診断機能が働き、メッセージが表示されることがあります。表示されたときは、P.172の「メッセージが表示されたら」をご覧になり、正しく対処してください。
- アクセスランプが点灯または点滅しているときは、液晶モニターの激しい開閉はしないでください。
- アクセス中はディスクの回転やレーザーピックアップ部の動作のため、手に持ったとき振動を感じますが、故障ではありません。

ビューファインダーで映像を見る

1 ビューファインダーを引き出す

2 視度調節つまみを動かして調節する



お願い

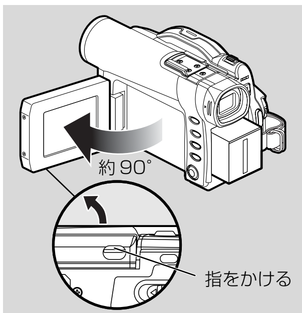
- 液晶モニターが開いているときは、ビューファインダーには何も表示されません。
- ビューファインダーを引き出さないとピントが合いません。

液晶モニターで映像を見る

液晶モニターを開くと、液晶画面で映像を確認できるようになります。

1 液晶モニターを開く

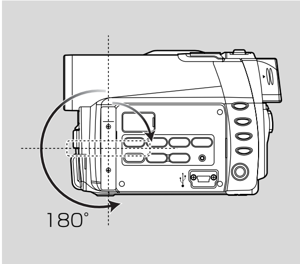
液晶モニターの底部に指をかけるところがあります。
その部分に指をひっかけて開いてください。
液晶モニターは約90°まで開くことができます。
液晶画面が見やすくなるように、角度を変えてください。



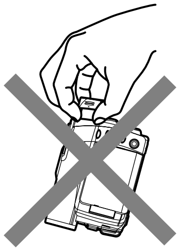
ビデオカメラの基本的な扱いかた

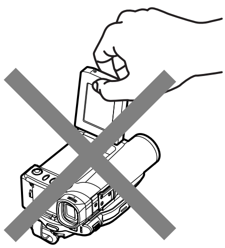
●液晶モニターの動く範囲

液晶モニターは、約 90°まで開くことができます。この状態で手前へ約 90°、反対側へは約 180°まで回転させることができます。
撮影時に液晶モニターを約180°回転させて前に向けると、ビューファインダーにも映像が表示されます。このとき液晶モニターの映像は鏡のように左右反対に映ります（☞ P.59）。



お願い
- 液晶モニターの角度を変えるときは、必ず液晶モニターが約 90°開いた状態で行ってください。
- 液晶モニターを約180°回転させた状態で本体に密着させて、長時間撮影しないでください。本体と液晶モニターが熱くなり、故障の原因になります。
- ビューファインダーや液晶モニターをつかんで持ち上げないでください。ビューファインダーや液晶モニターが外れて、本機が落下することがあります。

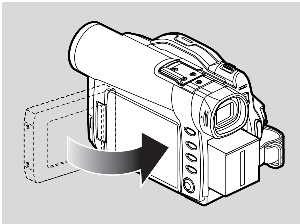




液晶モニターを閉じる

1 液晶モニターを内側に向けて、本体側へ倒す

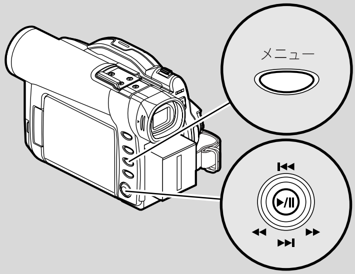
液晶モニターを閉じるときは、液晶モニターを本機と垂直（開いたときの状態）にしてから閉じます。
「カチッ」とロックされるまで閉じてください。



お願い
- 液晶モニターを閉じるときは、必ず本機と液晶モニターを垂直にしてから閉じてください。液晶モニターが傾いていると、本機側へ閉じることはできません。
- 液晶モニターが本機にしっかりロックされないと、ビューファインダーには何も表示されません。

日付と時刻を設定する

日付と時刻を設定してください。
一度設定した日付や時刻を修正する場合も、下記の手順で同様に行えます。



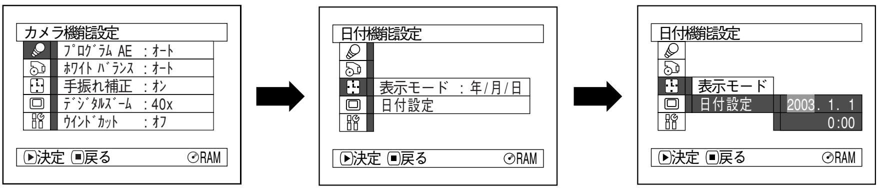
上下左右に動かして選択
▶/II を押して決定

1 **電源を入れる**

2 **「メニュー」ボタンを押す**
メニュー画面が表示されます。

3 **ジョイスティックを上下に動かして「日付機能設定」を選ぶ**

4 **ジョイスティックを右→下に動かして「日付設定」を選ぶ**

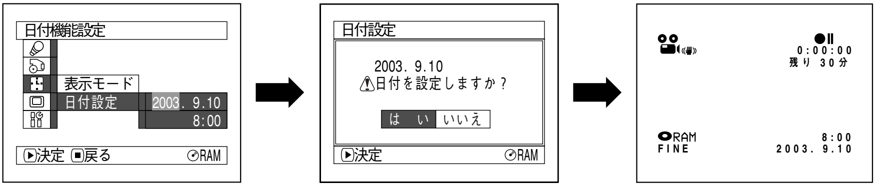


5 **ジョイスティックを右に動かして「年」に合わせ、上下に動かして数字を変更する**

6 **ジョイスティックを右に動かして「月」に合わせ、上下に動かして数字を変更する**
同様の手順で「日」「時刻」を希望の数字に設定してください。
設定を途中でやめたい場合は、■(停止／キャンセル)ボタンを押してください。

7 **希望の日付と時刻にしたら ▶/II を押して決定する**
「日付設定」の確認画面が表示されます。

8 **表示してある日付と時刻でよければ「はい」を選び、▶/II を押して決定する**
日付が設定され、記録一時停止状態に戻ります。
「いいえ」を選ぶと、メニュー画面に戻ります。



お願い
- 本機は、日付と時刻を記憶しておくための充電式電池を内蔵しています。
  内蔵電池がなくなると日付がリセットされてしまいます。3 カ月に 1 回、AC アダプター／チャージャーを本機と接続してコンセントにつなぎ、電源を切ったまま 24 時間以上接続した状態にしておいてください。内蔵電池が充電されます。

●表示モードを切り換える

日付の表示方法を「年／月／日」、「月／日／年」、「日／月／年」のどれかに変更できます。選択した日付の表示方法に応じて、時刻の表示方法も変わります。手順 **4** で「表示モード」を選び、希望の表示にしてください。
日付と時刻の表示方法は、以下のような組み合わせになります。

日付の表示方法	表示方法
年／月／日	17:00 2003. 9. 30
月／日／年	5:00PM SEP 30 2003
日／月／年	17:00 30. 9. 2003

動画を撮る

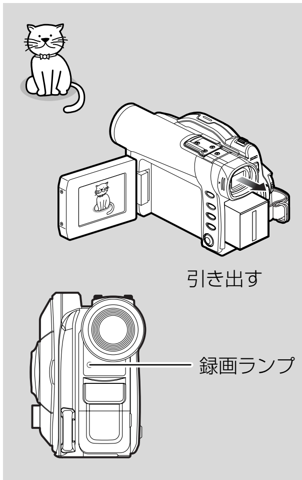
始める前に

- 試し撮りは録画した内容を消去できるDVD-RAMディスクをおすすめします（☞ P.23）。



1 電源を入れる

電源スイッチを「🎥 動画」に合わせてください。
アクセス／PC 接続ランプが消灯してから、次の操作をしてください。



2 本機を被写体に向ける

ビューファインダーまたは液晶モニターで映像を確認してください。
ビューファインダーご使用の場合は､引き出してご使用ください。

3 「録画」ボタンを押す

ビューファインダーまたは液晶モニターの「●II」が「●記録」に変わり、録画が開始します。
また､録画ランプが赤く点灯して､録画中であることをお知らせします。

4 もう一度､「録画」ボタンを押す

録画一時停止します。
｢ディスクに保存中です｣という表示が消えると、録画終了です。

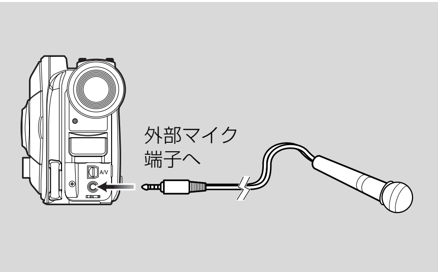
ヒント

- 動画の録画ができない（☞ P.170）
- 録画するまでに時間がかかる（☞ P.171）
- 画面表示について（☞ P.57）

お願い
- 録画一時停止にしたあと、すぐに「録画」ボタンを押したときは録画できますが、「ディスクに保存中です」とメッセージが表示されている間は録画されません。メッセージが消えたあとから録画されます。
- 動画の最短録画時間は、約３秒です。
- 音声は本機の前面にあるステレオマイクから録音されます。ふさがないよう、気を付けてください。
- カウンター表示は、録画一時停止ごとに 0:00:00 にリセットされます。
- DVD-Rディスクをご使用の場合は、本機で録画したDVD-Rディスクに、他の機器で追加録画したり、他の機器で録画した DVD-R ディスクに、本機で追加録画しないでください。データが読み出せなくなる場合があります。

外部マイクを使う

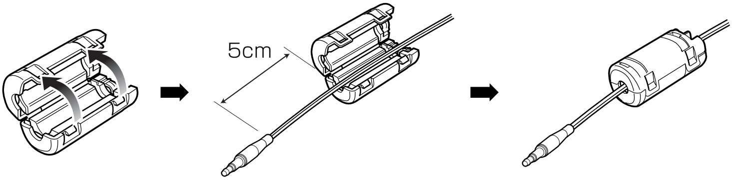
外部マイク（市販品）を接続して録画すると、よりクリアな音声を録画できます。外部マイクは、本機の外部マイク端子に接続します。マイクのスイッチを入れてから録画を開始してください。
音声のノイズを減少させるため、接続する前に、外部マイクにフェライトコア（付属）を付けてください（下記）。
外部マイク端子の仕様については「主な仕様」（☞ P.185）を参照してください。



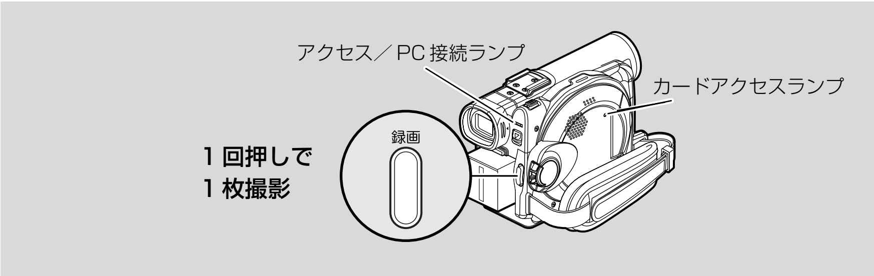
お願い
- AV ／ S 入出力ケーブルをお使いの場合は、外部マイクをご使用できません。
  AV ／ S 入出力ケーブルを抜いて外部マイクをご使用ください。
- プラグインパワータイプ（カメラから電源を供給するタイプ）のマイクはご使用できません。

●フェライトコアの付けかた

下図のように外部マイクのケーブルをはさみ、閉じる（カチッと音がします）。
外部マイクをお使いになる前に、必ず付属のフェライトコアを取り付けてください。
フェライトコアは、ラジオやテレビなどへの電波妨害を低減するためのものです。
（本書の外部マイクケーブルのイラストにはフェライトコアが取り付けられていませんが、お使いになる前に必ず取り付けてください）

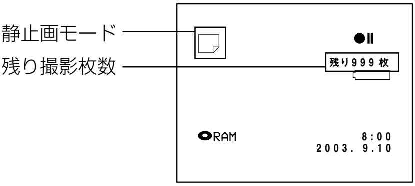


静止画を撮る

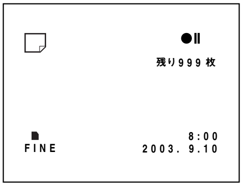


1 電源を入れる

DVD-RAM ディスクをお使いのときは「 静止画」に合わせてください。
カードをお使いのときは「カード 静止画」に合わせてください。
アクセスランプが消灯してから次の操作をしてください。



（DVD-RAM ディスクご使用時）



（カードご使用時）

2 本機を被写体に向ける

ビューファインダーまたは液晶モニターで映像を確認してください。

3 「録画」ボタンを押す

画面がいったん黒くなり、そのあと録画された画面が表示されます。●IIになったら、次の録画ができます。
「ディスクに保存中です」と表示されている間は、次の録画はできません。

4 電源を切る

ヒント

- 静止画についての詳しい内容は P.49「静止画の画質について」をご覧ください。

お願い
- アクセスランプが点灯または点滅しているときは、電源操作やカードの取り出しなどを行った場合、カードの破損やカード内のデータが破壊されることがあります。

静止画の画質について

本機で撮影できる JPEG 静止画の画像サイズは、640 × 480 画素のみです。

DVD-RAM ディスクをお使いのときは、画質を切り換えることはできません。
カードをお使いのときは、画質を切り換えることができます（☞ P.84）。

［カードご使用時の記録画質］

画　質	ファイルサイズ	こんなときにお使いください
FINE	約 128KB	画質重視のとき
NORM	約 64KB	標　準
ECO	約 32KB	枚数重視のとき（画質はやや劣ります）

※記録できる枚数は、P.28 を参照してください。

ヒント

- シャッタースピードは、被写体の明るさに応じて 1/800～1/30 秒（プログラムAE の設定をローライトモードに設定しているときは、1/800～1/10秒）の間で自動的に設定されます（プログラム AE（☞ P.77））。
- カード使用時の静止画の画質を変える（☞ P.84「静止画画質」）。

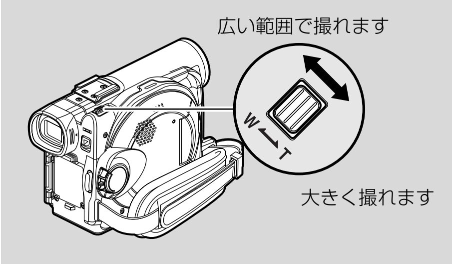
RAM R カード

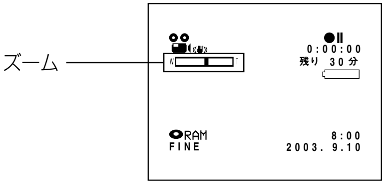
ズームの操作

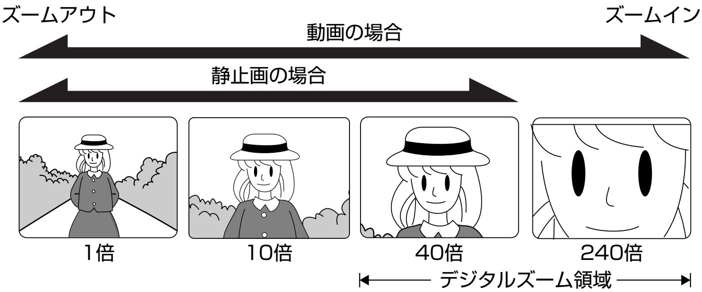
本機では、光学 10 倍ズームとデジタルズームを使った撮影ができます。

1 ズームレバーを動かす

「T」側に動かすと望遠に、「W」側にすると、広角になります。
デジタルズームが設定されているときは（☞ P.81）、ズームレバーを「T」側に倒し続けると、途中からデジタルズームになります。







ヒント

- 短時間に頻繁に倍率を変えると、映像が見づらくなります。
- デジタルズーム 240 倍の設定は、動画モードのみ有効です。
- 静止画撮影時は、240倍の設定をしても最大40倍までのデジタルズームになります。
- ズームを行ったときに、一瞬ピントがずれることがあります。
- デジタルズームが加わると、画質が粗くなります。

至近距離からの撮影（接写）

小さい被写体を至近距離から撮影するときは、レンズ面に約2 cmまで近づいて、画面いっぱいに拡大して撮影できます。

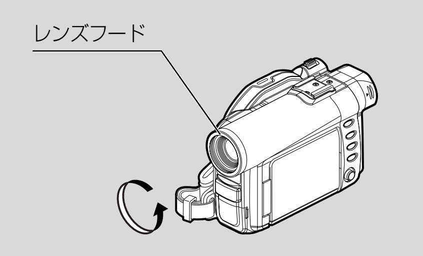
1 被写体に本機を向け、ズームレバーを「W」側いっぱいにする

ヒント

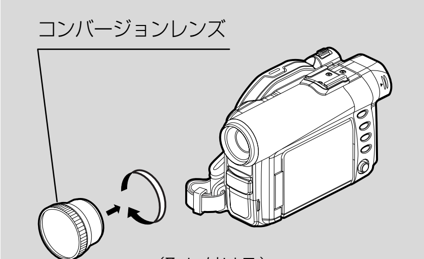
- 接写をするときは光量不足になりがちです。画面が暗いときは、被写体に照明を当ててください。
- ズームは使用できますが、被写体までの距離により、ピントが合わなくなることがあります。

別売のコンバージョンレンズを使う

別売のテレコンバージョンレンズ（VW-LT3014）またはワイドコンバージョンレンズ（VW-LW3007）をお使いのときは、フィルター径30.5 mmのものをご使用ください。
レンズ先端のレンズフードを外し、取り付けてください。



（取り外す）



（取り付ける）

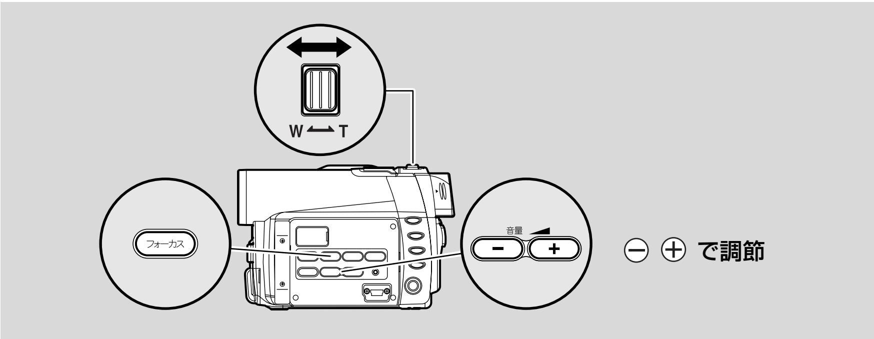
お願い
- コンバージョンレンズを装着した場合は、ズームしたときにW側（広角側）で多少ケラレます（画面の四隅が暗くなります）。

ピントを手動で合わせる（マニュアルフォーカス）

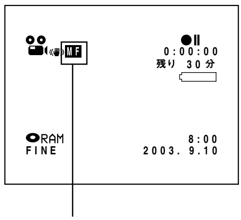
本機は、画面中央にある被写体までの距離に応じて、自動でピントが合うようになっています（オートフォーカス）。
自動でピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせることができます（マニュアルフォーカス）。

●ピントの合う範囲

・ T側（望遠側）では、レンズ面より約１mから無限遠
・ W側（広角側）では、レンズ面より約２cmから無限遠



1 **撮影時に、「フォーカス」ボタンを押す**
画面に「MF」と表示されます。
「フォーカス」ボタンを押すたびに、「マニュアルフォーカス」と「オートフォーカス」が切り換わります。「オートフォーカス」のときは、画面には何も表示されません。



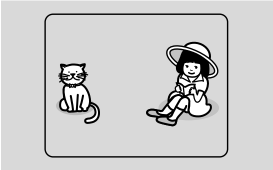
マニュアルフォーカスの表示

2 **ズームレバーを「T」側に倒す**
被写体を大きく写します。

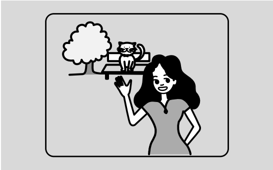
3 **⊖ ⊕ ボタンでピントを調整する**
ビューファインダーや液晶モニターで映像を確認しながら調整してください。

お願い
- 手動でピントを合わせるときは、必ず被写体を大きく写して行ってください。W側のほうでピントを合わせると、T側にしたときにピントがずれることがあります。

オートフォーカス使用時に、次のようなときは、ピントが合わないことがありますので、手動でピントを合わせてください。



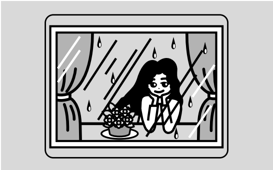
①中央に被写体がないとき



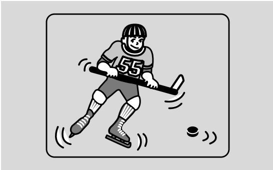
②遠くと近くの両方に被写体があるとき



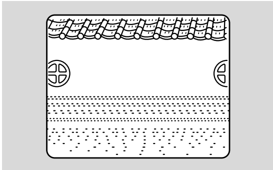
③ネオンサインやスポットライトなど、輝いたり、強い光が反射するもの



④ 水滴や汚れの付いたガラス越しの被写体



⑤ 動きの速い被写体



⑥白い壁など明暗差がほとんどない被写体



⑦ 暗い被写体

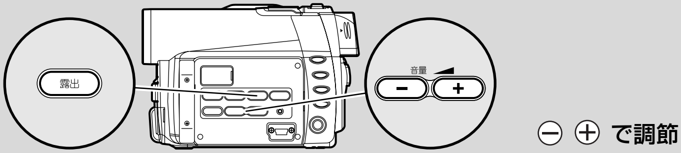


⑧ 夜景

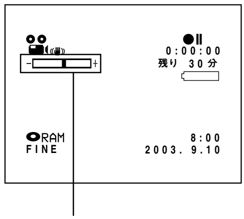
RAM　R　カード

露出を調整する

本機は、周囲の明るさに応じて自動で露出を調整するようになっていますが、手動で露出を調整することもできます。



1 **撮影時に、「露出」ボタンを押す**
画面に露出インジケータが表示されます。



露出インジケータ

2 **⊖ ⊕ ボタンで調整する**
ビューファインダーや液晶モニターで映像を確認しながら、調整してください。

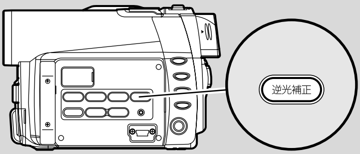
ヒント

- 「露出」ボタンを押すたびに、手動調整と自動調整が切り換わります。自動調整のときは、画面には何も表示されません。

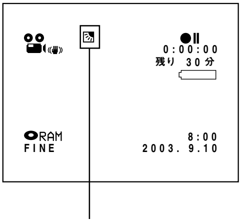
RAM　R　カード

逆光を補正する

逆光のとき、被写体が暗くならないように補正できます。



1 **撮影時に「逆光補正」ボタンを押す**
逆光補正アイコンが表示されます。



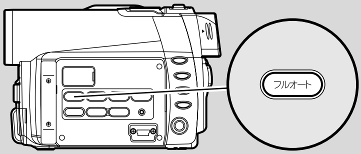
逆光補正アイコン

ヒント

- 「逆光補正」ボタンを押すたびに、オン／オフが切り換わります。
- 「逆光補正」の設定は、電源を切ると「オフ」に戻ります。

オートで撮影する（フルオート）

「フルオート」ボタンを押すと、カメラの設定をフルオートにします。



1 「フルオート」ボタンを押す

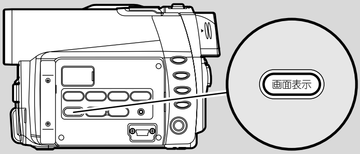
以下の設定が初期値に戻ります。

機　能	フルオート設定時
プログラム AE	オート
ホワイトバランス	オート
露　出	オート
フォーカス	オート

RAM R カード

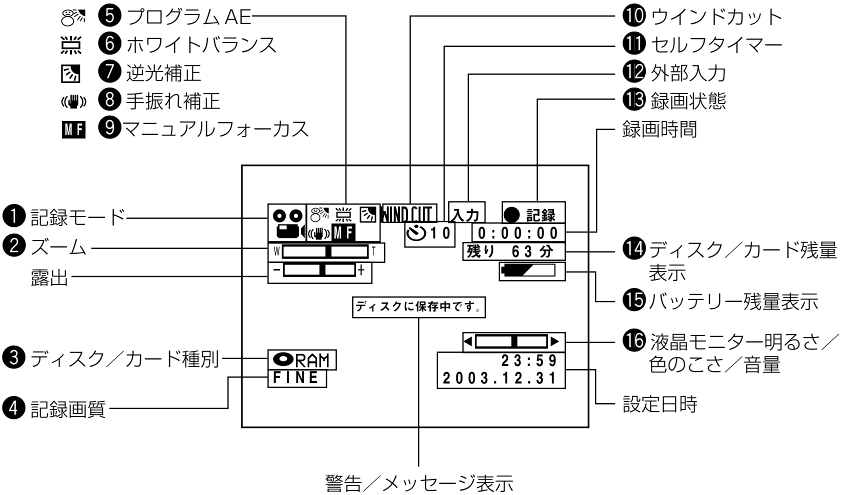
画面表示について

ビューファインダーや液晶モニターには、撮影時のいろいろな情報が表示されます。
画面表示ボタンを押して、すべての情報を表示したり、一部表示にしたりできます。



撮影時の表示について

詳細については次ページをご覧ください。



※上記の画面は説明の例です。
実際の表示とは異なります。

❶ 記録モード

：動画

：静止画

：外部入力
静止画　フィールド

：外部入力
静止画　フレーム

❷ ズーム

W　T（デジタルズーム：オフ）
W　T（デジタルズーム：×40）
W　T（デジタルズーム：×240、動画モードのみ）

❸ ディスク／カード種別

RAM：DVD-RAM ディスク
R：DVD-R ディスク
RAM：ディスクプロテクトされた DVD-RAM ディスク
：本機でファイナライズ済みの DVD-R ディスク
：本機以外でファイナライズ済みの DVD-R ディスク
：SD メモリーカードまたはマルチメディアカード
：ロックされた SD メモリーカードまたはマルチメディアカード
表示なし *1

❹ 記録画質（ディスク使用時のみ）

XTRA：最高画質（DVD-RAM ディスク使用時のみ）
FINE：高画質
STD：標準
LPCM：高音質（DVD-R ディスク使用時のみ）

静止画記録画質（カード使用時のみ）

FINE：高画質
NORM：標準
ECO：枚数重視

❺ プログラム AE

表示なし：オート
：スポーツ
：ポートレート
：スポットライト
：サーフ&スノー
：ローライト

❻ ホワイトバランス

表示なし：オート
：セット
：屋外
：屋内
：蛍光灯

❼ 逆光補正

表示なし：逆光補正オフ
：逆光補正オン

❽ 手振れ補正

表示なし：手振れ補正オフ
：手振れ補正オン

❾ マニュアルフォーカス

表示なし：オート
MF：マニュアル

❿ ウインドカット（動画モードのみ）

表示なし：ウインドカットオフ
WIND CUT：ウインドカットオン

⓫ セルフタイマー（静止画モードのみ）

表示なし：セルフタイマーオフ
10：セルフタイマーオン
10 秒よりカウント

⓬ 外部入力

入力：AV 入力
S 入力：S ビデオ入力

⓭ 録画状態

● 記録：記録中
●II：記録一時停止中
表示なし *2

⓮ ディスク／カードの残量 *3

残り○分 *4：動画モード時の残り録画時間（分）
残り○枚 *5：静止画モード時の残り撮影枚数（枚）

⓯ バッテリー残量表示

満充電
↓
ほとんど残量はありません

⓰ 液晶モニター明るさ／色のこさ／音量

音量の調節は外部入力時と再生時のみ有効です

＊1：本機では使えないディスクやカードが入っていると表示されません。
＊2：ディスクやカードを入れていない状態や、初期化されていないディスク、プロテクトされたディスクやロックされたカード、残量がないディスクやカードが入っている状態のときは表示されません。
＊3：プロテクトされたディスクやカード、ファイナライズした DVD-R ディスクは、残量が表示されません。
＊4：XTRA モードで撮影した場合、表示より長く撮影できることがあります。
＊5：表示される枚数は目安です。撮影条件によっては、減る枚数が合わないことがあります。（DVD-R ディスクをお使いのときは表示されません）

●画面表示モードを切り換える

「画面表示」ボタンを押して、表示モードを切り換えることができます。

①：すべての情報が表示されます。

②：記録モード・カメラの状態表示が表示されます。
警告がある場合には警告表示されます。

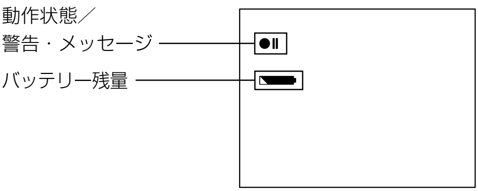
①と②が交互に入れ換わります。

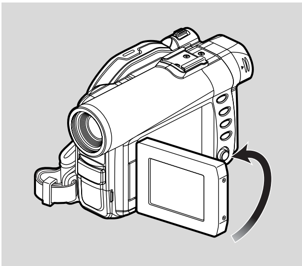
ヒント

- 日付や時刻は映像には録画されません。ただし、データとして記録されていますので、再生時やディスクナビゲーション画面で確認できます。

●対面撮影時の画面表示について

液晶モニターには、動作状態とバッテリー残量が表示されます。
ただし、バッテリー残量表示は、バッテリーの残りがほとんどなくなったときのみ点滅表示します。





警告やメッセージは、下記の動作状態を点灯や点滅によりお知らせします。液晶画面を対面撮影状態から180°回転して元に戻すと、メッセージが確認できます。

● ：ディスクの残量がほとんどありません

⊶ ：ディスクプロテクトされたディスク、またはロックされたカードが入っています

◉ ：DVD-Rディスクを使って静止画を録画しようとしています

表示なし：使用できないディスクまたはカードが入っています

Ⅱ● ：ディスクまたはカードの残量がありません
または、コピーガードがかかっている映像を録画しようとしています

ヒント

- 液晶画面を対面撮影状態にすると、ビューファインダーでも映像を確認できます。
- 対面撮影時の液晶モニターの映像は、鏡のように左右反対に表示されます。
- 対面撮影時でもマニュアルフォーカスや露出、画面表示モードを切り換えることはできますが、画面には表示されません。

RAM　R　カード

他の AV 機器からの映像を記録する

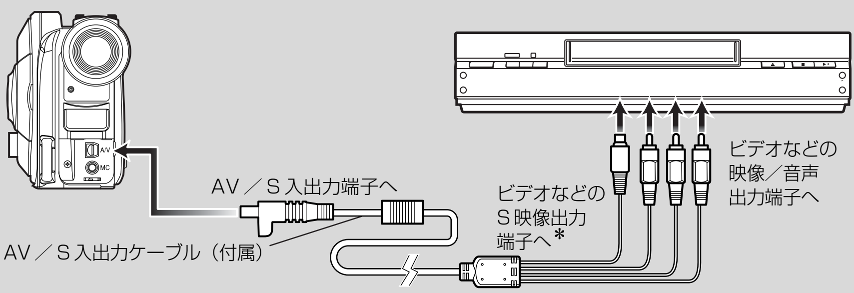
他の AV 機器から本機のディスクまたはカードに録画することができます。

始める前に

- 本機と他の機器を接続するときは、両方とも電源を切って接続してください。
- 本機に記録可能なディスクまたはカードを入れてください（☞ P.23、26）。

他の AV 機器と接続する

付属のAV／S入出力ケーブルを使って、本機と他のAV機器を下図のように接続します。



＊接続する機器に S 映像出力端子がある場合、つなぐことができます。

ヒント

- S 端子を使うと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。
- スピーカーより音声が出ます。

お願い

- 他の機器から本機に録画中に途中で電池が切れないよう、必ず AC アダプター／チャージャーを使って、コンセントから電源をとってください。
- 外部マイクをお使いの場合は、AV ／ S 入出力ケーブルをご使用できません。外部マイク端子から外部マイクを抜いて、AV ／ S 入出力ケーブルを接続してください。

他の AV 機器から録画する

1 本機の入力切替を「外部」にする
P.84「入力切替」を参照して、切り換えてください。
S 入力をする場合は、「S 外部」にしてください。

2 接続した機器の電源を入れ、再生を開始する
本機の液晶モニターに映像が映ります。

3 本機の「録画」ボタンを押す
本機で録画が始まります。
録画するときの操作方法は、「動画を撮る」と同じです（☞ P.46）。

ヒント

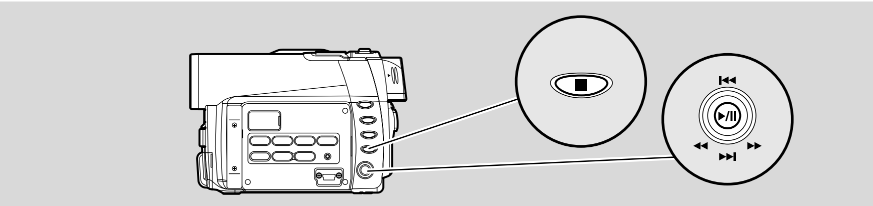
- DVD-RAM ディスクやカードをお使いになると、静止画の録画ができます。詳細については、P.85 の「静止画外部入力」を、操作のしかたについては、P.48 の「静止画を撮る」を参照してください。
- 録画した内容は、カメラで撮影した映像を再生するときと同様に再生することができます。
- 「入力切替」の設定は、電源を切ると「カメラ」に戻ります。
- 個人でビデオカメラにより撮影した映像以外は、ほとんどの場合が著作権保護のための複製禁止信号（コピーガード信号）により録画が禁止されています。本機では“記録はできません”と表示され、録画できません。

  DVD ビデオ・LD・ビデオソフトテープ・デジタル衛星放送（一部）などが著作権保護された代表的な映像です。
- 個人でビデオカメラにより撮影した映像など複製禁止信号のない映像であっても、信号の状態によっては正常に録画できないことがあります。
- 記録中にテレビなどのチャンネルを切り換えたり、ビデオセレクターなどで信号を切り換えたりして入力信号が途切れると、正常に録画できません。

再生する

撮影した映像を再生してみましょう。

始める前に
- 本機で録画したディスクまたはカードを入れてください（☞ P.46、48）。
- 電源を入れてください（☞ P.41）。



RAM　R　カード

再生する

1 記録一時停止状態のときに ▶/II を押す

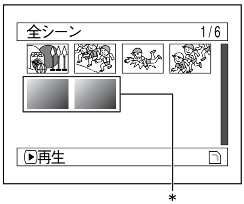
最後に撮影したシーンが再生されます（「シーン」については、P.93 を参照してください）。
再生が終わると、最後の場面で再生一時停止状態になります。
最後の場面で再生一時停止状態が約５分続くと、自動的に記録一時停止状態に戻ります。

2 □（停止／キャンセル）ボタンを押す

再生を停止します。
記録一時停止状態に戻ります。

ヒント

- 動画を再生中は、スピーカーから再生中の音声を聞くことができます。音量は、「音量」ボタンの ⊖ ⊕ で調節してください。
- 再生を一時停止するときは、 ▶/II を押します。もう一度押すと、再生に戻ります。
- 再生を途中で止めて撮影をしても、最後のシーンのあとに記録します（上書きしてしまうことはありません）。
- 本機では、SDメモリーカードに記録されDCF規格に対応した他のデジタルビデオカメラの画像データを再生することができます。ただし、再生できる画素数は、水平方向80画素×垂直方向60画素から水平方向4000画素×垂直方向3000画素までです。この画素数の範囲外の場合、青色のサムネイル（右図*）が表示され再生できません。
上記画素数内であっても、他のデジタルビデオカメラの記録状態によっては、再生できない場合があります。



- 本機は電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)に準拠しています。DCFとは、デジタルカメラの統一画像ファイルフォーマットです。DCF対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。
- カード再生では、画素数の大きな静止画を再生すると、“再生を開始します。”と表示され、静止画が表示されるまで時間がかかります。

ヒント

- パソコンなどで編集したり、フォルダ名やファイル名を変更すると、画像データや画像データの種類によっては再生できない場合があります。
- 他機で録画した画像データを再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。
- 再生するデータのサイズによっては、再生画像を表示するまでに時間がかかる場合があります。
- アクセスランプが点灯または点滅しているときは、電源操作やカードの取り出しなどを行った場合、カードの破損やカード内のデータが破壊されることがあります。
- 本機ではドルビー AC3（2ch）形式で記録した音声も再生することができます。

RAM R カード

ディスクやカードの先頭から再生する

ディスクやカードの最初から再生したい場合は、ジャンプ機能（☞P.65）やディスクナビゲーション機能（☞P.92）をお使いください。

RAM R

動画のサーチ再生

再生中にジョイスティックを右または左に押し続けると、サーチ再生をします。

→ 押し続ける ....早送り再生します。

← 押し続ける ....早戻し再生します。

見たい場面になったら、ジョイスティックから手を離してください。
そこから通常の再生になります。

ヒント

- スキップやサーチをすると、再生や再生一時停止状態から切り換わるときに、一瞬画面が暗くなります。

RAM R

動画のコマ送り／コマ戻し／スロー再生

再生中、▶/II を押して再生一時停止状態にします。
ジョイスティックを左右に動かすと、コマ送り／コマ戻し／スロー再生をします。

→ 1 回押す .... 映像がひとコマ進みます。

← 1 回押す .... 映像がひとコマ戻ります。

→ 押し続ける............. 正方向にスロー再生します。

← 押し続ける............. 逆方向にスロー再生します。

コマ送り／コマ戻し／スロー再生を行ったあとは、再生一時停止状態になります。

ヒント

- 正方向スローでは、動きの激しい被写体の画像がぶれることがあります。
- コマ送り／コマ戻し／スロー再生の間隔は以下のようになっています。
  正方向コマ送りとスロー：約 0.03 秒ごと
  逆方向コマ送りとスロー：約 0.5 秒ごと
- サーチ再生／スロー再生中は、音声は出ません。

RAM R

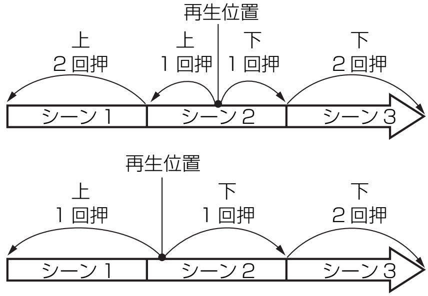
動画のスキップ再生

再生中にジョイスティックを上下に動かすと、シーンのスキップ再生をします。

◎↓ 1回押す .... 再生中のシーンの次のシーンの先頭にスキップして、再生します。

◎↑ 1回押す .... 再生中のシーンの先頭に戻って再生します。

ー例ー



シーンの再生位置が始めから数秒のところにあると再生中の前のシーンの最初の場面にスキップします。

◎↓ 押し続ける.............. 再生中の次のシーンから、連続頭出しが始まります。見たい場面が表示されたら、ジョイスティックから手を離してください。再生が始まります。

◎↑ 押し続ける.............. 再生中の前のシーンから逆方向に、連続頭出しが始まります。見たい場面が表示されたら、ジョイスティックから手を離してください。再生が始まります。

ヒント

- 正常に動作しない（☞ P.171）。
- 再生一時停止中にスキップ再生すると、スキップしたシーンで再生一時停止状態になります。
- 最後のシーンで下に動かすと、最後の場面で再生一時停止状態になります。

RAM カード

静止画の再生

本機で再生できるファイル形式はJPEGです。（JPEG形式でも再生できないものもあります）

再生中、ジョイスティックを上下に動かすと、スキップ再生します。

◎↓ 1回押す.................. 順番に1画面ずつ表示します。

◎↑ 1回押す.................. 1画面ずつ戻って表示します。

[ディスクをお使いのとき]

ジョイスティックから手を離したところから、連続再生します。

[カードをお使いのとき]

ジョイスティックから手を離したところの画像が表示され、再生一時停止状態になります。

連続表示させたい場合は、スライドショーを設定してください（☞ P.135）。

RAM R カード

ジャンプ（指定した場面へジャンプする）

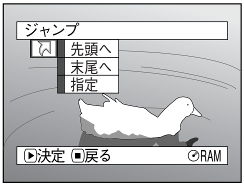
1 再生時に「メニュー」ボタンを押す

2 ジャンプしたい項目を選び、決定する

先頭へ：ディスクの先頭にジャンプして、再生一時停止します。

末尾へ：最後のシーンの末尾にジャンプして、再生一時停止します。

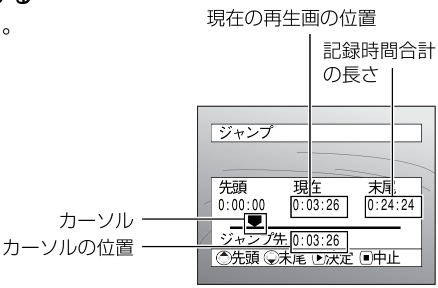
指定　：任意の場面にジャンプして、再生一時停止します。詳細は下記を参照してください。



●ジャンプ先を指定する

1 上の手順 2 で「指定」を選び、決定する

ジャンプ先指定の画面が表示されます。



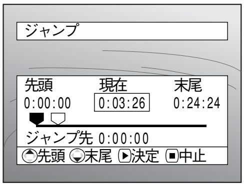
2 ジョイスティックで任意の時間を選ぶ

◎ ↑ ：ディスクの先頭を選択します。

◎ ↓ ：最後のシーンの末尾を選択します。

◎ ◎ ← → ：・1 回押す　：10秒(カードは1枚) 単位でカーソルを移動します。

・押し続ける：1分(カードは10枚) 単位でカーソルを移動します。



（ディスクの先頭を選択した場合）

3 ►/II を押して、決定する

指定した位置にジャンプして、再生一時停止します。

ヒント

- ディスクナビゲーション機能や「選択」ボタンを使って複数シーンを選択している場合は、「先頭へ」と選んだとき、選択しているシーンの先頭へジャンプします（☞ P.127）。
- 複数シーンを選択している場合は、「記録時間合計」の長さは、選択したシーンの合計時間の長さが表示されます。
- カーソルの位置は目安です。カーソルは同じ間隔で移動しない場合があります。
- カードの場合は、枚数が表示されます。

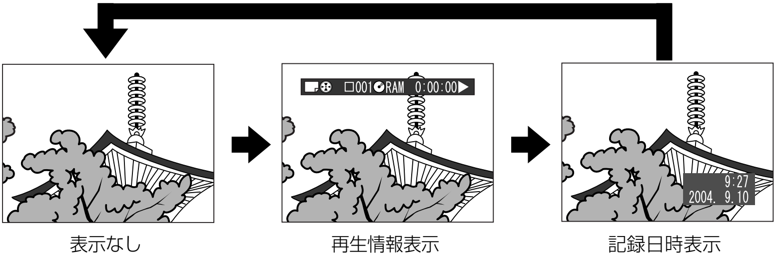
お願い
- 途中でやめたい場合は、ジャンプする前に□(停止／キャンセル) ボタンを押してください。

再生する

画面表示について

再生時の表示について

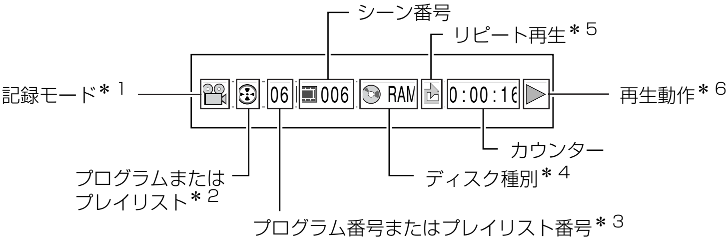
再生する映像に重なって、いろいろな情報が表示されます。
「画面表示」ボタンを押すごとに、下記のように切り換わります。



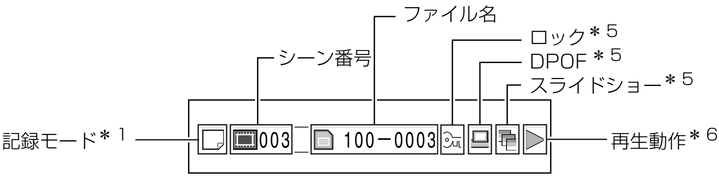
●画面表示モード

再生情報表示：再生中の状態を表示します。

ディスク使用の場合



カード使用の場合



＊1 ：静止画または ：動画
カードのときは、静止画のみ表示されます。
＊2 ：プログラムまたは ：プレイリスト
＊3 再生中のプログラムやプレイリスト番号（全プログラムを再生中は表示されません）
＊4 P.58 のディスク種別を参照ください。
＊5 設定されているときに表示されます（ P.107、108、134、135）。
＊6 ▶ ：再生中　❚❚ ：再生一時停止中　▶▶ ：正方向サーチ再生中
◀◀ ：逆方向サーチ再生中　▶▶❚ ：正方向スキップ再生中　❚◀◀ ：逆方向スキップ再生中
❚❚▶ ：正方向コマ送り再生中　◀❚❚ ：逆方向コマ送り再生中
操作のしかたは P.62 からの「再生する」を参照してください。
最初の場面では ❚◀ マークが表示されます。
最後の場面では ▶❚ マークが表示されます。

・　記録日時表示：記録始めの日時が表示されます。再生しても、日時表示は進みません。
・　表示なし：再生中の画面には何も表示されません。ただし、再生動作を切り換えたときは、再生動作のマークが約３秒間表示されます。

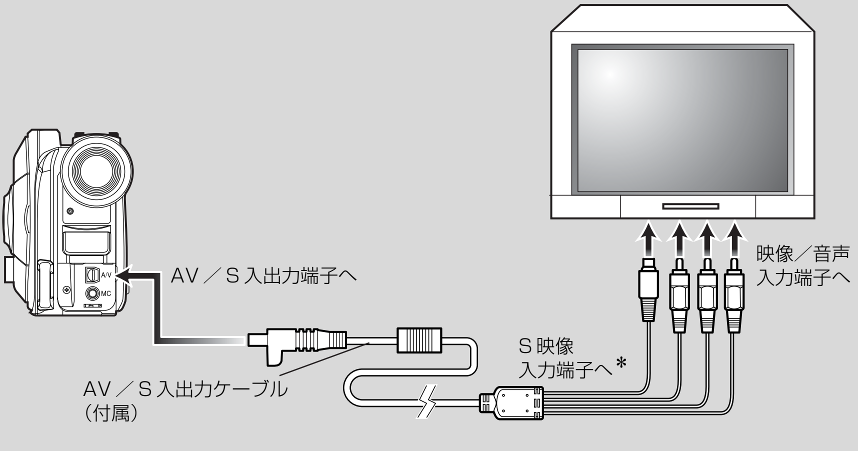
ヒント

- プログラムやプレイリストについてはP.92からの「ディスクナビゲーション機能を使う」を参照してください。

テレビで見る

テレビにつなぐ

付属のAV／S入出力ケーブルを使って本機とテレビを下図のように接続します。



＊テレビにS映像入力端子がある場合、つなぐことができます。

ヒント

- S端子を使うと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

お願い
- 接続する前に、必ずテレビの音量が下がっていることを確認してください。テレビのスピーカーから「ピーッ」という音（ハウリング）が出ることがあります。
- AV／S入出力ケーブルは斜めに差し込むと端子を破損するおそれがあります。まっすぐに差し込んでください。

テレビで見る

1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする

テレビの入力切換の方法は、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 本機の電源スイッチを入れる

本機の映像がテレビに表示されます。
同時に本機の液晶モニターまたはビューファインダーでも映像を確認できます。

3 再生や撮影、編集を行う

再生や撮影､ディスクナビゲーションでの編集など､テレビ画面で確認しながら操作できます。

ヒント

- 複製禁止（コピーガード）処理されたディスクを再生すると､テレビに映像は表示されません。
- テレビの画面に再生中や録画中の情報も表示されますが､録画中の情報のみ表示しないようにすることもできます。P.87の「画面表示出力」の設定をご覧になり、切り換えてください。

お願い

- 音量の調整はテレビ側で行ってください。
- ワイドテレビ（画面比率16：9）をお使いの方で、テレビの設定がワイドモードに設定してあるとき、ディスクナビゲーション画面を表示すると表示が画面に収まらない場合があります。テレビのワイドモードの設定を解除してください（設定の方法はテレビの取扱説明書をご覧ください）。

R

DVD プレーヤーで見る

DVD-R ディスクは、DVD プレーヤーや他の８ cm DVD-R 対応機器で再生できます。ただしすべてに対応しているわけではありません。

1 DVD-R ディスクをファイナライズする

DVD プレーヤーで見るには「ファイナライズ」が必要です。P.132 をご覧ください。

ファイナライズしたディスクには、記録することができません。

- 本機で記録したディスクは、本機でファイナライズしてください。

2 丸型ホルダーからディスクを取り出す

P.72 の「丸型ホルダーからのディスクの出し入れ」を参照してください。

3 DVD プレーヤーに入れて再生する

DVD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

お願い
- 本機で記録したDVD-Rディスクは、他のDVDプレーヤーでの再生に対応しておりますが、すべての再生を保証するものではありません。
  ご使用いただくDVDプレーヤーやDVD-Rディスクの記録状態によっては、再生できない場合もあります。この場合、DVD-R ディスクは本機で再生してください。

RAM

DVD ビデオレコーダー／プレーヤーで見る

本機で記録した DVD-RAM ディスクは DVD-RAM 対応の DVD ビデオレコーダーや、DVD-RAM 対応の DVD プレーヤーで再生できます。

1 丸型ホルダーからディスクを取り出す

2 DVD レコーダー／プレーヤーに入れて再生する

DVD レコーダー／プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

お願い
- ファイナライズしていないDVD-RディスクはDVDレコーダーに入れないでください。記録されている画像データが破壊されることがあります。
- 他の機器で再生するときは、本機のディスクナビゲーション表示とは異なることをご了承ください。

RAM カード

DVDビデオレコーダーのハードディスクに記録する

ハードディスク付きのDVDビデオレコーダーをお持ちの場合、本機で動画のみを記録したDVD-RAMディスクの映像をハードディスクに記録できます。

1 丸型ホルダーからディスクを取り出す

2 DVDビデオレコーダーに入れて、ハードディスクに記録する
DVDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- ハードディスクに記録した映像は、DVD-RAMディスクや新品のDVD-Rディスクにダビングすることができます。詳しくは、DVDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

お願い
- DVDビデオレコーダーのハードディスクに記録するときには、以下の項目にお気を付けください。
  －動画のみのディスクにする。
  －静止画のみのディスクや、静止画と動画の混在したディスクは記録できません。（混在ディスクの映像を記録するには、「動画のみのディスクにする」を参照してください）
  －本機でDVD-Rディスクに記録した映像は記録できません。
- カードスロット付きのDVDビデオレコーダーでは、本機でカードに記録した静止画をディスクやハードディスクに記録できますので、静止画はカードに記録することをおすすめします。

●動画のみのディスクにする

（①、②いずれかの方法で行ってください）

① 本機でディスク内の静止画をすべて削除する（☞P.98）
- 画像の削除は必ず本機で行ってください。DVDビデオレコーダー側で削除しても、ハードディスクに記録することはできません。

② 本機のディスクナビゲーションメニューを使って、静止画をカードにコピーしてから、ディスク内の静止画をすべて削除する。（☞P.106）

本機とDVDビデオレコーダーを付属のAV／S入出力ケーブルで接続して、ハードディスクに記録することもできますが、画質は多少劣化します。

丸型ホルダーからのディスクの出し入れ

本機で使用するDVD-RAMディスクやDVD-Rディスクは、丸型ホルダーから取り出して8 cmDVD-RAMや8 cmDVD-Rに対応したDVDプレーヤー、DVD-RAMレコーダー、パソコン用ドライブなどで利用することができます。丸型ホルダーからの取り出しかたは、ディスクメーカーにより異なることがありますので、ディスクの説明書をご覧ください。ここでは、当社製の丸型ホルダー入りディスクについて説明します。なお、ディスクに汚れが付くことを避けるため、カメラで撮り終わるまでは、丸型ホルダーからディスクを取り出さないことをおすすめします。

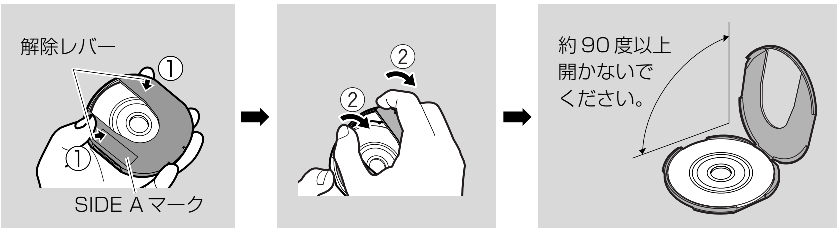
ヒント

- 取り出したディスクは、すべての機器での使用を保証するものではありません。

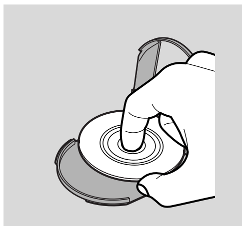
ディスクの取り出し方法

1 **SIDE Aを上向きにし、左右2カ所の解除レバー（丸型ホルダーの「OPEN」表示部分）を矢印①の方向に押しながら、丸型ホルダーのSIDE Aを矢印②の方向に開ける**

このとき、ディスクを落とさないよう、ゆっくり開けてください。



2 **記録再生面に手を触れないように、ディスクの端と中心穴をつまみ、ディスクを取り出す**

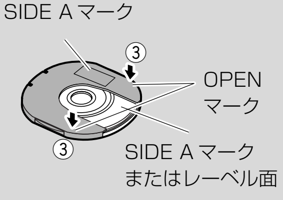


丸型ホルダーからのディスクの出し入れ

ディスクの収納方法

1 丸型ホルダーのSIDE　Aを開け、ディスクのSIDE Aマークまたはレーベル面を上向きにし、ディスク面に手を触れないようにしてディスクをホルダーに収納する

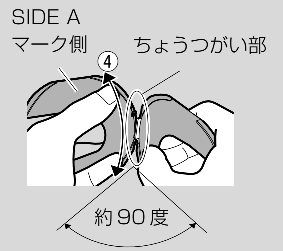
2 丸型ホルダーのSIDE Aを閉じ、③の位置の解除レバーがロックするまで押す



丸型ホルダーのちょうつがいが外れたとき

1 SIDE Aのマークがある側のちょうつがい部を、親指と中指で押して矢印④のように湾曲させる

2 湾曲させたちょうつがい部に､反対側のちょうつがい部をはめ込む

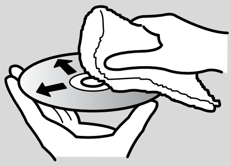


お願い

- 記録再生面に傷、汚れ、指紋、ほこりなどが付かないようにお取り扱いください。
- 丸型ホルダーを使用しないときは、ケースに入れて保存してください。丸型ホルダーを裸の状態で放置しないでください。
- 落下衝撃にお気を付けください。丸型ホルダーを落としますと、ディスクが飛び出すことがあります。
- 強い力を加えないでください。丸型ホルダーが割れることがあります。

ディスクのクリーニングについて

付着したほこり、汚れなどは、乾いた柔らかい布を使用し、右図のように軽くふき取ってください。
なお、溶剤類（シンナー・水・帯電防止剤など）は絶対に使用しないでください。



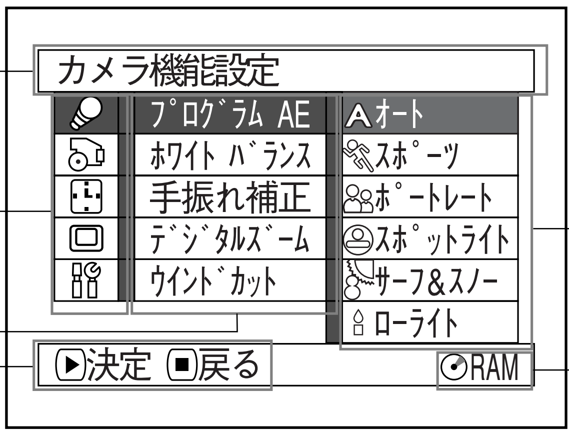
柔らかい布で内周から
外周方向へ軽くふく

メニューの流れを確認する

カメラの画像が出ているときにメニューボタンを押すと、カメラ機能設定のメニュー画面が表示されます（録画時を除く）。
項目を選択するときは、ジョイスティックを上下左右に動かします。決定するときは、▶/II を押してください。
設定方法については、P.76 をご覧ください。
ここで説明している画面は DVD-RAM ディスクを使用したときの画面です。DVD-R ディスクやカードをご使用のときや、ディスクやカードが入っていないときは表示されない項目もあります。

〈設定画面の見かた〉

選択している設定項目の表示



設定内容

ガイド表示

設定できる機能

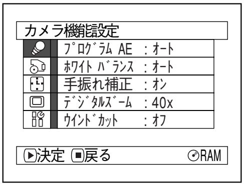
使用しているディスクまたはカードの表示

設定項目の選択
- ：カメラ機能設定
- ：記録機能設定
- ：日付機能設定
- ：液晶モニター設定
- ：初期設定

●メニューの流れ

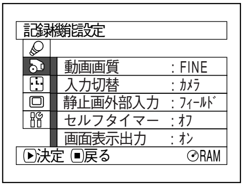
内容の詳細については、各参照ページをご覧ください。

カメラ機能設定



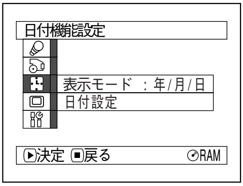
プログラム AE (P.77)
ホワイトバランス (P.78)
手振れ補正 (P.80)
デジタルズーム (P.81)
ウインドカット (P.82)

記録機能設定



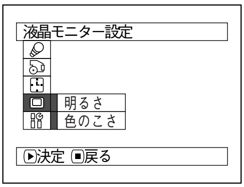
動画画質 (P.83)
（カードご使用時は「静止画画質」が表示されます（P.84））
入力切替 (P.84)
静止画外部入力 (P.85)
セルフタイマー (P.86)
画面表示出力 (P.87)

日付機能設定



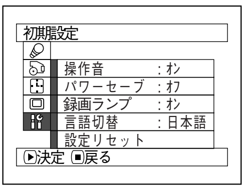
表示モード (P.45)
日付設定 (P.44)

液晶モニター設定



明るさ (P.88)
色のこさ (P.88)

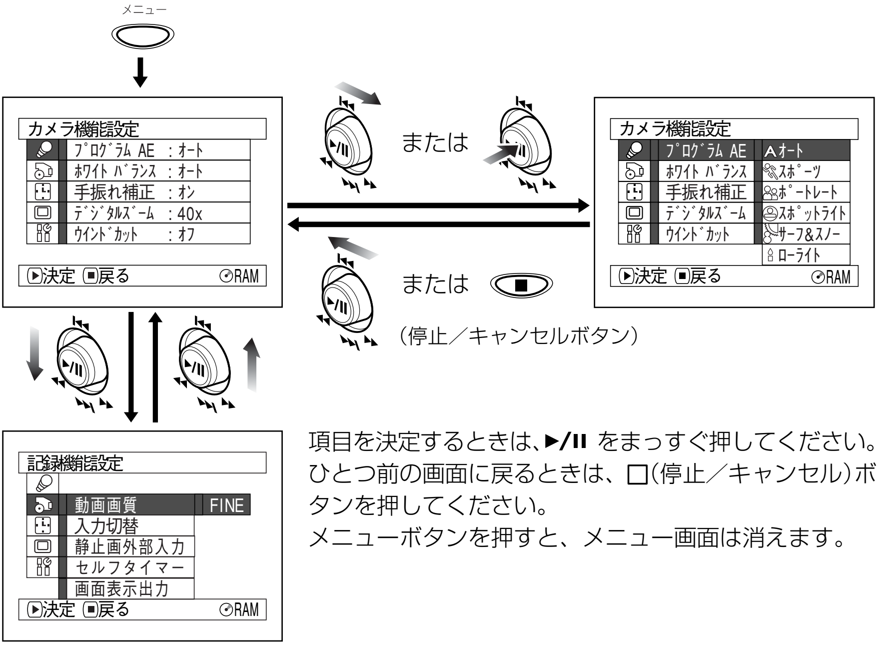
初期設定



操作音 (P.89)
パワーセーブ (P.89)
録画ランプ (P.90)
言語切替 (P.91)
設定リセット (P.91)

メニューのなかのいろいろな設定は、本機のジョイスティックを使って選択／決定することができます。

メニューボタンを押す



項目を決定するときは、▶/II をまっすぐ押してください。
ひとつ前の画面に戻るときは、□(停止／キャンセル)ボタンを押してください。
メニューボタンを押すと、メニュー画面は消えます。

ヒント

- 録画中に「メニュー」ボタンを押しても、動作しません。
- メニュー画面は、約 1 分間操作しないと消えます。

RAM　R　カード

カメラ機能設定

始める前に
- 設定のしかたは、P.76をご覧ください。

プログラム AE（状況に合った撮影モードを選ぶ）

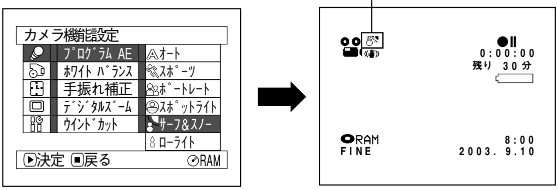
本機では、被写体と周囲の状況が自動で判別されて最適な映像が撮影されますが、特殊な状況では、その状況に応じた撮影モードを選択して撮影すると、よりきれいに撮影できます。

1 「メニュー」ボタンを押して、「カメラ機能設定」の「プログラム AE」を選ぶ

2 設定したい撮影モードを選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

設定したモード



ヒント
- 設定したモードは画面表示で確認できます。ただし「オート」のときは、何も表示されません。
- 設定した撮影モードは、電源を切っても記憶されています。

●撮影モード

オートモード
被写体と周囲の状況が自動で判断され、最適な映像が撮影されます。

スポーツモード
ゴルフやテニスなど激しい動きを撮影するときに、被写体のぶれを少なくします。
ただし、蛍光灯などの下でスポーツモードを使用すると、画面がちらつくことがあります。その場合は、オートモードで撮影してください。

ポートレートモード
人物や生物などを撮影するときに、背景をぼかして、被写体を浮かび上がらせます。

スポットライトモード
結婚式や舞台など被写体に強い光が当たっているときに、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

サーフ&スノーモード
真夏の海辺やスキー場など照り返しが強い場所で、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

ローライトモード
暗いところで撮影するとき、少ない明かりでも撮影できます。ただし、動きがある被写体では、残像が出ます。
動画記録画質が「XTRA」、「FINE」のときに設定できます。
また、ピントが合いにくい場合は手動でピントを調節してください。

ホワイトバランス（色合いを調整する）

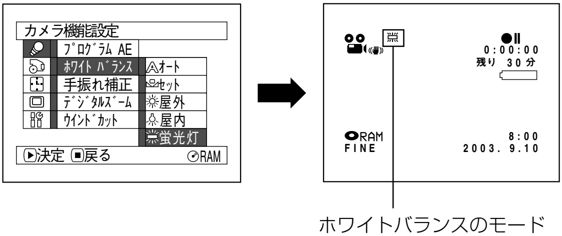
本機は、撮影するときの状況に合わせて自動的に色の調整をしますが、天候や光源の状態によっては自然な色合いを表現できなくなることがあります。
そのようなときは、状況に合わせてホワイトバランスの設定を変えてください。

モード	設定内容	画面表示
オート	ホワイトバランスが常に自動調整されます。	なし
セット	光源や状況に合わせて、手動で設定できます。（設定方法 ☞ P.79）。	
屋外	晴天下での撮影のときに合わせます。	
屋内	白熱球やハロゲンランプ、電球色系蛍光灯などの下での撮影のときに合わせます。	
蛍光灯	蛍光灯の下での撮影のときに合わせます。	

1 「メニュー」ボタンを押して、「カメラ機能設定」の「ホワイトバランス」を選ぶ

2 モードを選んで、決定する

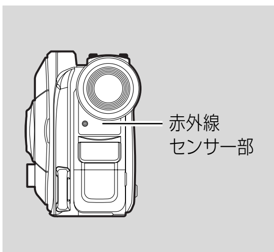
3 「メニュー」ボタンを押して終了する



ヒント

- ホワイトバランスのモードは、画面表示で確認できます。
- ホワイトバランスの設定が「セット」のときは、電源を切ると「オート」に戻ります。

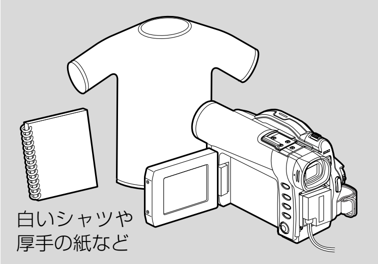
お願い
- 別売のテレコンバージョンレンズまたはワイドコンバージョンレンズをご使用の場合、撮影状況によっては、ホワイトバランスが動作しないことがあります。その場合は、撮影状況にあったモードに設定するか、手動でセットしてください。
- レンズキャップを付けたまま電源を入れると、ホワイトバランスが正しく働きません。必ず、レンズキャップを外してから電源を入れてください。



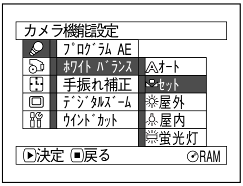
●ホワイトバランスを手動でセットする

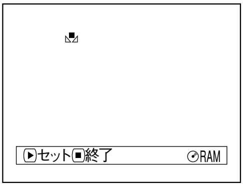
1 画面いっぱいに白い被写体を映す

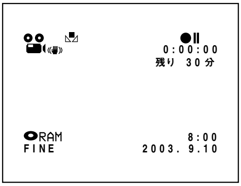
被写体は裏が透けないものをお使いください。
画面いっぱいに映し出すとき、ピントが合わない場合は「マニュアルフォーカス（☞ P.52）」で合わせてください。



2 「メニュー」ボタンを押して、「ホワイトバランス」→「セット」を選び、決定する







3 ▶/IIを押すと、 が点滅し、点灯に変わる

点灯に変わるとホワイトバランスのセット完了です。

4 □（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

ヒント

- 色が付いた被写体を使って設定すると、正しい色合いを設定できません。

お願い

- 赤外線センサーの前を手などでふさがないでください。
- 入力切替設定がカメラ以外の場合は、ホワイトバランスのセットモードは設定できません（☞ P.84）。

カメラ機能設定

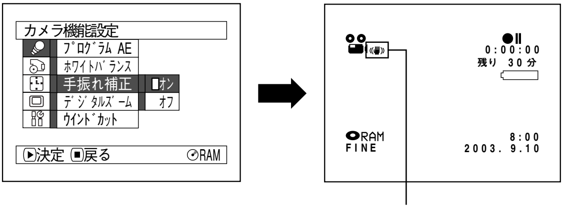
手振れ補正（ぶれを少なくして撮る）

本機は手振れ補正機能を備えています。ズームで被写体を大きくして撮る場合でも、撮影した映像があまりぶれないように自動で補正されます。

1 「メニュー」ボタンを押して、「カメラ機能設定」の「手振れ補正」を選ぶ

2 「オン」か「オフ」を選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する



手振れ補正

ヒント

- 手振れ補正が設定されているかどうかは、画面表示で確認できます。
- 手振れ補正の設定は、電源を切っても記憶されています。
- いつも「オフ」で撮影するのでなければ、撮影後は「オン」に戻してから電源を切ることをおすすめします。
- 台の上に置いたり三脚を使用するときは、手振れ補正を「オフ」にすることをおすすめします。
- 手振れ補正が「オン」になっていると、実際の動きと画面の動きには若干の差が生じます。
- 手振れ補正が「オン」になっていても、手振れが大きすぎると補正されないことがあります。
- 別売のテレコンバージョンレンズまたはワイドコンバージョンレンズをお使いのときは、手振れ補正が正しく動作しないことがあります。

デジタルズーム（大きく撮る）

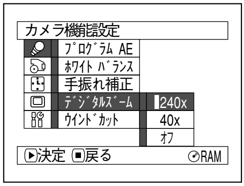
デジタルズームを設定しているとズームレバーを操作したときに、光学10倍を超えたところから自動的にデジタルズームになります。静止画の場合は40倍、動画の場合は40倍と240倍に設定することができます。

1 「メニュー」ボタンを押して、「カメラ機能設定」の「デジタルズーム」を選ぶ

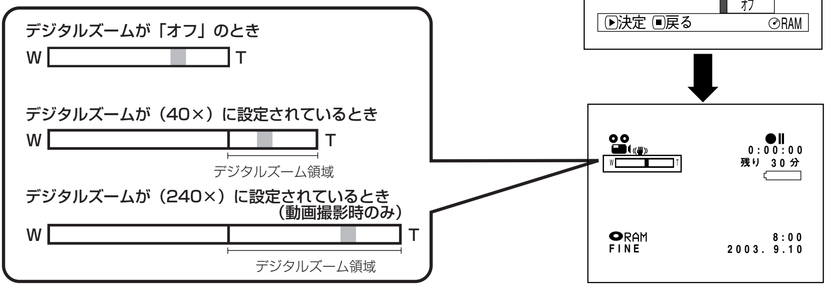
2 設定したい倍率を選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

ズームレバーを動かすと、デジタルズームバーが表示されます。



デジタルズームバー



ヒント

- デジタルズームの設定は、電源を切っても記憶されています。
- リモコンの「デジタルズーム」ボタンを押しても切り換えることができます。ボタンを押すごとに動画撮影の場合は「オフ」→「40x」→「240x」に（「240x」→「オフ」に戻る）、静止画撮影の場合は「オフ」↔「40x」に切り換わります。
- カードをお使いのときは、「240x」を選択しても最大40倍までのズームになります。
- DVD-RAMディスクをお使いのとき、電源スイッチが「 静止画」に合わせてあるときは「240x」を選択しても最大40倍までのズームになります。

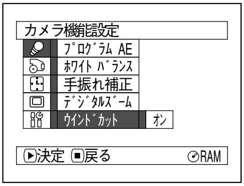
ウインドカット（風の音を低減させて撮る）

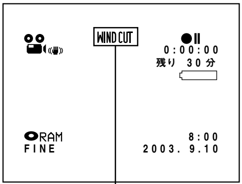
本機の内蔵マイクで録音するとき、風の音を低減させることができます。
「ウインドカット」を「オン」にしておくと、撮影時にマイクに入る音のうち低域の部分がカットされるため、対象の音が聞き取りやすくなります。

1 「メニュー」ボタンを押して、「カメラ機能設定」の「ウインドカット」を選ぶ

2 「オン」を選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する





ウインドカット

ヒント

- ウインドカットが設定されていることは、画面情報でも確認できます。
- ウインドカットの設定は、電源を切っても記憶されています。
- ウインドカットは、動画撮影のときのみ働きます。
- ウインドカットは、内蔵マイクのみ働きます。
- 外部マイクをご使用のときは働きません（☞ P.47）。

記録機能設定

RAM R

動画画質（動画の画質を切り換える）

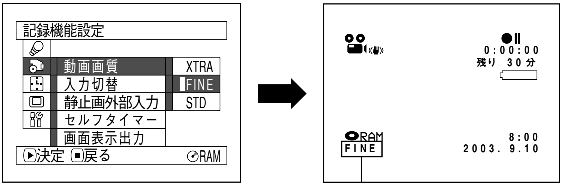
本機では、動画の記録画質を切り換えることができます。

大切な映像は、DVD-RAM ディスクをご使用の場合は「XTRA」か「FINE」で、DVD-R ディスクをご使用の場合は「FINE」で録画することをおすすめします（☞ P.27）。

1 「メニュー」ボタンを押して、「記録機能設定」の「動画画質」を選ぶ

2 設定したい画質を選び、決定する

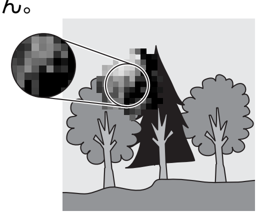
3 「メニュー」ボタンを押して終了する



動画の記録画質

ヒント

- 動画画質の設定は、電源を切っても記憶されています。
- 下記のような撮影条件のときには、記録した映像にブロック状のノイズや被写体の輪郭にゆがみが出ますので、カメラはできるだけゆっくりと動かすようにしてください（特に「STD」での撮影では出やすくなります）。
  - ・ 背景に複雑な絵柄（樹木やフェンスなど）がある場合（下図左）。
  - ・ 本機を大きくまたは速く動かした場合。
  - ・ 本機を動かさなくても被写体が著しく動いている場合。
- 動画画質の設定は、DVD-RAM ディスクと DVD-R ディスクを入れ換えても変わりません。ただし、DVD-RAM ディスク使用時に「XTRA」に設定していた場合と、DVD-R ディスク使用時に「LPCM」に設定していた場合は、ディスクを入れ換えたときに「FINE」の設定になります。
- DVD-Rディスクをお使いのときは、ディスクの途中で画質を切り換えることはできません。最初に録画した動画画質での録画になります。
- 動画画質は、動画の撮影のみ有効です。静止画の撮影では、画質を切り換えても機能しません。



（ブロック状のノイズが発生しやすい景色）



（ブロック状のノイズが発生しにくい景色）

カード

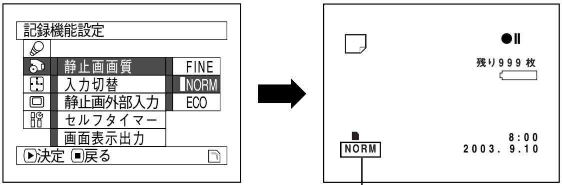
静止画画質（静止画の画質を切り換える）

カードをご使用のときのみ、静止画の記録画質を切り換えることができます。
大切な画像は「FINE」で録画することをおすすめします（☞ P.49「静止画の画質について」）。

1 「メニュー」ボタンを押して、「記録機能設定」の「静止画画質」を選ぶ

2 設定したい画質を選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する



静止画の記録画質

ヒント

- 静止画画質の設定は、電源を切っても記憶されています。

RAM　R　カード

入力切替（他の機器から映像を入力する）

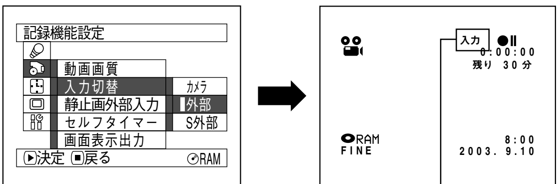
他の機器からの映像を本機に入力するときは、本機の設定を切り換えます。
他の機器との接続方法や、他の機器からの映像を録画する方法は、P.60からの説明を参照してください。

設　定	設定内容	画面表示
カメラ	通常はこちらに合わせます。	なし
外部	他の機器からの映像を入力するときに合わせます。	入力
S外部	他の機器からの映像をS入力するときに合わせます。	S入力

1 「メニュー」ボタンを押して、「記録機能設定」の「入力切替」を選ぶ

2 設定したい入力モードを選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する



外部入力表示

ヒント

- 入力切替の設定は、電源を切ると「カメラ」に戻ります。また、カードをお使いの場合は、カードを出し入れすると「カメラ」に戻ります。

RAM　カード

静止画外部入力（外部入力映像の録画方式を切り換える）

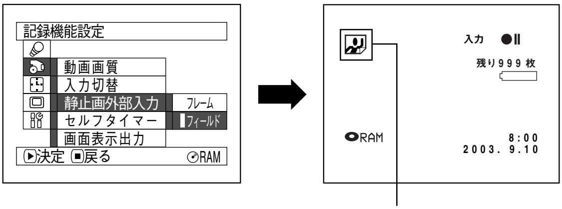
DVD-RAM ディスクとカードをお使いのときは、外部入力の映像を静止画で撮ることができます。静止画を撮るときの録画方式を 2 通りに切り換えられます。
動きの少ない映像は「フレーム」で撮ることもできますが、動きのある映像を録画するときは「フィールド」をおすすめします。

録画方式	設定内容	画面表示
フレーム	高画質ですが、動きの多い画像の録画には適しません。画面にぶれが生じやすくなります。動きの少ない画像の録画に適しています。	
フィールド	画面のぶれは比較的少なく、動きの多い画像の録画に適しています。	

1 「メニュー」ボタンを押して、「記録機能設定」の「静止画外部入力」を選ぶ

2 設定したい録画方式を選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する



フィールド表示

ヒント

- 外部入力映像の静止画の録画方式は、画面表示で確認できます。
- 静止画外部入力の設定は、電源を切っても記憶されています。
- 他の機器との接続のしかたは、P.60「他の AV 機器からの映像を記録する」をご覧ください。

セルフタイマー

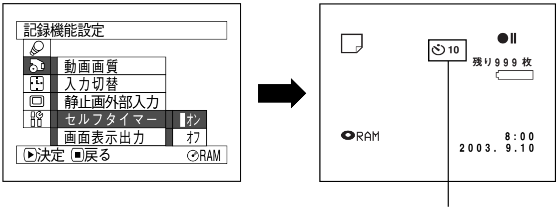
自分や自分を含めた数人の静止画を撮るときに、一般のカメラと同じようにセルフタイマーで撮影することもできます。

1 「メニュー」ボタンを押して、「記録機能設定」の「セルフタイマー」を選ぶ

2 「オン」を選び、決定する

「セルフタイマー」が設定されます。

3 「メニュー」ボタンを押して終了する



セルフタイマー

4 「録画」ボタンを押す

本機の前面にある録画ランプが点滅します。
セルフタイマーの表示がカウントダウンして、約 10 秒後に記録されます。

ヒント

- セルフタイマーが設定されていることは、画面表示でも確認できます。
- セルフタイマーを解除したい場合は、設定を「オフ」にするか、一度電源を切ってください。
- セルフタイマーを中断する場合は、記録される前に、もう一度「録画」ボタンを押すか、□(停止／キャンセル)ボタンを押してください。
- セルフタイマーは静止画撮影のときのみ有効です。

RAM R カード

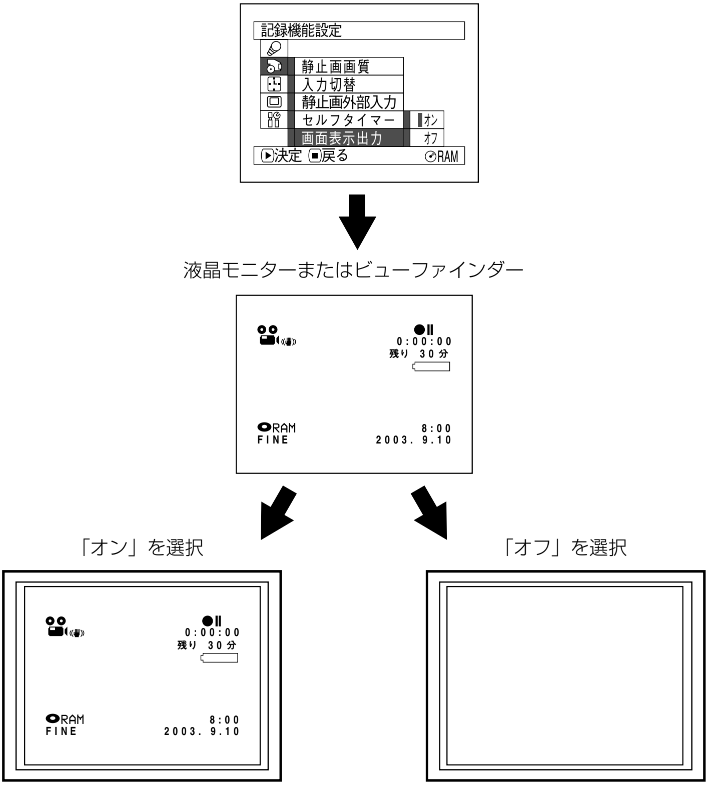
画面表示出力

本機をテレビにつないで見るときは､ビューファインダーや液晶モニターに表示される画面情報をテレビに表示しないようにできます（☞ P.68「テレビで見る」参照）。

1 「メニュー」ボタンを押して、「記録機能設定」の「画面表示出力」を選ぶ

2 「オン」か「オフ」を選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する



テレビ画面　　テレビ画面

ヒント

- 「オフ」に設定しても、再生時の画面表示は表示されます。再生時の画面表示についてはP.66をご覧ください。
- 画面情報はテレビ画面に表示されなくても､ビューファインダーや液晶モニターには表示されます。

記録機能設定

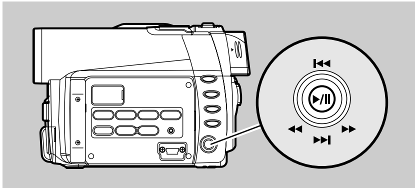
RAM R カード

液晶モニター設定

撮影や再生をするとき、液晶モニターの明るさや色のこさを調節することができます。

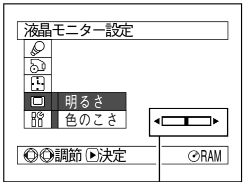
明るさ（液晶モニターの明るさを設定する）

1 「メニュー」ボタンを押して、「液晶モニター設定」の「明るさ」を選ぶ
画面に明るさを調節するバーが表示されます。



2 ジョイスティックで調節する
◎…暗くなります
◎…明るくなります

3 「メニュー」ボタンを押して終了する



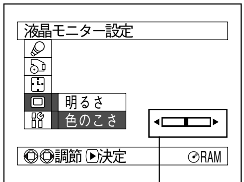
明るさ調節バー

色のこさ（液晶モニターの色のこさを設定する）

1 「メニュー」ボタンを押して、「液晶モニター設定」の「色のこさ」を選ぶ
画面に色のこさを調節するバーが表示されます。

2 ジョイスティックで調節する
◎…色がうすくなります
◎…色がこくなります

3 「メニュー」ボタンを押して終了する



色のこさ調節バー

ヒント

- 明るさや色のこさの設定は、電源を切っても設定リセットを行っても記憶されています。（☞ P.91）

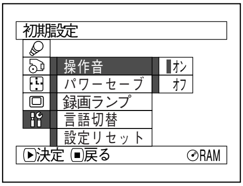
RAM　R　カード

初期設定

操作音を出す／消す

本機は、電源の切／入、動画モードで録画ボタンを押したときなどに、操作音が出るようになっています。必要がない場合は、操作音を消すことができます。

設　定	設定内容
オン	操作音が出ます。
オフ	操作音が出ません。



1 「メニュー」ボタンを押して、「初期設定」の「操作音」を選ぶ

2 「オン」か「オフ」を選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する

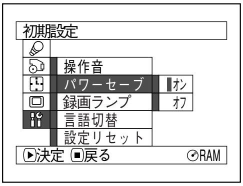
ヒント

- 操作音の設定は、電源を切っても記憶されています。

パワーセーブ（自動的に電源を切る）

本機にはパワーセーブの設定があります。
パワーセーブを設定した場合、記録一時停止でなにも操作しない状態が約 5 分間続くと、自動的に電源が切れてバッテリーの消耗を防ぐことができます。

設　定	設定内容
オン	パワーセーブを設定します。
オフ	パワーセーブを解除します。



1 「メニュー」ボタンを押して、「初期設定」の「パワーセーブ」を選ぶ

2 「オン」か「オフ」を選び、決定する

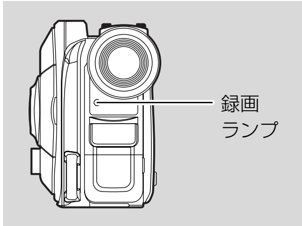
3 「メニュー」ボタンを押して終了する

ヒント

- パワーセーブの機能により電源が切れたあと電源を入れたいときは、一度電源スイッチを「電源／切」にしてから電源を入れてください。
- パワーセーブの設定は、画面情報には表示されません。
- パワーセーブの設定は、電源を切っても記憶されています。

録画ランプ点灯／消灯

本機の前面にある録画ランプを消すことができます。

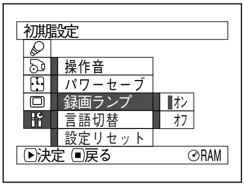


設　定	設定内容
オン	録画しているとき、録画中であることをお知らせするため、赤く点灯します。
オフ	録画中でも録画ランプは点灯しません。

1 「メニュー」ボタンを押して、「初期設定」の「録画ランプ」を選ぶ

2 「オン」か「オフ」を選び、決定する

3 「メニュー」ボタンを押して終了する



ヒント

- 録画ランプの設定は、画面情報には表示されません。
- 録画ランプの設定は、電源を切っても記憶されています。
- ガラスごしや水槽など反射するものを撮影するときなどにオフにすると、録画ランプの反射光が撮影されません。

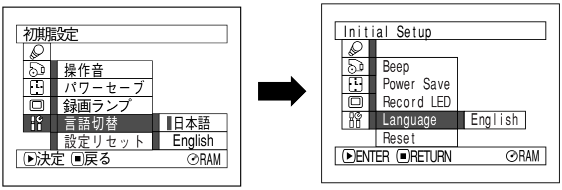
言語切替（表示言語の切り換え）

メニューの表示や情報表示の言語を英語に切り換えることができます。
ここでは、日本語表示から英語表示に切り換えてみましょう。

1 **「メニュー」ボタンを押して、「初期設定」の「言語切替」を選ぶ**
「日本語」が選択されています。

2 **「English」を選び、決定する**
表示が英語に切り換わります。

3 **「メニュー」ボタンを押して終了する**



ヒント

- 表示言語の設定は、電源を切っても記憶されています。
- 表示言語を英語にしても、「Language」の選択肢には「日本語」「English」と表示されます。

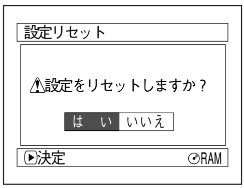
設定リセット（メニューを初期状態に戻す）

カメラメニューの設定を初期状態（工場出荷時の設定値（☞ P.184））に戻すことができます（日付・時刻設定と、液晶モニターの明るさ、色のこさは戻りません）。

1 **「メニュー」ボタンを押して、「初期設定」の「設定リセット」を選ぶ**
「設定リセット」の確認画面が表示されます。

2 **リセットしてよい場合は、「はい」を選び、決定する**
設定項目が初期状態になります。

3 **「メニュー」ボタンを押して終了する**



ヒント

- リセットを途中でやめたい場合は、手順 **2** の確認画面で、「いいえ」を選ぶか、□（停止／キャンセル）ボタンを押してください。

ディスクナビゲーション機能を使う

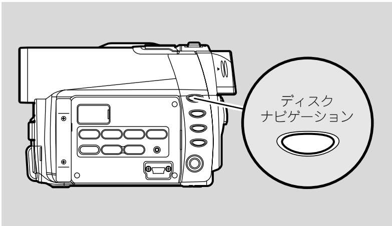
ディスクナビゲーションは、本機で撮影したシーンを再生・編集するための機能です。ここでは、ディスクナビゲーション機能を活用するために、シーンやプログラムについて説明します。
なお、説明内の画面は、基本的にDVD-RAMディスクを使用したときの画面を使っています。DVD-Rディスクやカードをお使いのときは表示されない項目もありますが、操作には変わりありません。

始める前に

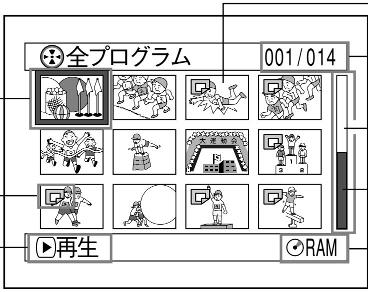
- カメラの電源を入れてください（☞ P.41）。
  ディスクをお使いの場合 ....「動画」または「静止画」
  カードをお使いの場合 ....「カード 静止画」

ディスクナビゲーションを起動する

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
ディスクナビゲーションボタンを押すと、下記のような画面（ディスクナビゲーション画面）が表示されます。



下記の画面はDVD-RAMディスクをお使いのときの画面です。
DVD-Rディスクやカードをお使いのときには表示されないものもあります。



＊１： サムネイルとは、撮影した映像の内容を区別するために、ディスクナビゲーションで表示される縮小画面のことです。
＊２： シーン番号は、表示画面の中での表示番号です。
＊３： カードのときには、静止画アイコンは表示されません。
＊４： 操作ガイドは、そのときの操作状況により変わります。
＊５： 13シーン以上あるときに表示されます。
＊６： カードのときには、が表示されます。

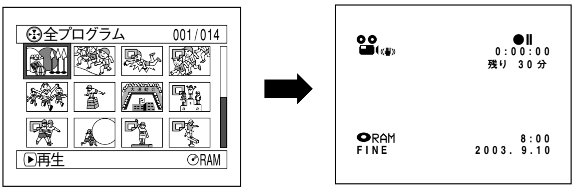
ヒント

- 背景色でディスクとカードのどちらを使用しているかが分かります。
  紫…ディスクをお使いのとき
  緑…カードをお使いのとき
- 画面表示ボタンを押すと、カーソルのあるシーンの撮影日時が操作ガイドの位置に表示されます。もう一度押すと、操作ガイドが表示されます。
- ディスクやカードが入っていないと、「ディスクナビゲーション」ボタンを押してもディスクナビゲーションの画面は表示されません。
- DVD-Rディスクをご使用の場合は、ディスクナビゲーションを起動するたびに「サムネイル生成中です。」とメッセージが表示されてから、ディスクナビゲーション画面が表示されます。
- 以下のようなディスクやカードを入れたときは、自動的にディスクナビゲーション画面が表示されます。
  – ディスクプロテクトされたディスク
  – ロックされたカード
  – ファイナライズ済みのDVD-Rディスク
- ディスクナビゲーション画面を接続したTV画面に表示させたままにしないでください。テレビ画面に焼き付きなどの損傷を与える場合があります。

ディスクナビゲーションを終了する

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

ディスクナビゲーションを終了して、記録一時停止状態になります。
ロ(停止／キャンセル）ボタンを押しても終了します。



●サムネイルとは

撮影した映像の内容を区別するための縮小画面のことです。サムネイルは最大999シーンまで作成されます。999シーンを超えても撮影はできますが、新たにサムネイルは作成されず、最後のシーンに撮影したシーンが結合されていきます。
撮影直後のサムネイルは、撮影した映像の最初の場面に設定されています。本機では、サムネイル画像の変更ができます（☞ P.100）。

●シーンとは

動画の場合...........「録画」ボタンを押して記録を開始して、もう一度「録画」ボタンを押して記録を停止するまでの映像
静止画の場合.......「録画」ボタンを押して記録した1枚の画像

ディスクナビゲーション画面から再生する

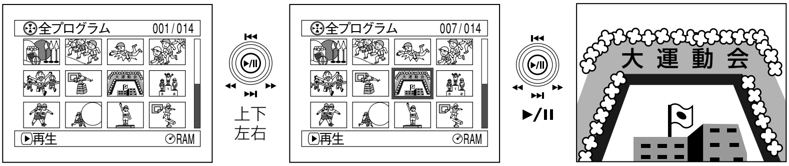
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 見たいシーンにカーソルを合わせる

ジョイスティックを上下左右に動かして合わせてください。

3 ▶/II を押す

選んだシーンから再生が始まります。

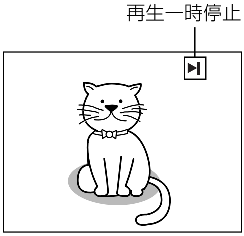


ヒント

- ジョイスティックを左右に動かすと、カーソルが 1 画面ずつ移動します。
  上下に動かすと、上下に移動したり、前後のページに移動します。

●再生が終わると・・・

最後のシーンの最後の場面で再生一時停止状態になります。□（停止／キャンセル）ボタンかディスクナビゲーションボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。
再生一時停止状態が約 5 分続くと、自動的にディスクナビゲーション画面に戻ります。



●静止画の再生

静止画は約 3 秒間表示されます。カードの場合は 1 枚ごとに停止します。

ヒント

- 再生を一時停止させるときは、▶/II を押します。
  もう一度 ▶/II を押すと、そこから再生が始まります。
- 最後のシーンの再生が終わったあと ▶/II を押すと、ディスクの先頭から再生します。
- □(停止／キャンセル) ボタンを押せば、いつでもディスクナビゲーション画面に戻れます。
- ディスクナビゲーションからの再生では、任意のシーンを選んで再生したり、あるシーンを飛ばして再生したりできます（☞ P.95、101）。
- カード再生では、画素数の大きな静止画を再生すると、“再生を開始します。” と表示され、静止画が表示されるまで時間がかかります。

複数のシーンを選ぶ

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **選択したいシーンにカーソルを合わせる**

3 **「選択」ボタンを押す**
選択されたシーンには、赤色の枠が表示されます。
手順 **2**、**3** を繰り返して、複数のシーンを選ぶことができます。

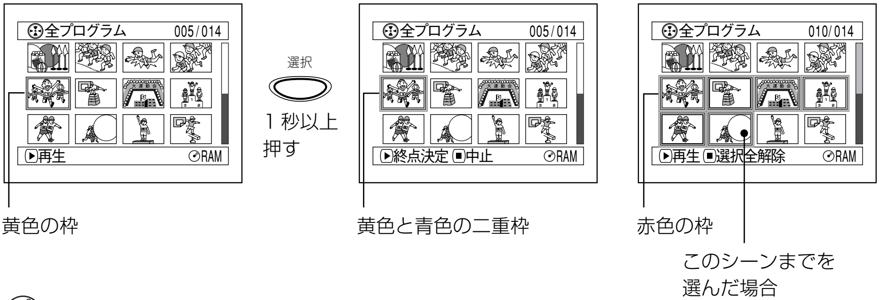
連続するシーンをまとめて選ぶ

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **選択したいシーンにカーソルを合わせる**

3 **「選択」ボタンを 1 秒以上押し続ける**
選んだシーンに黄色と青色の二重枠が表示されます。

4 **選択したい範囲の最後のシーンを選び、決定する**
範囲指定したシーンに赤い枠が表示され、選択されます。



ヒント

- シーンを選んだあとで ▶/II を押すと、選んだシーンだけ再生します。
- 選んだシーンを解除したいときは、解除したいシーンを選び「選択」ボタンを押してください。
  選んだシーンをすべて解除したいときは、□(停止／キャンセル)ボタンを押してください。
- カーソルの色とバーグラフの色で、シーンの状態が分かります。

カーソル	バーグラフ	シーンの状態
黄	水色	現在位置
青	水色	範囲選択中
赤	赤	選択済

- 選択しようとしている範囲の最後のシーンから、逆方向に範囲を選ぶこともできます。
- 手順 **4** で決定する前に □(停止／キャンセル) ボタン、または「選択」ボタンを押すと、操作を中止します。
- ディスク、カードとも選択できるシーンは、最大 999 シーンです。

ディスクナビゲーションメニュー

ディスクナビゲーションメニューを使うと、さらに多彩な操作が可能です。

ディスクナビゲーションでできること

できること	使用ディスクまたはカード	内　容	参照ページ
シーンの削除	RAM カード	いらないシーンを削除することができます。	98
シーンの編集	RAM	シーンにフェードやスキップを設定したり、シーンとシーンの結合やひとつのシーンを分割することができます。	100
シーンの情報表示	RAM R カード	1つのシーン、または複数のシーンの画質や記録時間などの情報を表示します。	110
タイトル設定	RAM	プレイリストやプログラムにお好きなタイトルを設定できます。	113、125
プレイリストの作成	RAM	シーンの組合わせを変えて、オリジナルムービーが作成できます。	116
ディスクまたはカードの初期化	RAM カード	ディスクまたはカードを本機で使えるよう初期化できます。	130
ディスクからカードへのコピー	RAM カード	DVD-RAM ディスクに記録されている静止画をカードにコピーすることができます。	106
ディスクのファイナライズ	R	本機で撮影した DVD-R ディスクを DVD プレーヤーなどでご覧になるためにファイナライズします。	132
リピート再生	RAM R	プログラムやシーンの繰り返し再生ができます。	134
スライドショー	カード	静止画の連続再生ができます。	135
残量表示	RAM R カード	あとどのくらいの時間または枚数が撮影可能かを表示します。	128
ディスクプロテクト	RAM	誤ってシーンを削除したり初期化したりしないように、ディスクにプロテクトをかけることができます。	129
シーンのロック	カード	誤ってシーンを削除したりしないように、各シーンをロックすることができます。	107
DPOF 設定	カード	各シーンに印刷枚数を設定できます。	108

ディスクナビゲーションメニューの流れを確認する

ディスクナビゲーション画面からメニューボタンを押すと、ディスクナビゲーションに関するメニューや、ディスク、カードに関するメニューが表示されます。
画面の見かたについては、P.74 ～ 76 をご覧ください。
また、設定の詳細については、各参照ページをご覧ください。

● DVD-RAM ディスクをお使いの場合

- シーン
  - 削除（P.98）
  - 編集（P.100）
    - サムネイル（P.100）
    - スキップ（P.101）
    - フェード（P.102）
    - 結合（P.104）
    - 分割（P.105）
    - 並べ替え（P.103）
  - コピー（P.106）
  - 選択（P.109）
    - 先頭からカーソル（P.109）
    - カーソルから末尾（P.109）
    - 全て（P.109）
  - 情報表示（P.110）
- プレイリスト
  - 切替（P.117）
  - 再生（P.118）
  - 新規作成（P.116）
  - 編集（P.119）
  - タイトル変更（P.125）
  - 削除（P.126）
- プログラム
  - 切替（P.111）
  - 再生（P.112）
  - タイトル変更（P.113）
- ジャンプ
  - 先頭へ（P.127）
  - 末尾へ（P.127）
- ディスク
  - 残量表示（P.128）
  - プロテクト（P.129）
  - 初期化（P.130）
  - 管理情報更新（P.131）
- ETC その他設定
  - 表示分類（P.133）
  - リピート再生（P.134）

● DVD-R ディスクをお使いの場合

- シーン
  - 選択（P.109）
    - 先頭からカーソル（P.109）
    - カーソルから末尾（P.109）
    - 全て（P.109）
  - 情報表示（P.110）
- プログラム
  - 切替（P.111）
  - 再生（P.112）
- ジャンプ
  - 先頭へ（P.127）
  - 末尾へ（P.127）
- ディスク
  - 残量表示（P.128）
  - ファイナライズ（P.132）
- ETC その他設定
  - リピート再生（P.134）

●カードをお使いの場合

- シーン
  - 削除（P.98）
  - ロック（P.107）
  - DPOF（P.108）
  - 選択（P.109）
    - 先頭からカーソル（P.109）
    - カーソルから末尾（P.109）
    - 全て（P.109）
  - 情報表示（P.110）
- ジャンプ
  - 先頭へ（P.127）
  - 末尾へ（P.127）
- スライドショー
  - 全て（P.135）
  - DPOF（P.135）
- カード
  - 残量表示（P.128）
  - 初期化（P.130）

シーン

RAM カード

削除（シーンを削除する）

いらないシーンを削除してみましょう。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

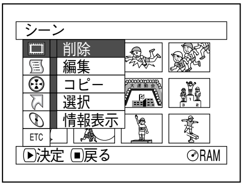
2 **削除したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.95、109）。

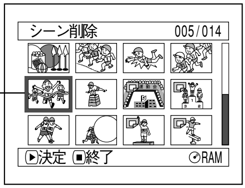
3 **「シーン」→「削除」を選び、決定する**

4 **「シーン削除」画面が表示されるので、削除したいシーンに変更がなければこのまま決定する**
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 **確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する**
削除しない場合は「いいえ」を選んでください。
決定後は、「シーン削除」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 ～ 5 を繰り返して、他のシーンの削除もできます。

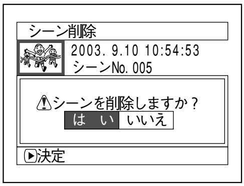
6 **□(停止 / キャンセル）ボタンを押して終了する**





削除したい
シーン

（シーン選択画面）



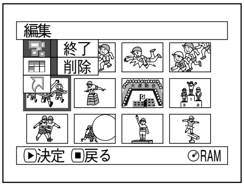
ヒント

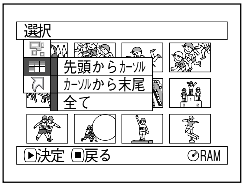
- 全プログラム画面で削除したいシーンにカーソルを合わせてリモコンの「削除」ボタンを押すと、手順 4 の画面が表示されます。
- シーンの削除をしても削除部分の時間や枚数が少ない場合は、残量表示が増加しない場合があります。
- カードをご使用の場合、ロックされているシーンは削除されません（☞ P.107）。

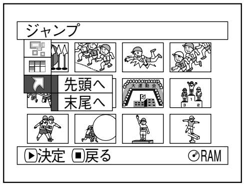
> **お願い**
> - ディスクやカードの中のすべてのデータを消去してもよい場合は、初期化をしてください（☞ P.130）。
> - プレイリストが１つでも作成してあると、シーンを削除する前に「プレイリスト中の関連シーンも削除されます。シーンを削除しますか？」と表示されます。削除したいシーンがプレイリストで使われていなくても表示されますので、そのときは▶/II を押してください（☞ P.115「プレイリスト」）。

●サブメニューを使った編集

手順 4 のとき、▶/II を押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。







- 「編集」
  - 「終了」............................ ディスクナビゲーション画面に戻ります
  - 「削除」............................ 選択したシーンを削除します
- 「選択」
  - 「先頭からカーソル」.... 先頭から現在カーソルのあるシーンまで選択します
  - 「カーソルから末尾」.... 現在カーソルのあるシーンから末尾まで選択します
  - 「全て」............................ すべてのシーンを選択します
- 「ジャンプ」
  - 「先頭へ」........................ カーソルを先頭のシーンに移動します
  - 「末尾へ」........................ カーソルを末尾のシーンに移動します

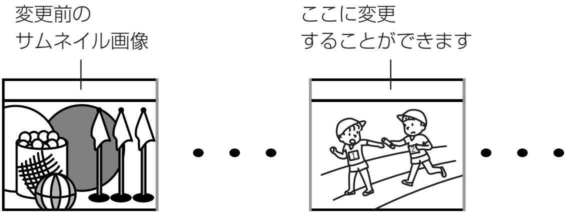
ロ(停止／キャンセル）ボタンを押すと、手順 4 に戻ります。

ヒント

- サブメニューは各設定で表示されますが、設定によっては表示されない項目もあります。

編集～サムネイル（サムネイル画像を変更する）

サムネイルとは、撮影した映像の内容を区別するために、ディスクナビゲーションで表示される縮小画面のことです。
シーンの画像は、通常撮影したときの最初の場面になっていますが、この画像を変えることができます。
インパクトのある場面をサムネイルの画像に設定すると、ディスクナビゲーション画面だけで何を撮影したシーンかが一目で分かり、とても便利です。



1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **変更したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**

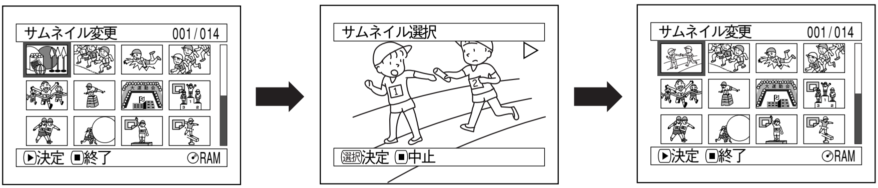
3 **「シーン」→「編集」→「サムネイル」を選び、決定する**

4 **「サムネイル変更」画面が表示されるので、変更したいシーンに変更がなければそのまま決定する**
選択したシーンが再生されます。
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 **変更したい場面になったら「選択」ボタンを押す**

6 **確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する**
変更しない場合は「いいえ」を選んでください。
変更後は、「サムネイル変更」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 ～ 6 を繰り返して、他のシーンも変更できます。

7 **■(停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**



ヒント

- 手順 4 のとき「選択」ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.99「サブメニューを使った編集」）。
- 静止画のサムネイル画像の変更はできません。
- スキップが設定されているシーンは再生できないため、サムネイル変更を行えません。スキップを解除してから変更してください。

RAM

編集～スキップ（シーンを飛ばして再生する）

再生したくないシーンにスキップを設定しておくと、そのシーンは再生されません。

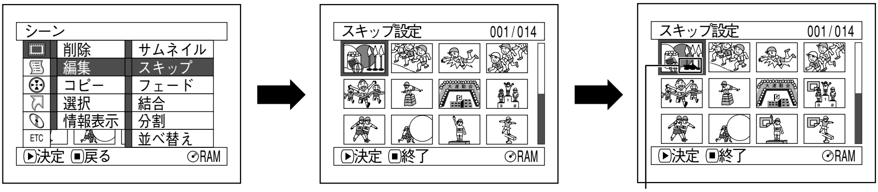
1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **設定したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.95、109）。

3 **「シーン」→「編集」→「スキップ」を選び、決定する**

4 **「スキップ設定」画面が表示されるので、スキップしたいシーンに変更がなければこのまま決定する**
変更したい場合は、ここの画面で変更できます。
設定後は、「スキップ設定」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 を繰り返して、他のシーンにもスキップ設定ができます。

5 **□（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**
スキップが設定されているシーンには、スキップマーク「　」が表示されています。



スキップマーク

●スキップ設定を解除するには

スキップが設定してあるシーンを選び、同じように設定してください。
スキップマークが消え、スキップが解除されます。

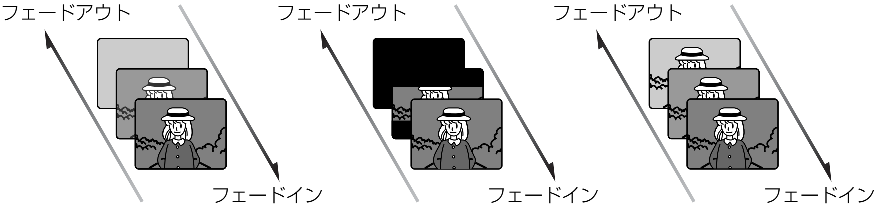
ヒント

- 手順 4 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.99「サブメニューを使った編集」）。

シーン

編集～フェード

シーンの最初と最後にフェードを設定できます。
フェード設定は次の３種類です。



ホワイト：
- 白い画面からフェードイン
- 白い画面へフェードアウト

ワイプ：
- 黒い画面から画面上下方向へフェードイン
- 画面上下方向から黒い画面へフェードアウト

モノトーン：
- 白黒の画面からカラー画面へフェードイン
- カラー画面から白黒画面へフェードアウト

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

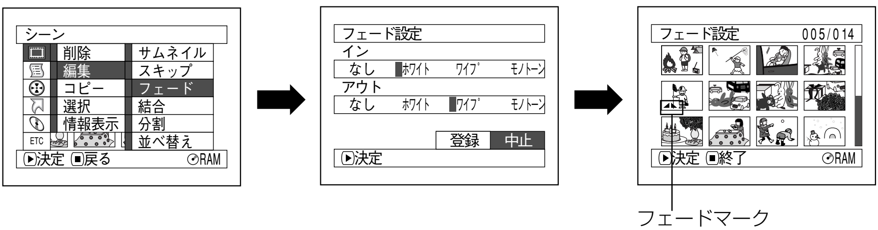
2 **設定したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**

3 **「シーン」→「編集」→「フェード」を選び、決定する**

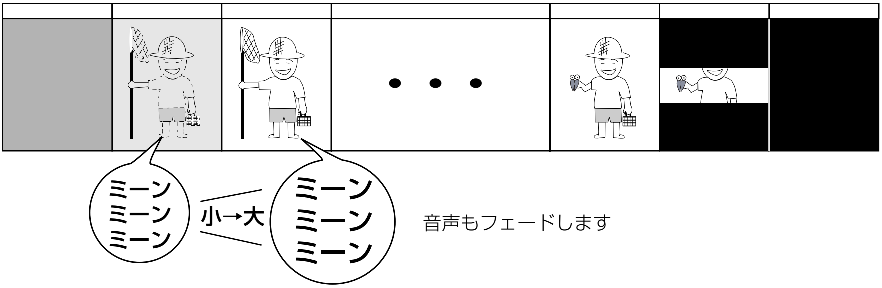
4 **「フェード設定」画面が表示されるので、設定したいシーンに変更がなければこのまま決定する**
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 **「イン」と「アウト」の効果をそれぞれ選び、「登録」を選んで決定する**
設定しない場合は「中止」を選んでください。
設定後は、「フェード設定」のシーン選択画面に戻ります。
手順 **4** ～ **5** を繰り返して、他のシーンにもフェード設定ができます。

6 **□(停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**
フェードが設定されているシーンには、それぞれマーク「◢」「◣」が表示されています。



再生すると…



ヒント

- 手順 4 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.99「サブメニューを使った編集」）。
- フェードを設定すると、音声も連動します。
- フェード設定は、「イン」と「アウト」のどちらか片方だけの設定も可能です。
- フェード設定は同じ手順で何度でも変更できます。
- 再生時に表示される画面表示にも、フェード設定が働きます。
- フェード設定は、複数のシーンで設定が可能です。
- シーンの再生時間が短いと、フェードが途中で切れることがあります。
- 静止画と、記録時間が約３秒以下の動画にフェードインとフェードアウトの設定をした場合、フェードインのみ有効になります。
- 記録一時停止状態から再生した場合は、フェード設定が働きません。
- スキップして頭出しした場合、シーンの先頭画像が一瞬出てから、フェードが働きます。
- コマ送り／コマ戻し再生やスロー再生中、サーチ再生中は、フェードは働きません。

RAM

編集～並べ替え（シーンを並べ替える）

シーンの並べ替えは、プレイリスト内のシーンに限ります。
プレイリストを作成後、シーンの並べ替えを行ってください（☞ P.116「新規作成(プレイリストを作成する)」）。

シーン

編集～結合（複数の動画を結合する）

複数の動画を１つにまとめることができます。
短いシーンをたくさん撮ったときなど、１つにまとめると便利です。
結合するには、必ず連続している複数の動画を選択してください。また、表示分類が「全て」の場合のみ結合できます（☞ P.133)。
静止画を結合することはできません。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

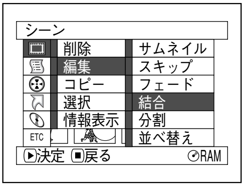
2 結合したいとなり合った複数のシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す
複数シーンの選択は、P.95、109 をご覧ください。

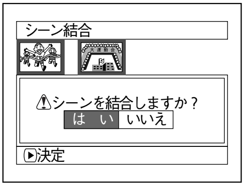
3 「シーン」→「編集」→「結合」を選び、決定する

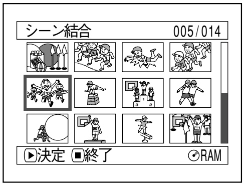
4 「シーン結合」画面が表示されるので、結合したいシーンに変更がなければこのまま決定する
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する
確認画面の２つの画像は、結合する最初のシーンと最後のシーンです。
結合しない場合は「いいえ」を選んでください。
結合後は、「シーン結合」のシーン選択画面に戻ります。
サムネイルは選択した最初のシーンが表示されます。
手順 4 ～ 5 を繰り返して、他のシーンも結合できます。

6 □(停止／キャンセル）ボタンを押して終了する







ヒント

- 手順 4 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.99「サブメニューを使った編集」)。
- フェード設定は、選択範囲の先頭の動画のインの効果と、最終の動画のアウトの効果が引き継がれます。

お願い

- プログラムが違う（撮影した日が違う）シーンを結合すると、電源を入れて最初のディスクナビゲーション起動時に管理情報追加のメッセージが表示されます（☞ P.176)。
追加メッセージで「はい」を選択すると、結合したシーンが分割されてしまいます。
「いいえ」を選択するとシーンは結合されますが、ディスクナビゲーションを起動するたびに管理情報追加のメッセージが表示されます。
プログラムが違うシーンを結合するときは、結合したいシーンをプレイリスト作成してから結合してください（☞ P.115「プレイリスト」)。

RAM

編集～分割（動画を分割する）

シーンを２つに分割することができます。
シーンの不要な部分を削除するときは、分割してから不要なほうを削除します。
シーンの一部を切り取ってプレイリストで利用することもできます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 分割したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

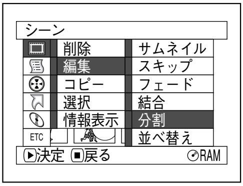
3 「シーン」→「編集」→「分割」を選び、決定する

4 「シーン分割」画面が表示されるので、分割したいシーンに変更がなければこのまま決定する
選択したシーンが再生されます。
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 分割したい部分になったら「選択」ボタンを押す

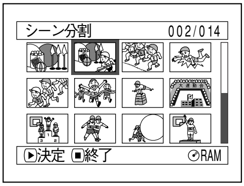
6 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する
分割しない場合は「いいえ」を選んでください。
分割後は、「シーン分割」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 ～ 6 を繰り返して、他のシーンの分割もできます。

7 □（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する





画面表示ボタンを押すと、再生情報表示が表示されます。



ヒント

- 手順 4 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.99「サブメニューを使った編集」）。
- 分割位置を指定するときは、サーチやコマ送りを使うと便利です（☞ P.63）。
- 分割前のシーンにフェード設定をしていた場合は、インの効果は前半のシーンに、アウトの効果は後半のシーンに引き継がれます。
- 一度分割したシーンは、結合すると元のシーンに戻ります（☞ P.104の「編集～結合」をご覧ください）。
- 分割位置が、指定した位置から前後に約 0.5 秒ずれる場合があります。
- 静止画を分割しようとした場合、メッセージが表示され、分割は行われません。
- 分割位置がシーンの先頭・末尾の場合、メッセージが表示され、分割は行われません。
- 記録時間が 0.5 秒以下の動画は分割できません。

お願い
- スキップが設定されているシーンは、再生できないため、分割位置を指定できません。スキップを解除してから分割してください。
- ディスクの残量がなくなると、分割できなくなることがあります。この場合は、不要な映像を削除してください。

コピー（DVD-RAM ディスクの静止画をカードにコピーする）

DVD-RAM ディスクに撮影した静止画をカードにコピーすることができます。
動画のコピーはできません。

始める前に

- コピーしたい静止画が録画してある DVD-RAM ディスクと、空きのあるカードを本機にセットしてください。

1 **電源スイッチを「動画」または「静止画」に合わせる**

2 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

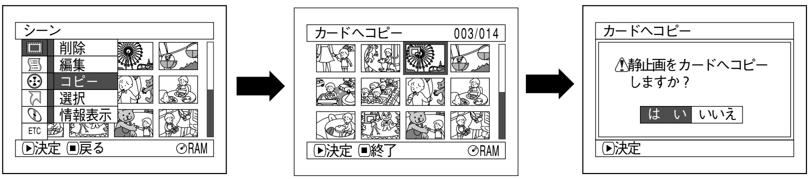
3 **カードへコピーしたい静止画を選び、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.95、109）。

4 **「シーン」→「コピー」を選び、決定する**

5 **「カードへコピー」の画面が表示されるので、コピーしたいシーンに変更がなければ、このまま決定する**
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

6 **コピーする場合は、「はい」を選び決定する**
コピーしない場合は「いいえ」を選んでください。
コピー後は、「カードへコピー」のシーン選択画面に戻ります。
手順 5 ～ 6 を繰り返して、他のシーンもカードにコピーすることができます。

7 **□(停止／キャンセルボタンを押して終了する**



ヒント

- 手順 5 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.99「サブメニューを使った編集」）。
- 動画を含むシーンをすべて選択しても、静止画のみコピーされます。
- DVD-RAM ディスクに録画されている静止画を確認したい（☞ P.133「表示分類」）。
- カードからディスクへのコピーはできません。
- ディスクからカードへコピーした静止画の画質は、「FINE」になります。
- 本機以外で記録した静止画の場合は、正常にコピーできない場合があります。

カード

ロック（カードのシーンをロックする）

カードに録画してあるシーンを誤って削除したり、編集したりしないようにシーンごとにロックすることができます。

1 電源スイッチを「カード 静止画」に合わせる

2 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

3 ロックしたいシーン選び、「メニュー」ボタンを押す

複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.95、109）。

4 「シーン」→「ロック」を選び、決定する

5 「ロック設定」画面が表示されるので、ロックしたいシーンに変更がなければ、このまま決定する

シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。
設定後は、「ロック設定」のシーン選択画面に戻ります。
手順 5 を繰り返して、他のシーンにも設定することができます。

6 □（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する



●ロック設定を解除するには

ロックが設定してあるシーンを選び、同じように設定してください。
ロックマークが消え、ロックが解除されます。

ヒント

- 手順 5 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.99「サブメニューを使った編集」）。
- シーンにロックをかけていても、カードの初期化をすると消去されてしまいます（☞ P.130「初期化」）。

DPOF（印刷したいシーンを指定する）

ディーポフ

DPOF対応のシステムで活用できるように、プリントしたいシーンやプリント枚数の情報をカードに設定することができます。

ヒント

- DPOFとはDigital Print Order Formatの略です。写真屋さんなどにプリントをお願いするときなどに使用します。

1 **電源スイッチを「カード 静止画」に合わせる**

2 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

3 **設定したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.95、109）。

4 **「シーン」→「DPOF」を選び、決定する**

5 **「DPOF設定」画面が表示されるので、設定したいシーンに変更がなければこのまま決定する**
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

6 **枚数を指定して、決定する**
ジョイスティックで枚数を指定します。
　上または右 1枚ずつ増えます
　下または左 1枚ずつ減ります
設定後は、「DPOF設定」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 ～ 5 を繰り返して、他のシーンにも設定することができます。

7 **□（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**



DPOFアイコン

ヒント

- 手順 4 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.99「サブメニューを使った編集」）。
- 複数シーンを選択しているとき枚数を指定すると、選択している複数のシーンに同じ枚数が設定されます。
- 1シーンのプリント枚数は最大99枚まで設定できます。
ただし、1カードの最大設定シーン数は、合計999シーンです。
- 他機でDPOF設定すると、本機では認識できないことがあります。
DPOF設定は本機で設定してください。

RAM　R　カード

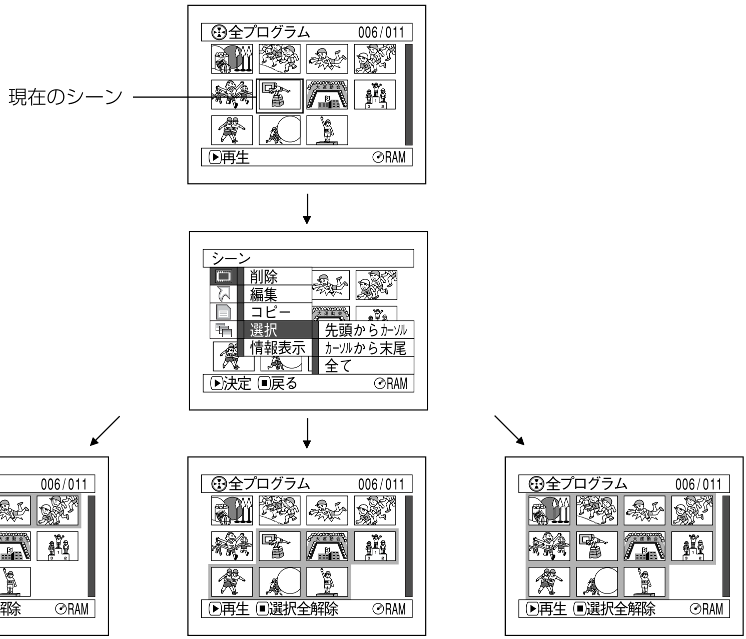
選択（連続するシーンを選択する）

メニューを使って、連続するシーンを一度に選択できます。
シーン数が多いときなど、ジョイスティックを押して選ぶのがわずらわしいときに便利です。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「シーン」→「選択」→「先頭からカーソル」または「カーソルから末尾」または「全て」を選び、決定する**



「先頭からカーソル」を選択
最初のシーンから現在のシーンまで選択される

「カーソルから末尾」を選択
現在のシーンから最後のシーンまで選択される

「全て」を選択
最初のシーンから最後のシーンまですべて選択される

●選択したシーンを解除する

•1 シーンずつ解除する

解除したいシーンを選び、「選択」ボタンを押す。

•選んだシーンをすべて解除する

■（停止／キャンセル）ボタンを押す。

ヒント

- 選択可能なシーン数は、最大 999 シーンです。

情報表示（シーンの情報を表示する）

シーンの録画日時や録画時間、あるいは設定したフェード設定などの情報を表示できます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

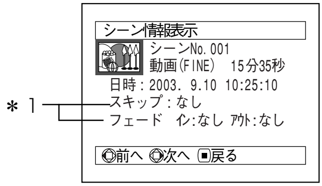
2 情報を知りたいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

3 「シーン」→「情報表示」を選び、決定する

そのシーンの詳しい情報が表示されます。

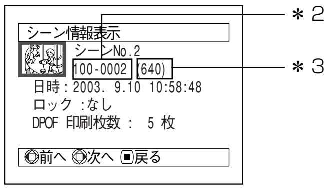
4 □(停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

ディスクをお使いのとき



＊１　DVD-R ディスクをお使いのときは、表示されません。

カードをお使いのとき



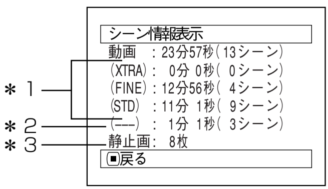
＊２　DCF 準拠でない場合、表示されないことがあります。

＊３　静止画の水平方向の画素数を表します。

ヒント

- 任意の 1 シーンのみ表示されているときは、ジョイスティックを右へ押すと次のシーンの情報が表示され、左へ押すと前のシーンの情報が表示されます。
- 複数のシーンを選ぶとシーンの合計録画時間（静止画の場合は合計枚数）が表示されます。
- 他の機器で録画したDVD-Rディスク（ファイナライズ済み）が入っているときは、シーン情報は表示されません。

ディスクをお使いのとき

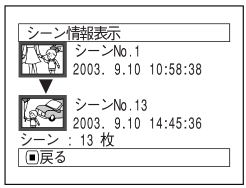


＊１ DVD-R ディスクをお使いのときは FINE/STD/LPCM のいずれかの記録モードが表示されます。

＊２ 他の機器で録画したときなど、記録モードが不明の場合に表示されます。DVD-R ディスクをお使いのときは、表示されません。

＊３ DVD-R ディスクをお使いのときは、表示されません。

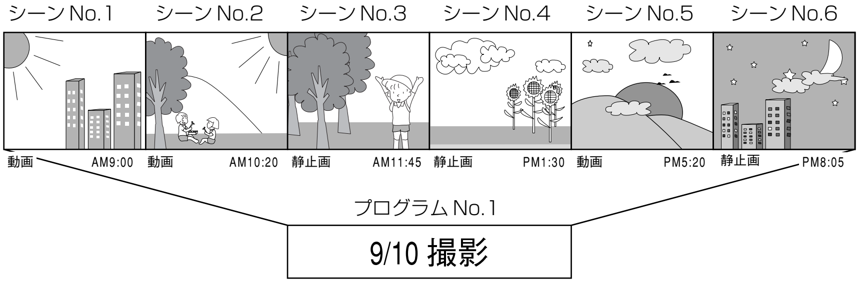
カードをお使いのとき



プログラム

プログラムとは？

動画、静止画に関係なく、撮影日ごとのまとまりが「プログラム」になります。



切替（日付ごとの表示に切り換える）

RAM R

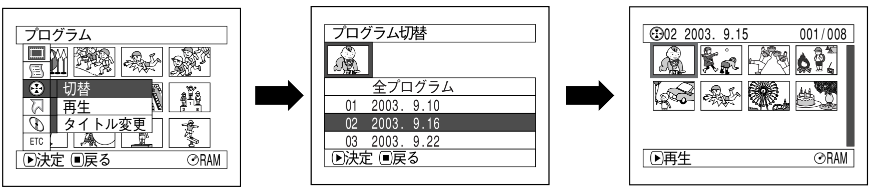
本機で録画されるシーンは、撮影日ごとに「プログラム」としてまとまっているので、プログラムを選択することで、特定の日付のシーンだけを表示できます。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「プログラム」→「切替」を選び、決定する**

4 **表示したいプログラムを選び、決定する**
選んだプログラムのディスクナビゲーション画面が表示されます。



ヒント

- 「プログラム切替」画面で □(停止／キャンセル) ボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。

プログラム

再生（プログラムを再生する）

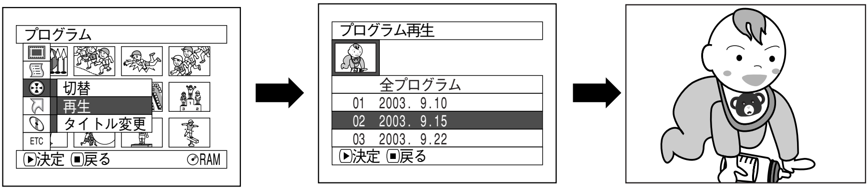
選んだプログラムだけ再生することができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「プログラム」→「再生」を選び、決定する

4 再生したいプログラムを選び、決定する
選んだプログラムの先頭から再生が始まります。



ヒント

- 「リピート再生」が「オン」に設定されているときは、プログラムも繰り返し再生されます（☞ P.134「リピート再生」）。

RAM

タイトル変更（プログラムのタイトルを変更する）

プログラムのタイトルには、撮影した日付がついています。
この日付をお好みのタイトルに変えることができます。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「プログラム」→「タイトル変更」を選び、決定する**

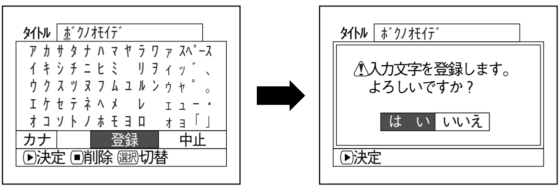
4 **タイトルを変更したいプログラムを選び、決定する**
タイトル設定画面が表示されます。

5 **文字を選び、1 文字ごとに決定する**
選んだ文字が入力されます。
繰り返し行い、タイトルを付けてください。
詳細は、P.114 を参照してください。



6 **入力が終わったら「登録」を選び、決定する**

7 **確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する**
設定しない場合は「いいえ」を選んでください。
設定後は、選んだプログラムのディスクナビゲーション画面が表示されます。

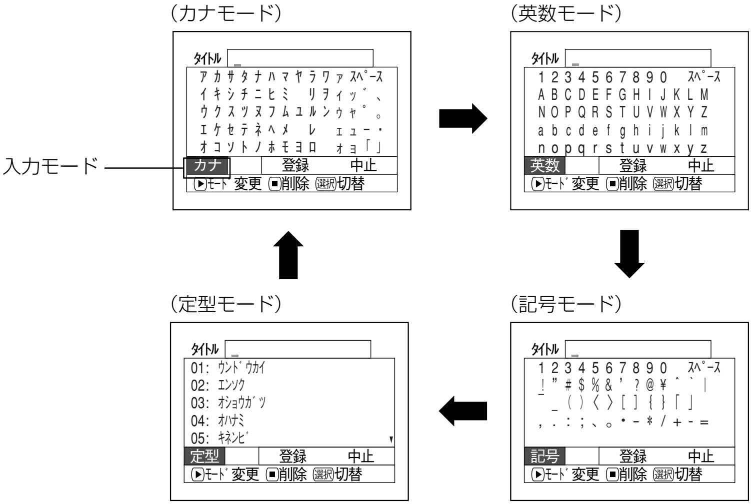


プログラム

●タイトルの入力について

タイトルには「カナ」のほかに「英数」「記号」「定型文」から選ぶことができます。ジョイスティックで入力モードを選んで ▶/II を押すか、「画面表示」ボタンを押してください。

ボタンを押すごとに、下記のようにタイトル入力画面が変わります。



ヒント

- タイトルの文字を消すときは □(停止／キャンセル）ボタンを 1 回押してください。1 文字削除されます。
  □(停止／キャンセル) ボタンを押し続けると、「タイトル」のところに表示してある文字が、すべて削除されます。
- 「選択」ボタンを押すと、カーソルの位置が「タイトル入力バー」、「選択文字パレット」、「入力モード」、「中止」の順に切り換わります。
- 文字を削除するとき、リモコンの削除ボタンを押しても同じように削除できます。
- タイトル入力を中止する場合は、タイトル入力画面で「中止」を選んでください。中止の確認画面が表示されます。中止する場合は、「はい」を選んでタイトル設定を中止してください。
- タイトル設定の確認画面で □(停止／キャンセル) ボタンを押しても、タイトル入力画面に戻ります。
- 他の機器で全角文字のタイトルを設定した場合、本機で表示すると空白になることがあります。
- 本機で設定したタイトルは、他の機器で表示されないことがあります。

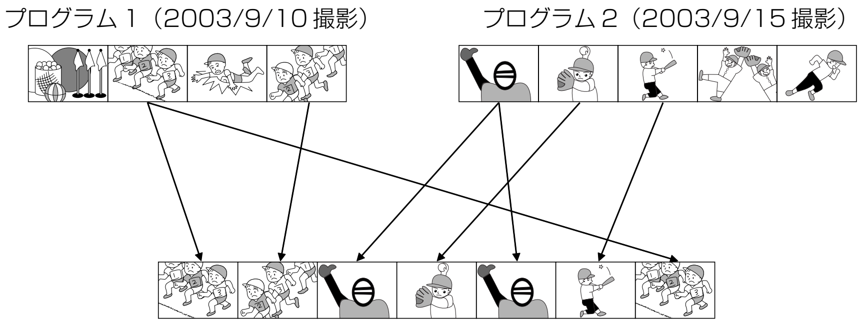
RAM

プレイリスト

プレイリストとは？

録画したシーンの中からお好みのシーンを集めたリストのことです。
データをコピーして作るわけではありませんので、ディスク容量はほとんど使いません。
また、削除しても録画できる容量は増えません。

（例）



プレイリスト1作成

プレイリストはNo.99まで作成可能です。
ただし、No.1 ～ No.99までの合計シーンは999シーンまでです。

新規作成（プレイリストを作成する）

プレイリストを作ってみましょう。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **プレイリストを作成したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.95、109）。

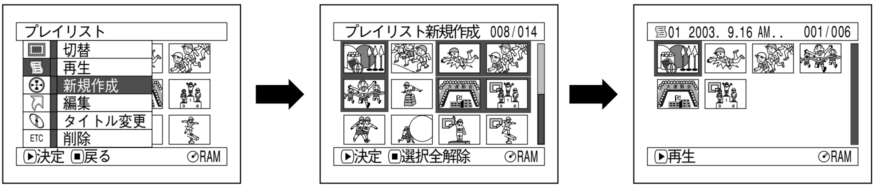
3 **「プレイリスト」→「新規作成」を選び、決定する**

4 **シーン選択画面が表示されるので、選んだシーンに変更がなければこのまま決定する**
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。
あとから別の日のシーンを追加したり、不要なシーンを削除することもできます（☞ P.119～122）。

5 **作成完了すると、ディスクナビゲーション画面が表示される**

ヒント

- プレイリストに記録されるのは、シーンの情報だけです。
プレイリストを作成したり、削除しても、元のプログラムのシーンはなくなりません。
また、プレイリストのシーンを編集しても、元のプログラムのシーンには影響しません。
- プログラムのシーンに「スキップ設定」や「フェード設定」などの設定がある場合、その情報もプレイリストに加わります。
- プレイリストのタイトルは、プレイリストを作成した日時となります。



お願い
- ディスクの残量がなくなると、プレイリストを作成できなくなることがあります。
この場合は、不要な映像を削除してください。

切替（プレイリストごとの表示に切り換える）

複数のプレイリストからお好みのものを選ぶと、ディスクナビゲーション画面が表示されます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「プレイリスト」→「切替」を選び、決定する

4 「プレイリスト切替」画面で、表示させたいプレイリストを選び決定する
選んだプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。



ヒント

- 全プログラムのディスクナビゲーション画面に戻すときは、「プレイリスト切替」画面で「全プログラム」を選んでください。

●プレイリストの内容を編集する

プレイリストにタイトルを付けたり、フェードやスキップなどの設定は、シーンやプログラムに設定する方法と同じです。
それぞれの参照ページでご覧になり、設定してください。

スキップ設定 ...P.101
フェード設定 ...P.102
シーンの結合 ...P.104
シーンの分割 ...P.105
タイトル変更 ...P.113

再生（プレイリストを再生する）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「プレイリスト」→「再生」を選び、決定する

4 「プレイリスト再生」画面で、再生したいプレイリストを選び決定する

選んだプレイリストが最初から再生されます。
再生を途中でやめたい場合は、■(停止／キャンセル）ボタンを押してください。
再生中のプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。



ヒント

- 「リピート再生」が「オン」に設定されているときは、プレイリストも繰り返し再生されます（☞ P.134「リピート再生」）。

編集（プレイリストにシーンを追加する）

プレイリストに別のシーンを追加できます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「プレイリスト」→「編集」を選び、決定する

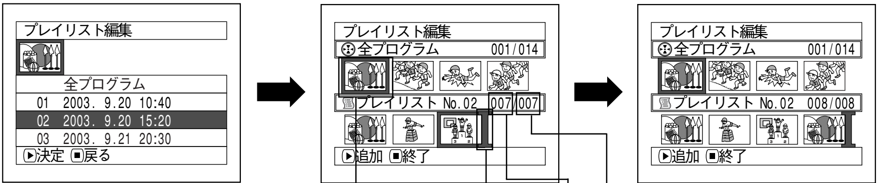
4 プレイリスト選択画面で、編集したいプレイリストを選び決定する
上段に追加できるシーンが表示され、下段に追加先のプレイリストのシーンが表示されます。

5 ジョイスティックを下へ押してカーソルを下段に移し、左右に動かして挿入位置を選ぶ

6 ジョイスティックを上へ押してカーソルを上段に移し、左右に動かして追加したいシーンにカーソルを合わせる
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.95、109）。

7 ▶/II を押して、決定する
追加が終了すると、編集後のプレイリストが表示されます。
手順 5 ～ 7 を繰り返して、他のシーンも追加できます。

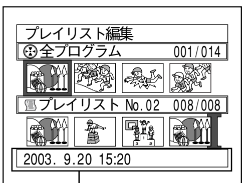
8 □（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される



＊１：プレイリストのシーン番号
＊２：プレイリスト中の全シーン数

ヒント

- 緑の I カーソルは、画面の挿入位置を示します。
- 「画面表示」ボタンを押すと、操作ガイドに選択しているシーンの撮影日時が表示されます。もう一度押すと元に戻ります。
- 設定の途中、□（停止／キャンセル）ボタンを押すと、「プレイリスト編集」終了の確認画面が表示されます。
終了してよい場合は「はい」を選んでください。
「いいえ」を選ぶと「プレイリスト編集」画面に戻ります。



- 手順 5 ～ 6 のときに「メニュー」ボタンを押すとサブメニュー画面が表示されます。このサブメニューからもシーンの追加が可能です。詳しくはP.121からの説明をご覧ください。

編集（プレイリストのシーンを削除する）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 編集したいプレイリストの編集画面を表示させる

P.119 の手順 **2** ～ **4** の操作をしてください。

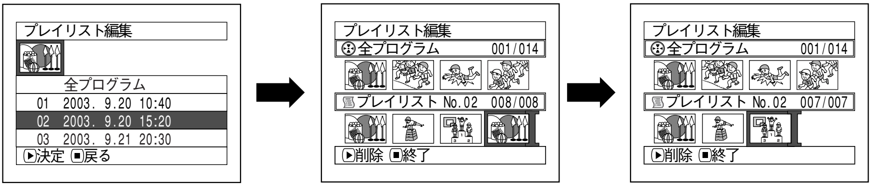
3 下段のプレイリストにカーソルを移動し、削除したいシーンにカーソルを合わせる

複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.95、109）。

4 ►/II を押して、決定する

手順 **3** ～ **4** を繰り返して、他のシーンも削除できます。

5 □（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される



ヒント

- 削除したいシーンにカーソルを合わせてリモコンの「削除」ボタンを押しても、プレイリストのシーンを削除することができます。

編集（編集のサブメニューを使ったシーンの追加）

編集画面のメニューで、プレイリストに別のシーンを追加することができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

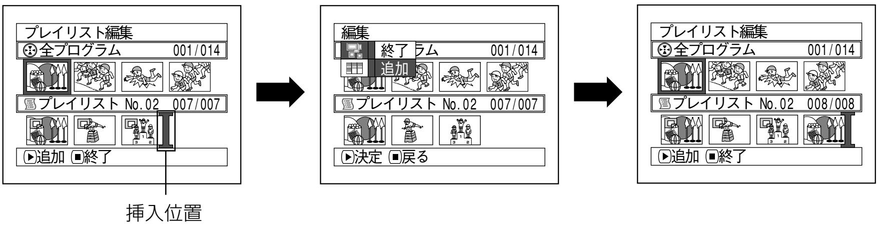
2 編集したいプレイリストの編集画面を表示させる
P.119 の手順 2 ～ 4 の操作をしてください。

3 下段のプレイリストから挿入したい位置を選ぶ

4 上段のプレイリストから追加したいシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.95、109）。

5 「編集」→「追加」を選んで、決定する
手順 3 ～ 5 を繰り返して、他のシーンも追加できます。

6 □（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される



編集（編集のサブメニューを使ったシーンの削除）

編集画面のメニューで、プレイリストのシーンを削除することができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

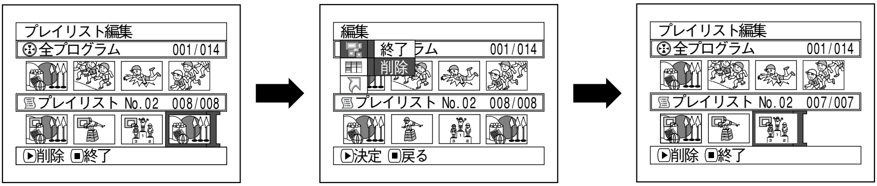
2 編集したいプレイリストの編集画面を表示させる
P.119 の手順 **2** ～ **4** の操作をしてください。

3 カーソルを下段のプレイリストに移動させる

4 削除したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.95、109）。

5 「編集」→「削除」を選び、決定する
手順 **3** ～ **5** を繰り返して、他のシーンも削除できます。

6 □（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される



ヒント

- プレイリストに登録してあるシーンをすべて削除すると、プレイリストも削除されます。

編集（編集のサブメニューを使ったシーンの選択）

連続している複数のシーンをプレイリストに追加したり、プレイリストから連続している複数のシーンを削除するときに、シーンの範囲を指定することができます。
シーンの追加や削除で、複数のシーンを選択するときに便利です。

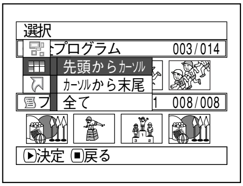
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

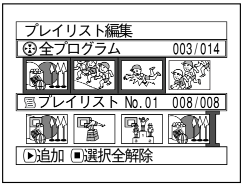
2 編集したいプレイリストの編集画面を表示させる
P.119 の手順 2 ～ 4 の操作をしてください。

3 選択したいシーンの最初のシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す

4 「選択」→「先頭からカーソル」または「カーソルから末尾」または「全て」を選び、決定する
選択されるシーンについては、P.109 を参照してください。

5 □（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される





編集（シーンの並べ替え）

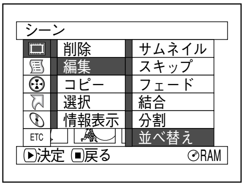
シーンの並べ替えができます。
並べ替えできるのは、表示分類が「全て」の場合のみです。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」→「プレイリスト」→「切替」で編集したいプレイリストを選び、決定する**
P.117 のプレイリスト「切替」を参照してください。

3 **移動したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.95、109）。

4 **「シーン」→「編集」→「並べ替え」を選び、決定する**

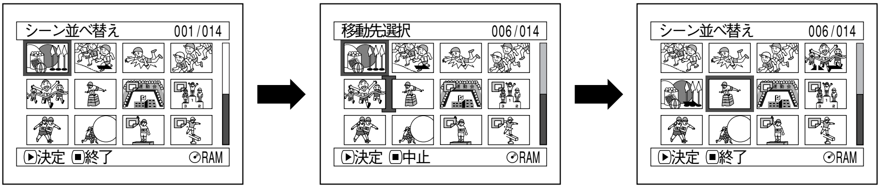


5 **「シーン並べ替え」画面が表示されるので、移動したいシーンに変更がなければ、このまま決定する**
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

6 **移動したい場所へ I マークを移動して、決定する**

7 **確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する**
並べ替えをしない場合は「いいえ」を選んでください。
並べ替え後は、「シーン並べ替え」のシーン選択画面に戻ります。
手順 5 〜 7 を繰り返して、他のシーンも並べ替えることができます。

8 **□(停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**



ヒント

- 手順 5 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.99「サブメニューを使った編集」）。
- 静止画も並べ替えできます。
- シーンの並べ替えができるのはプレイリストのみです。

タイトル変更(プレイリストのタイトルを変更する)

プレイリストのタイトルには作成順に付く通し番号と、プレイリストを作成した日時が設定されています。
このタイトルをお好みのタイトルに変更することができます。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「プレイリスト」→「タイトル変更」を選び、決定する**

4 **「プレイリストタイトル変更」画面で、タイトルを変更したいプレイリストを選び、決定する**

タイトル設定画面が表示されます。
タイトルの設定方法は、P.113 プログラムの「タイトル変更」をご覧ください。
タイトル変更後は、タイトルを変更したプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。
プレイリストの作成日時のかわりに設定したタイトルが表示されます。
設定後は、選んだプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。



ヒント

- 登録したタイトルは、同じ手順で何度でも変更できます。

削除（プレイリストを削除する）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「プレイリスト」→「削除」を選び、決定する

4 「プレイリスト削除」画面で、削除したいプレイリストを選び、決定する

5 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する

削除しない場合は「いいえ」を選んでください。
削除後は、全プログラムのディスクナビゲーション画面に戻ります。



ヒント

- プレイリストを削除しても、元のシーン（プログラムのシーン）は削除されません（☞ P.116）。
- プレイリストを削除すると、プレイリスト番号は自動的に変更されます（例えば、No. 2のプレイリストを削除すると、No. 3のプレイリストがNo. 2のプレイリストになります）。

RAM　R　カード

ジャンプ

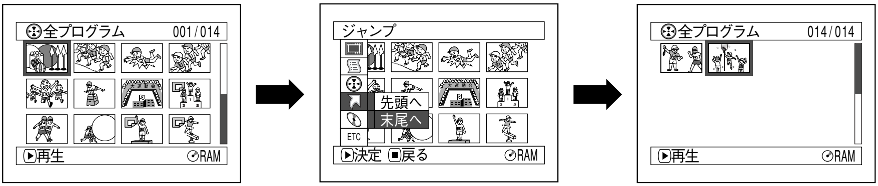
ディスクナビゲーション画面で、先頭のシーンまたは末尾のシーンにジャンプすることができます。

先頭へ（末尾へ）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「ジャンプ」→「先頭へ」または「末尾へ」を選び、決定する



（末尾を選択した場合）

ディスクまたはカード

RAM R カード

残量表示

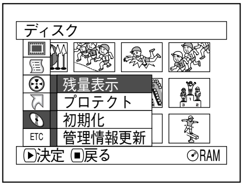
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

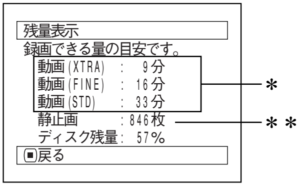
2 「メニュー」ボタンを押す

3 「ディスク」→「残量表示」を選び、決定する

「残量表示」の画面が表示されます。

（ディスクをお使いのとき）

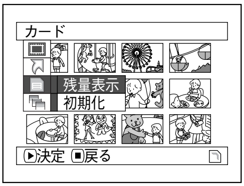


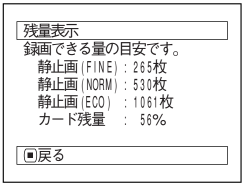


＊　DVD-Rディスクをお使いの場合は、最初に録画したモード（FINEまたはSTDまたはLPCM）のみ表示されます。

＊＊DVD-Rディスクをお使いの場合は、表示されません。

（カードをお使いのとき）





4 □（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

ディスクナビゲーション画面に戻ります。

ヒント

- ディスクプロテクトされたディスクやロックされたカードでは、残量が0と表示されます。

RAM

プロテクト（ディスクを書き込み禁止にする）

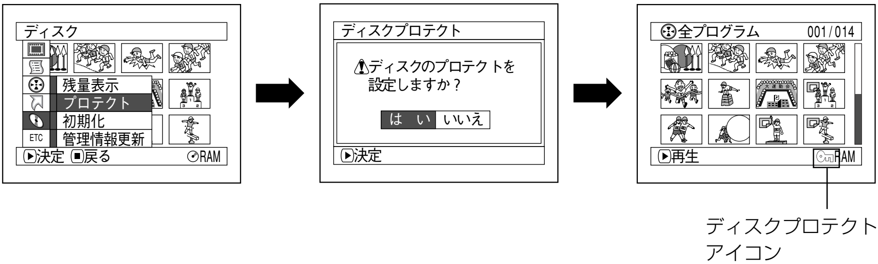
DVD-RAM ディスクに記録してある映像を誤って削除したり、初期化したりできないように、プロテクトをかけることができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「ディスク」→「プロテクト」を選び、決定する
確認画面が表示されます。

4 「はい」を選び、決定する
設定しないときは「いいえ」を選んでください。
設定後は、ディスクナビゲーション画面に戻ります。



ヒント

- ディスクプロテクトを解除するときは、同様の操作をすると、プロテクト解除の確認画面が表示されます。
  解除する場合は、「はい」を選んで解除してください。
- ディスクプロテクトを設定すると、解除するまで録画もできなくなります。

RAM　カード

初期化（DVD-RAMディスクやカードを初期化する）

DVD-RAMディスクやカードをお使いの場合は初期化する必要はありませんが、撮影済みの内容をすべて消去したい場合、シーンを削除するより初期化したほうが短時間で消去できるので便利です。また、新品のDVD-Rディスクをお使いの場合、「このディスクは初期化されていません」と表示されますので、メッセージに従って初期化してください。(☞ P.38)。

始める前に

- 初期化するときは、途中で電源が切れないように、必ずACアダプター／チャージャーを使用してください。初期化の途中で電源が切れて中断すると、正しく初期化されません。ディスクやカードに記録されているデータが破壊されるおそれもあります。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

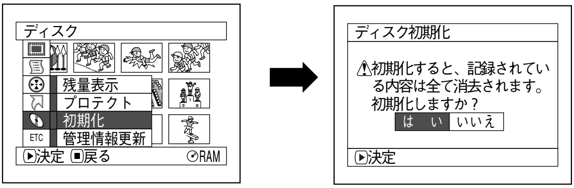
2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「ディスク」または「カード」→「初期化」を選び、決定する**

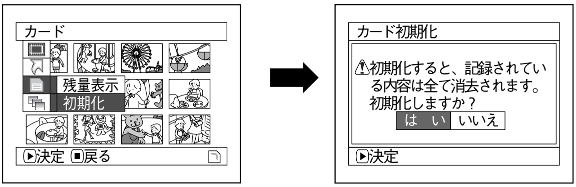
「ディスク初期化」または「カード初期化」の確認画面が表示されます。

4 **「はい」を選び、決定する**

初期化しないときは「いいえ」を選んでください。



（ディスクの場合）



（カードの場合）

お願い

- 初期化すると録画された内容はすべて消去されます。誤って初期化しないよう、よく確認してから行ってください。
- 傷や汚れの多いディスクは、初期化ができない場合があります。このようなディスクは使用できません。
- パソコンや他機で初期化したディスクやカードでは、本機で認識できない場合や記録／再生できない場合があります。
- 本機とパソコンをUSB接続ケーブルで接続し、本機に挿入したディスクやカードを初期化した場合は、正常に初期化できず、ディスクやカードが使用できなくなる場合があります。

RAM

管理情報更新（DVD-RAM ディスクの管理情報を更新する）

本機のディスクナビゲーションは、スキップやフェードなどのシーンに関する情報が独自の方法で管理されています。
本機で録画したディスクを他の機器で編集した場合、本機のディスクナビゲーションで正常に表示されない場合があります。
このようなときに管理情報更新をお使いください。

始める前に

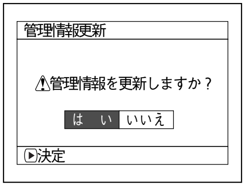
- 管理情報を更新するときは、途中で電源が切れないように、必ずACアダプター／チャージャーを使用してください。管理情報更新の途中で電源が切れて中断すると、正しく更新されません。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「ディスク」→「管理情報更新」を選び、決定する

「管理情報更新」の確認画面が表示されます。



4 「はい」を選び、決定する

更新中のメッセージが表示され、ディスクの管理情報が更新されます。
更新中のメッセージが表示されている間、黒い画面が出ることがあります。
更新しないときは「いいえ」を選んでください。
ディスクナビゲーション画面に戻ります。

ヒント

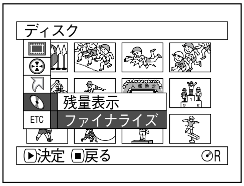
- 管理情報更新は、録画されているシーンが多い場合には、時間がかかる場合があります。
- 管理情報を更新しても、本機のディスクナビゲーションで使えないディスクもあります。

ファイナライズ（DVD-R ディスクを DVD プレーヤーで再生する）

始める前に

- ディスクをファイナライズするときは、途中で電源が切れないように、必ず AC アダプター／チャージャーを使用してください。バッテリーパックを使ってのファイナライズはできません。ファイナライズの途中で電源が切れて中断すると、正しくファイナライズされません。ディスクが壊れるおそれもあります。

本機で記録した DVD-R ディスクを DVD プレーヤーなど、8 cm DVD-R 対応機器で再生する場合、「ファイナライズ」という操作が必要です。
ファイナライズ後は DVD プレーヤーで「DVD ビデオ」として再生できます。
このとき、DVD プレーヤーのメニュー画面にはプログラムの日付がタイトルとして表示されます。
一度ファイナライズしたDVD-Rディスクには記録ができませんので、お気を付けください。

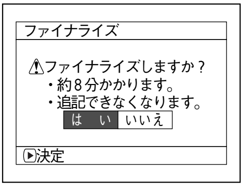


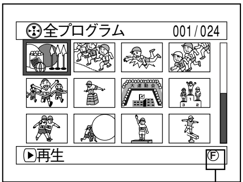
1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「ディスク」の「ファイナライズ」を選び、決定する**
ファイナライズの確認画面が表示されます。

4 **「はい」を選び、決定する**
ファイナライズ中のメッセージが表示され、ディスクがファイナライズされます。
ファイナライズされたディスクのディスクナビゲーション画面にはⒻと表示されます。
終了すると、全プログラムのディスクナビゲーション画面が表示されます。





ファイナライズ済みのディスク



（DVD プレーヤーで見たときの画面）

ヒント

- すでにファイナライズされてあるディスクが入っている場合は、「ファイナライズ」は表示されません。
- ファイナライズした DVD-R ディスクは、録画ができなくなります。
- ファイナライズにかかる時間は目安です。
- 録画時間が短いと、ファイナライズに時間がかかります。

お願い • 本機で録画したディスクは、本機以外でファイナライズしないでください。

その他設定

RAM

表示分類（静止画または動画別に表示する）

撮影したシーンは、動画・静止画に関係なく、撮影順にディスクナビゲーション画面に表示されます。
この表示を静止画だけや動画だけの表示に切り換えることができます。

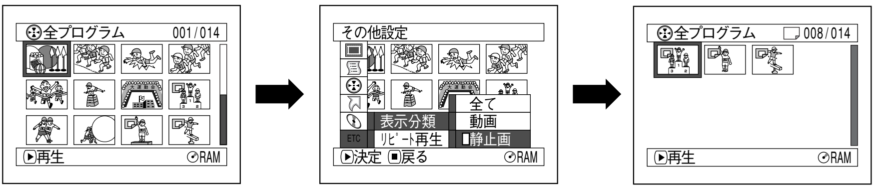
1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「その他設定」→「表示分類」を選び、決定する**

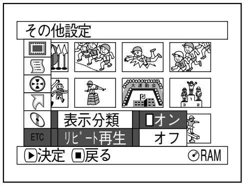
4 **設定したい項目を選び、決定する**
「全て」......... 動画・静止画に関係なく、撮影順にすべて表示されます
「動画」......... 動画のみ撮影順に表示されます
「静止画」..... 静止画のみ撮影順に表示されます

「静止画」のみ表示した場合



RAM R

リピート再生（繰り返し再生する）



1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「その他設定」→「リピート再生」を選び、決定する

4 「オン」を選び、決定する
設定しないときは、「オフ」を選んでください。
▶/II 押しで再生を始めます。

●リピート再生が設定されると

範囲を指定していないときは、最後のシーンの再生が終わると、最初のシーンからすべてのシーンの再生が繰り返されます。
範囲を指定していたときは、その範囲の再生が繰り返されます。
複数のシーンを選ぶときは、P.95、109 をご覧ください。

●リピート再生を解除するには

下記の３方法のいずれかで解除してください。

- 手順 4 で「オフ」を選ぶ
- 一度電源を切る
- 「ディスク取出し」ボタンを押して、一度ディスクを取り出す

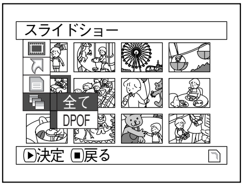
ヒント

- 再生を終了するには □(停止／キャンセル) ボタンを押します。ただし、リピート再生の設定が解除されるわけではありません。
- 静止画のリピート再生もできます。
- 記録一時停止した状態から再生した場合は、リピート再生が働きません。

カード

スライドショー(連続再生する)

カードに録画してあるシーンを再生すると、1枚再生するごとに再生一時停止状態になります。
スライドショーを設定すると、連続再生することができます。



1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「スライドショー」→「全て」または「DPOF」を選び、決定する**

「全て」......... カードに記録してあるシーンすべてをスライド再生します。

「DPOF」..... DPOF 設定してあるシーンだけをスライド再生します。

▶/II を押して再生を始めます。

再生が終わると、最後の画像で再生一時停止状態になります。

□(停止／キャンセル)ボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。

ヒント

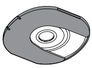
- 1シーン約5秒間表示されます。
- カーソル位置にかかわらず最初のシーンから再生を開始します。
- □(停止/キャンセル)ボタンを押したり、電源を切ったりすると、スライドショーは解除されます。

パソコンと接続する

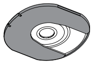
パソコンと接続してこんなことができます！

付属のUSB接続ケーブルとソフトウェアCD-ROM、または市販のソフトウェアをお使いになると、本機で撮影した動画や静止画をパソコンで利用することができます。

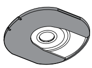
● 本機で記録したDVD-RAMディスクやカードの静止画をパソコンで利用する（☞ P.155、156）

元のディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAMディスクまたはカード  	JPEGファイルが利用可能なアプリケーション • DVD-RAMディスクまたはカードの100CDPFPフォルダを開く

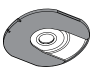
● 本機で記録したDVD-RAMディスクをパソコンで見る（☞ P.157）

元のディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAMディスク 	DVD-MovieAlbumSE* または、市販のDVD-VR対応再生ソフトウェア (例)サイバーリンク社PowerDVD XPなど

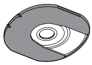
● 本機で記録したDVD-Rディスクをパソコンで見る（☞ P.157）

元のディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したファイナライズ済みのDVD-Rディスク 	市販のDVDビデオ再生ソフトウェア (例)サイバーリンク社PowerDVD XPなど

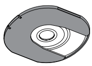
● 本機で記録したDVD-RAMディスクの内容をパソコンを使って別のDVD-RAMディスクにコピーする（☞ P.155）

元のディスク	書き込むメディア	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAMディスク 	別のDVD-RAMディスク	DVD-MovieAlbumコピーツール* • 一度パソコンのハードディスクにコピーしたあと、別のDVD-RAMディスクに書き込みます。 • プログラム単位でコピーすることもできます。

● 本機で記録したDVD-RAMディスクの映像をパソコンで編集する（☞ P.157）

元のディスク	書き込むディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAMディスク 	元のDVD-RAMディスクまたは別のDVD-RAMディスク	DVD-MovieAlbumSE* 

● 本機で記録したDVD-RAMディスクの映像をパソコンで編集してDVDビデオを作る（☞ P.161）

元のディスク	書き込むディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAMディスク 	何も記録していないDVD-Rディスク	• DVD-MovieAlbumSE* • MyDVD* 

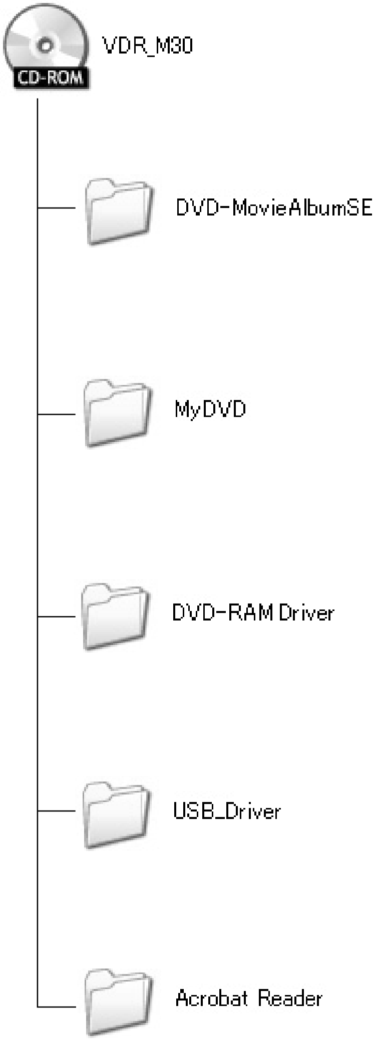
* 付属のCD-ROMに納められているソフトウェアです。

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアでは、DVD-Rディスクに記録した映像を編集することはできません。

付属 CD-ROM の内容

本機に付属されている CD-ROM の内容は、以下の通りです。



DVD-MovieAlbumSE
DVD-MovieAlbumSE のインストーラが入っています。
（インストール方法→ P.149）
DVD-MovieAlbum を使うと、DVD-RAM ディスクに録画した映像の編集や、3D タイトルの作成が行えます。

MyDVD
MyDVD のインストーラが入っています。
（インストール方法→ P.151）
MyDVDを使うと、DVD-MovieAlbumで編集した動画から、DVD-Video ディスクを作成することができます。

DVD-RAM Driver
DVD-RAMドライバーソフトのインストーラが入っています。
（インストール方法→ P.147）
DVD-RAM ディスクに録画された JPEG 静止画をパソコンで利用する場合に、インストールする必要があります。

USB_Driver
本機用の USB ドライバーが入っています。
（インストール方法→ P.141）
本機を付属の USB 接続ケーブルでパソコンに接続する場合に、インストールする必要があります。

Acrobat Reader
Acrobat Readerのインストーラが入っています。
お使いのパソコンにAcrobat Readerがインストールされていない場合は、DVD-MovieAlbumSE、DVD-RAM ドライバーソフトのオンラインマニュアル（取扱説明書ファイル）を開くためにインストールする必要があります。

上記以外に、フォルダやファイルが入ってる場合がありますが、特に説明がない限り、本機では使用しません。

各ソフトウェアの詳細な取扱説明書（マニュアル）は、パソコンで閲覧できる電子取扱説明書（オンラインマニュアル）でのご提供になります。

● DVD-MovieAlbumSE

下記のいずれかの方法で、取扱説明書を閲覧できます。

- 付属CD-ROMの中の、DVD-MovieAlbumSE¥manual¥Japaneseフォルダの中にあるPDFファイルを開く。
- DVD-MovieAlbumSEをインストールしたあと、Windows®の「スタート」メニューから「プログラム」または「すべてのプログラム」-「Panasonic」-「DVD-MovieAlbumSE」の中の「オンラインマニュアル」を開く。

上記のマニュアルの閲覧には、Adobe Acrobat Readerが必要になります。
お使いのパソコンにAdobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、付属CD-ROMの中のAcrobat Reader¥Japanese¥AR505JPN.exeを起動してAdobe Acrobat Readerをインストールしてください。

● MyDVD

- MyDVDをインストールしたあと、Windows®の「スタート」メニューから「プログラム」または「すべてのプログラム」-「Sonic」-「MyDVD」-「ドキュメント」の中の「チュートリアル」を開く。

上記のマニュアルの閲覧には、パソコンにWebブラウザ（Internet Explorer やNetscape Communicatorなど）がセットアップされていることが必要です。
MyDVDの電子取扱説明書が開けない場合は、お使いのパソコンの製造元にWebブラウザのセットアップ方法をお問い合わせください。

● DVD-RAM ドライバーソフト

- DVD-RAMドライバーソフトをインストールしたあと、Windows®の「スタート」メニューから「プログラム」または「すべてのプログラム」-「Panasonic DVD-RAM」-「DVD-RAMドライバー」-「DVD-RAMディスクの使い方」を開く。

※ USBドライバーには電子取扱説明書はありません。

ソフトウェアCD-ROMを開封する前に、P.15の「使用許諾契約書」をお読みください。

使用できるパソコンの条件

- OS：Windows® 98 Second Edition／Me／2000 Professional／XP
- パソコン：IBM PC/AT互換（DOS/V）機
- CPU：Intel® Pentium® Ⅲ 450 MHz以上、Celeron® 633 MHz以上（Pentium® 4 1.2 GHz以上推奨）
  Intel®製／AMD®製以外のPentium®互換CPUでは動作しない場合があります。なお、AMD®製のK6-2®／K6-Ⅲ®では動作しない場合があります。
- メモリ： 128 MB以上（256 MB以上推奨）
- ハードディスクの空き容量：400 MB以上（動画、静止画データをコピー、編集するのに必要な容量を除く）
- CD-ROMドライブ（ソフトウェアのインストールに使用します）
- 1024×768ピクセル以上、および65,536色（16ビットカラー）以上表示可能なDirectX® 8.1以上に対応したディスプレイアダプタ（ビデオメモリ4 MB以上）およびディスプレイ
- DirectSound®対応のサウンドカード
- USB：本製品のために1ポートの空きが必要

お願い

- 以下の場合は動作保証しません。
  - Windows® 98 Second Edition／Me／2000 Professional／XP以外のOSをインストールした場合
  - Intel®製、AMD®製以外のPentium®互換CPUでの動作
  - USBハブを経由して接続した場合
  - 付属のUSB接続ケーブルとミニUSB　Bコネクタ5ピンタイプのUSB接続ケーブル（市販）以外で接続した場合
  - パソコン本体に本機、キーボード、マウス以外のUSB機器を接続している場合
- マルチプロセッサには対応していません。
- 使用できるパソコンの条件を満たしていても、お使いの他のソフトウェアや機器との組合わせにより、動作に不具合を生じたり、使用制限が生じたりすることがあります。

USB ドライバーをインストールする

パソコンに本機を認識させるため、USB ドライバーをインストールする必要があります。USB接続ケーブルを使って、本機とパソコンをはじめて接続する前に、付属のCD-ROM をパソコンにセットしてください。

●インストールする

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する
このとき起動している他のアプリケーションはすべて終了してください。
コンピュータウィルスを検知するソフトウェアなどが常駐している場合には、無効にしてください。

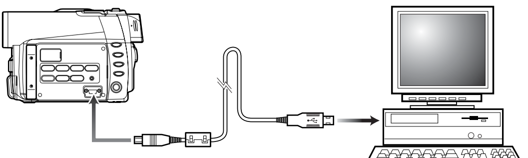
2 CD-ROM 内にある「USBready.exe」をダブルクリックする
「USB ドライバーをインストールする準備ができました。VDR-M30 とパソコンを USB で接続してください。」というメッセージが表示されます。

3 本機の電源を入れる

4 本機とパソコンを USB 接続ケーブルで接続する
接続のしかたは、「USB接続ケーブルでパソコンと接続する」を参照してください。

● USB 接続ケーブルでパソコンと接続する

USB 接続ケーブルを使って、本機とパソコンを下図のように接続します。



お願い
- USB接続ケーブルから本機へは電源が供給されません。電源はACアダプター／チャージャーをお使いください。
- パソコンと接続するときは、AV ／ S 入出力ケーブルや外部マイクは外してください。
- 本機とパソコンを接続すると、アクセス／ PC 接続ランプが緑色に点灯します。また、DVD-RAMディスクまたはDVD-Rディスクにアクセスしている間は、オレンジ色に点灯または点滅します。SDメモリーカードやマルチメディアカードにアクセスしている間はカードアクセスランプが赤色に点灯または点滅します。
- P.153 の「接続時のお願い」をお読みください。

以下、各 OS 別に USB ドライバーのインストール方法を説明します。

- Windows® XP → P.143
- Windows® 2000 Professional → P.144
- Windows® Me → P.145
- Windows® 98 Second Edition → P.146

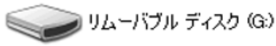
本機をパソコンに接続すると、ドライブとして認識されます。Windows上でのドライブの表示は、以下のようになります。

[Windows® XPの場合]

本機の電源スイッチを「動画」または「静止画」に合わせてパソコンと接続した場合、光ディスクドライブとして認識され、本機にセットされているDVD-RAMディスクまたはDVD-Rディスクにアクセスできます（アイコンの形状や、G:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります）。

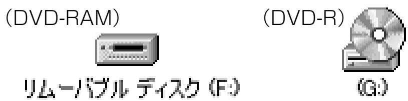


本機の電源スイッチを「カード 静止画」に合わせてパソコンと接続した場合、リムーバブルディスクとして認識され、本機にセットされているSDメモリーカードまたはマルチメディアカードにアクセスできます（G:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります）。



[Windows® 98 Second Edition / Me / 2000 Professionalの場合]

本機の電源スイッチを「動画」または「静止画」に合わせてパソコンと接続した場合、２つのドライブとして認識されます。本機にDVD-RAMディスクがセットされている場合は、リムーバブルディスク側のアイコンからアクセスできます。本機にDVD-Rディスクがセットされている場合は、光ディスクドライブ側のアイコンからアクセスできます（アイコンの形状や、F:、G:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります。また２つのドライブの順番は図と逆になる場合があります）。



本機の電源スイッチを「カード 静止画」に合わせてパソコンと接続した場合、リムーバブルディスクとして認識され、本機にセットされているSDメモリーカードまたはマルチメディアカードにアクセスできます（アイコンの形状や、F:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります）。



ヒント

- パソコンに接続中でも電源スイッチを切り換えることはできます。その際は一度、USB接続の終了（P.159）を行ってください。

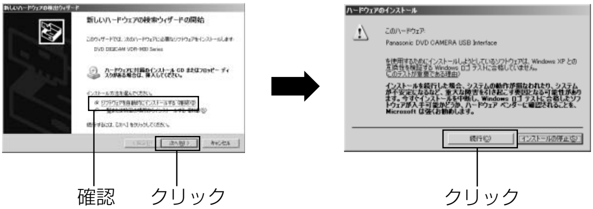
お願い

- DVD-RAMディスクに記録されている動画ファイルは、エクスプローラから操作しないでください。DVD-MovieAlbumSEまたはDVD-MovieAlbumコピーツールをお使いください。また、DVD-RAMディスクに記録された静止画は、パソコンで削除しないでください。
- ディスクとカードを同時にアクセスすることはできません。
- Windows® 2000 Professionalのパソコンと接続中に本機の電源スイッチを切り換える場合は、P.159の手順に従ってください。

[Windows® XP の場合]

5 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が起動するので、「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

6 Windows®のロゴテストに関するメッセージが表示されるので、「続行」をクリックする

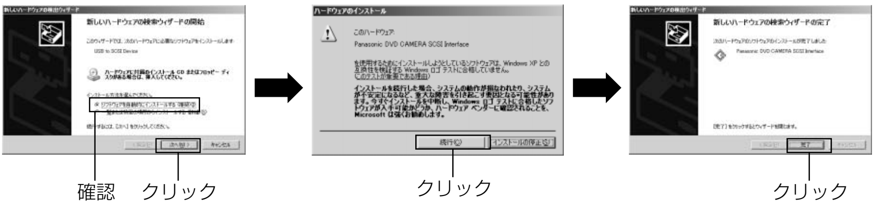


7 ドライバーのインストールが完了したという画面が表示されるので、「完了」をクリックする



8 再度、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が起動するので、「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

9 手順 **5** ～ **7** を繰り返す



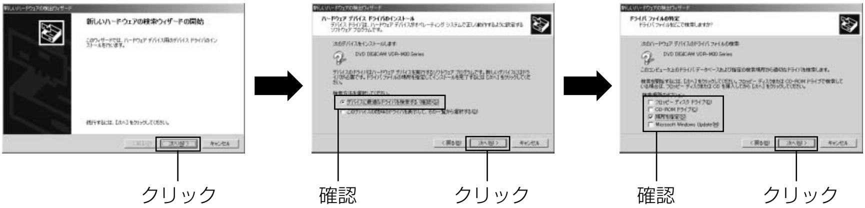
10 本機とパソコンの接続を取り外し、パソコンを再起動する

[Windows® 2000 Professionalの場合]

5 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が起動するので、「次へ」をクリックする

6 「デバイスに最適なドライバーを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

7 「場所を指定」のチェックボックスだけをチェックして、「次へ」をクリックする
「場所の指定」以外のチェックボックスは、チェックしないでください。



8 「参照」をクリックして「F:¥USB_Driver」を指定して、「OK」をクリックする
F:の部分はお使いのパソコンにより異なります。CD-ROMを入れたドライブを選んでください。

9 「次へ」をクリックする

10 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されるので、「完了」をクリックする

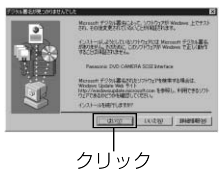


11 再度、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が起動するので、「次へ」をクリックする

12 手順 **5** ～ **9** を繰り返す

13 デジタル署名に関するメッセージが表示されるので、「はい」をクリックする

14 「完了」をクリックする

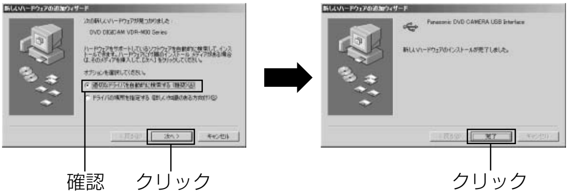


15 USB接続の終了（☞ P.159）を行ってUSB接続を取り外し、パソコンを再起動する

[Windows® Me の場合]

5 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動するので、「適切なドライバーを自動的に検索する（推奨）」を選択して、「次へ」をクリックする

6 「完了」をクリックする



7 本機とパソコンの接続を取り外し、パソコンを再起動する

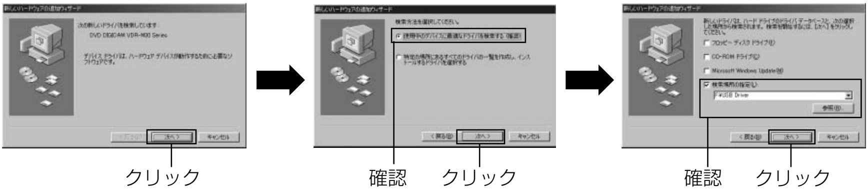
[Windows® 98 Second Editionの場合]

5 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動するので、「次へ」をクリックする

6 「使用中のデバイスに最適なドライバーを検索する（推奨)」を選択して、「次へ」をクリックする

7 「検索場所の指定」のチェックボックスだけをチェックして、「F:¥USB_Driver」を選び「次へ」をクリックする

「検索場所の指定」以外のチェックボックスは、チェックしないでください。
F:の部分はお使いのパソコンにより異なります。
CD-ROMを入れたドライブを選んでください。



8 「次へ」をクリックする

9 「完了」をクリックする



10 本機とパソコンの接続を取り外し、パソコンを再起動する

ヒント (Windows® 98 Second Edition / Me / 2000 Professional / XP共通)

- USBドライバーがうまく自動的にインストールされない場合は、下記の方法でインストールできることがあります。

  方法１：本機およびパソコンの電源を一度切ってから、再度試してください。
  方法２：本機からDVD-RAMディスクやDVD-Rディスク、SDメモリーカードを取り出してから、再度試してください。
  方法３：本機の電源スイッチを「カード 静止画」に合わせて、再度パソコンに接続してください。
  方法４：お使いのパソコンの他のUSB端子に接続してください。

ソフトウェアのインストール

付属の CD-ROM に入っているアプリケーションをインストールしましょう。

本機に付属されているDVD-RAM ドライバーソフトをインストールする前に、ご使用のパソコンにDVD-RAMドライバーソフトがインストールされていないか確認してください。
すでにインストールされている場合は、インストールされているDVD-RAM ドライバーソフトをアンインストールしたあとで、付属の CD-ROM に入っている DVD-RAM ドライバーソフトをインストールしてください。DVD-RAM ドライバーソフトのアンインストールは「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」、または「アプリケーションの追加と削除」から行ってください。
アンインストールの途中で、「このファイルは他のアプリケーションで使っていませんが、一緒に削除しますか？」と表示されるので、すべて「いいえ」をクリックしてください。

DVD-RAM ドライバーソフトのインストール

本機に入っているディスクをパソコンで利用するのに必要です。
ここでの説明は Windows® XP の画面で説明していますが、Windows® 98 Second Edition / Me / 2000 Professional でも同様の手順でインストールしてください。

1 **CD-ROM 内の「DVD-RAM Driver」フォルダを開き、「setup」または「setup.exe」を起動する**

2 **ドライバーセットアップ画面が表示されるので、「ドライバー・フォーマッターのセットアップ」ボタンをクリックする**

3 **「次へ」をクリックする**

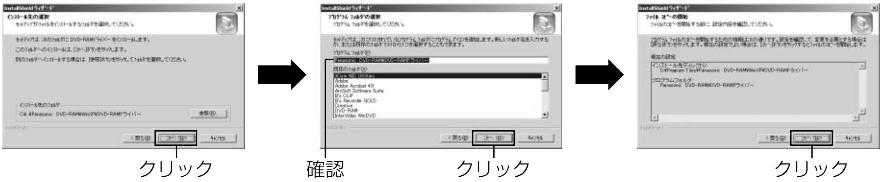
4 **使用契約許諾の内容をご確認のうえ、「はい」ボタンをクリックする**
画面に表示される契約の内容は図と異なる場合があります。



5 インストール先のフォルダを確認し、「次へ」をクリックする

6 インストールされるプログラムフォルダを確認し、「次へ」をクリックする

7 「次へ」をクリックする

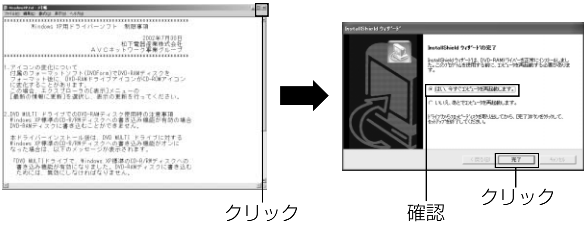


8 インストールが開始され、完了すると制限事項が表示されるので、内容をご確認の上、ウインドウ右上の「×」をクリックする

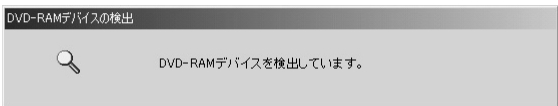
画面に表示される内容は下図と異なる場合があります。

9 Windows® XP / 98 Second Edition / Me をお使いの場合は、再起動を促すメッセージが表示されるので、「完了」をクリックしてパソコンを再起動する

以上で DVD-RAM ドライバーソフトのインストールが完了です。
Windows® 2000 Professional をお使いの場合は **10** へ進んでください。



10 Windows® 2000 Professionalをお使いの場合は、デバイスの検出を開始する旨のメッセージが表示されるので、「完了」ボタンをクリックしてデバイスの検出を開始する



デバイスの検出は数分かかる場合があります。デバイスの検出が完了すると、再起動を促すメッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてパソコンを再起動してください。

以上で DVD-RAM ドライバーソフトのインストールが完了です。

DVD-MovieAlbumSE のインストール

「DVD-MovieAlbumSE」とは、DVD-RAMに録画されたDVDビデオレコーディング規格の動画や静止画を編集するソフトです。
Windows® XP/2000 Professional をお使いの場合、ユーザー名を「Administrator（コンピュータの管理者）」（もしくは同等の権限を持つユーザー名）にしてログオンしないと、DVD-MovieAlbumSE は使用できません。

1 **付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する**

2 **Windows® のマイコンピュータまたはエクスプローラで CD-ROM が入っているドライブを開く**

3 **「DVD-MovieAlbumSE」フォルダを開いて「Setup」または「Setup.exe」をダブルクリックする**

4 **「DVD-MovieAlbum」のインストール画面が表示されるので、「次へ」をクリックする**

5 **ソフトウェア使用許諾契約をよくお読みいただき、同意いただく場合は「はい」をクリックする**

6 **インストール先のフォルダに変更がなければ「次へ」をクリックする**



7 **プログラムフォルダ名に変更がなければ「次へ」をクリックする**

8 **内容を確認して「次へ」をクリックする**
インストールが始まります。
画面の指示に従って、インストールを進めてください。

9 **ショートカットアイコンをデスクトップ画面上に作成するか確認メッセージが表示されるので、作成する場合は「はい」をクリックする**

作成しない場合は「いいえ」を選んでください。







10 **再起動オプションを選択し、「完了」をクリックする**



お願い

- コンピュータウィルスを検知するソフトウェアなどが常駐している場合は、そのソフトウェアを無効にしてください。
- Windows® XP/2000 Professionalをお使いの場合、ユーザー名を「Administrator（コンピュータの管理者）」（もしくは同等の権限を持つユーザー名）にしてログオンしてからインストールしてください（権限がない場合はシステム管理者にご相談ください）。

MyDVD のインストール

DVD-MovieAlbumで編集した映像をDVD-Rディスクに書き込むためのソフトです。付属のCD-ROMに納められているMyDVDには、スライドショーの機能が付いておりませんので、静止画は使えません。

1 **付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する**

2 **Windows® のマイコンピュータまたはエクスプローラで CD-ROM が入っているドライブを開く**

3 **MyDVD フォルダを開いて、「Setup」または「Setup.exe」をダブルクリックする**

4 **MyDVD のインストール画面が表示されるので「次へ」をクリックする**

5 **ソフトウェア使用許諾契約をよくお読みいただき、同意いただく場合は「はい」をクリックする**



クリック

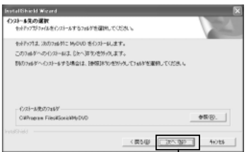


クリック

6 **インストール先のフォルダに変更がなければ、「次へ」をクリックする**

7 **内容を確認して、「次へ」をクリックする**
インストールが始まります。

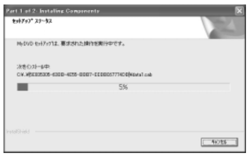
（この画面は省略されることがあります）



クリック



クリック



8 「完了」をクリックして、パソコンを再起動する



MyDVDの開発元であるソニック・ソルーションズ社では、お客様に適切なサポートを提供するために、MyDVD のユーザ登録をお勧めしております。
ユーザ登録はMyDVDの初回起動時に画面上にご案内が表示されるほか、以下のURLからいつでも行っていただけます。

http://www.sonicjapan.co.jp/register/register.html
（ユーザ登録には、インターネットへの接続環境が必要です）

接続時のお願い

パソコンと本機を接続する場合、電源はACアダプター／チャージャーをご利用ください

バッテリーでもご使用できますが、転送中に本機の電源が切れると、お客様の貴重な録画内容が失われるおそれがあります。

パソコンから本機のディスクにアクセス中はケーブル類の抜き差しはしないでください

- アクセス／PC接続ランプが点滅しているときにUSB接続ケーブル（付属）や電源コードを抜き差しすると、お客様の貴重な録画内容が失われる原因となることがあります。
- パソコンと本機を接続するときは、USB接続ケーブル以外のケーブルは外しておくことをおすすめします。
- 本機のアクセス／PC接続ランプが点灯または点滅、カードアクセスランプが点灯または点滅しているときはUSB接続ケーブルを抜かないでください。

パソコンと本機を接続しての動作は、約30℃以下の環境で約30分を目安に行ってください

- DVD-MovieAlbumSEに付属のVRコピーツールを利用しての書き込みは、連続使用で30分以下を目安に行ってください。
- 本機が高温になると、本機側での読み取りや書き込みに支障が出る場合があります。特にDVD-Rディスクに書き込み中にエラーが発生しますと、そのディスクは使用できなくなります。
  本機が高温にならないよう、お気を付けください。

本機で設定したフェード設定およびスキップ設定は、DVD-MovieAlbumSEには反映されません
また、DVD-MovieAlbumコピーツールでもコピーされません

本機でDVD-RAMに記録されたJPEG静止画は、DVD-MovieAlbumコピーツールではコピーされません

DVD-MovieAlbumSEでプロテクト設定したDVD-RAMディスクは、本機ではプロテクト解除できません
プロテクトの解除にはDVD-MovieAlbumSEをご使用ください

USBハブを経由した接続や、パソコンのフロントパネルやキーボードにあるUSB端子に本機を接続した場合、パソコンから本機が認識されないなどの現象が発生することがあります
その際は、パソコンのリアパネルのUSB端子に接続してご使用ください

本機の電源が「切」のときはパソコンへの接続モードは動作しません

次のようなときはパソコンへの接続モードを使用するときに一度USB接続ケーブルを抜いて差し直す必要があります

・ 接続したまま、パソコンをサスペンド状態にしたとき

パソコンと接続中は本機で次の操作はできません

・ 本機の操作ボタンによるカメラの操作
・ 本機のディスク取り出しボタンでのディスクの取り出し
  パソコンの操作で取り出しをしてください。
・ 電源スイッチによる電源「切」

本機に入っているディスクはパソコンの操作で取り出すことができます

・ 本機の電源を切ったり接続を外したりしなくても、ディスクを入れ換えることができます。
  Windows® のエクスプローラで、本機のドライブアイコンを選ぶ
  → マウスの右ボタンをクリックする
  → [取り出し]を選ぶ
    ディスクやカードが取り出せるようになります。
    別のディスクを入れて閉じると、ディスクの認識をします。
・ 本機の電源スイッチを「カード 静止画」に合わせてパソコンと接続しているときは、DVD-RAM ディスクまたは DVD-R ディスクの取り出しはできません。

USBで接続してご使用になる場合、お使いのパソコン環境とUSB転送速度により、記録映像の再生時にコマ落ちしたり、音途切れが発生することがあります。

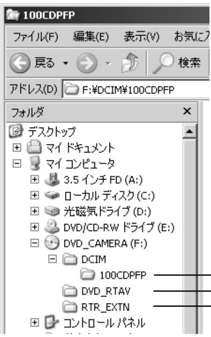
動画ファイルについて

動画ファイルはディスクの傷や汚れ、記録再生環境などにより、エラーが生じる場合があります。このエラーにより、動画ファイルをコピーしたときに、ブロックノイズや画面の一時停止、音声途切れ、音声ノイズ、音声ずれが発生することがあります。動画ファイルをパソコンから操作する場合は、DVD-MovieAlbumSE または DVD-MovieAlbum コピーツールをお使いください。

パソコンで表示されるフォルダについて

USBドライバーをインストールしたパソコンに本機を接続すると、本機はパソコンの外付けドライブとして認識されます。
お使いになっているディスクやカードにより、下記のようなフォルダが表示されます。
静止画（JPEG）を活用するアプリケーションソフトをご使用のときは、フォルダ内のファイルを使用してください。
本機でDVD-RAMディスクに記録したDVDビデオレコーディング規格のデータを、パソコンのハードディスクを使って別のDVD-RAMディスクにコピーするときは、DVD-MovieAlbumSEに付属のDVD-MovieAlbumコピーツールをお使いください（エクスプローラを使ってコピーすると正しくコピーされないことがあります）。DVD-MovieAlbumコピーツールの使い方は、DVD-MovieAlbumSEのオンラインマニュアル（☞ P.139）を参照してください。
本機でDVD-RAMディスクに記録したJPEGの静止画は、エクスプローラを使ってパソコンのハードディスクにコピーすることができます。

● DVD-RAMディスクをお使いの場合



「DCIM」→「100CDPFP」フォルダ：JPEG形式の静止画（IMGA0001.JPGなど）が記録されています。JPEG画像対応の画像ソフトで開くことができます。
「DVD_RTAV」フォルダ：DVD-ビデオレコーディング形式の動画が記録されています。
「RTR_EXTN」フォルダ：本機が独自に使用する管理ファイルが記録されています。

お願い
- パソコンで、絶対に削除や移動、フォルダ名等の変更をしないでください。

● DVD-Rディスクをお使いの場合

パソコンに転送する場合は、ファイナライズしたディスクをお使いください。ファイナライズしていないディスクは、認識できません。



「DVDCAM」フォルダ：本機が独自に使用する管理ファイルが記録されています。
「VIDEO_TS」フォルダ：DVD-ビデオフォーマット形式の動画が記録されています。

パソコンと接続する

● SD メモリーカード、マルチメディアカードをお使いの場合



「DCIM」→「100*CDPFP」フォルダ：JPEG 形式の静止画（IMGA0001.JPG など）が記録されています。JPEG 画像対応の画像ソフトで開くことができます。

「MISC」フォルダ：静止画に設定しているDPOFデータのファイルが記録されています。

＊ 他のDCF対応機器で記録されている場合は、数字が変更になることがあります。

お願い

- 元のディスクやカードは、バックアップとして大事に保管しておいてください。
- 8 cmDVD-RAM ディスクの出荷時のボリューム名は、ディスクメーカー固有の表示となっています。本機で初期化した場合のボリューム名はパソコン上で "Dvd_camera" と表示されます（P.155 と上記のエクスプローラの画面に表示されているボリューム名は一例です。変更になることがあります）。

記録した静止画を活用する

[DCIM]－[100CDPFP]フォルダ内に記録されているJPEGファイルをご使用ください。
画像サイズは 640 × 480 画素です。
JPEG 画像に対応したアプリケーションでお楽しみください。

パソコンで動画を見る

● DVD-RAM ディスクをお使いの場合

動画は DVD ビデオレコーディング規格に準じて記録されています。
再生する場合は、付属の CD-ROM に納められている「DVD-MovieAlbumSE」か、市販のDVDビデオレコーディング規格に対応したアプリケーションソフトをお使いください。

● DVD-R ディスクをお使いの場合

動画は DVD ビデオ規格に準じて記録されています。
再生する場合は、DVD ビデオ規格に対応したアプリケーションソフトをお使いください。

パソコンで編集する

付属の CD-ROM に納められている「DVD-MovieAlbumSE」を使うと、パソコンで動画の編集ができます。また「MyDVD」を使うと、編集した画像を DVD ビデオにすることができます。それぞれのインストール方法は P.149 と P.151 をご覧ください。

ディスクを直接パソコンで使用する

使用するディスクに合ったパソコンをお持ちの場合は、ディスクを丸型ホルダーから取り出して、直接パソコンで使用することができます。
丸型ホルダーからの取り出しかたは、P.72の「丸型ホルダーからのディスクの出し入れ」をご覧ください。

● DVD-RAMディスクを使う

下記の条件を満たすパソコンで使用できます。

・ 4.7 GBのDVD-RAMディスク対応
・ 8 cm ディスク対応のDVD-RAM（RAM/R）

● DVD-Rディスクを使う

下記のいずれかのドライブが付いているパソコンで使用できます。

・ 8 cmディスク対応のDVD-ROMドライブ（読み込み専用）
・ 8 cmディスク対応のDVD-RAM（RAM/R）ドライブ
・ 8 cmディスク対応のDVD-R/RWドライブ

ヒント

- パソコンで編集した映像を、ディスクやカードに書き込むことができます。

お願い

- パソコンで編集した映像を新しいDVD-Rディスクに書き込む場合は、ディスクを本機で初期化しないでください。
- 縦置きやスロットインタイプのパソコン用ドライブの中には8 cmディスクが使用できないものがあります。
- 8 cm CDを12 cmの直径に変換するアダプタ（8 cm CD用）は8 cm DVD-RAMディスクや8 cm DVD-Rディスクには使用できません。
- 本機で撮影したDVD-Rディスクをパソコンで利用する場合は、ディスクを本機でファイナライズしてください（☞ P.132）。
- ご使用のDVD-ROMドライブによっては、本機のDVD-Rディスクが読み込めない場合があります。

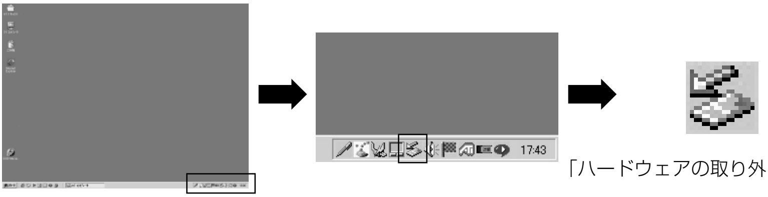
USB 接続の終了（USB 接続ケーブルの取り外し）・電源スイッチを切り換える前に

Windows® XP / Me / 98 Second Edition をお使いの場合は「ドライブの停止」操作を行う必要はありません。本機のアクセスランプが緑色に点灯していることを確認して、USB 接続ケーブルを抜いてください。

1 **Windows® 2000 Professionalでは、USB接続ケーブルをパソコンから抜く、またはUSB接続ケーブルを抜かずに電源スイッチのディスクモードとカードモードを切り換える場合は、まず「ドライブの停止」操作を行う**

2 **アプリケーションを終了し、本機のアクセスランプが緑色に点灯をしていることを確認し、USB 接続ケーブルを抜く**

3 **ドライブの停止を行うには、まずアプリケーションを終了し、Windows 画面の右下のタスクトレイから、「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックする**



「ハードウェアの取り外し」アイコン

4 **「Panasonic DVD CAMERA USB Interface」を選択する**

ドライブ名（E:、F:など）はお使いのパソコンにより異なります。



5 **「ハードウェアの取り外し」が可能である旨のメッセージが表示される**

USB接続ケーブルの取り外しや電源スイッチを切り換えたりすることができます。

DVD-MovieAlbumSE、MyDVDの使いかた

ここでは、基本的な操作の説明をします。
詳細につきましては、オンラインマニュアル＊をご覧ください。

＊ オンラインマニュアル .... ソフトウェアをインストールしたときに一緒にインストールされます。
[スタート]→[プログラム]または[すべてのプログラム]→[Panasonic]→[DVD-MovieAlbumSE]→[オンラインマニュアル]をご覧ください。
オンラインマニュアルを開くには、Adobe® Acrobat Reader が必要です。
Acrobat Readerのインストーラは、付属のCD-ROM「Acrobat Reader」フォルダに入っています。

Windows® XP / 2000 Professional をお使いの場合、ユーザー名を「Administrator（コンピュータの管理者）」（もしくは同等の権限を持つユーザー名）にしてログオンしないと、DVD-MovieAlbumSE は使用できません。

1 **編集したい DVD-RAM ディスクが入った本機をパソコンに USB 接続する**

2 **DVD-MovieAlbumSE を起動する**

DVD-RAM ディスクに記録されている内容が表示されます。
この画面で、シーンのカットや並べ替え、プレイリストの作成ができます。





DVD-MovieAlbumSE 起動時に「ドライブ X ：のディスクは DVD-MovieAlbumSEでは使用できません。」と表示されたり、DVD-RAM に録画されている内容が表示されない場合は、「環境設定」→「デバイス設定」→「ドライブ選択」で編集する DVD-RAM ディスクの入ったドライブを選択し、「OK」をクリックしてください（ドライブ名（X：）の部分はお使いのパソコンにより異なります）。

3 **プログラムの先頭でマウスを右クリックし、[3Dタイトル入力]を選択する**

プログラムの先頭に 3D タイトルを付けることができます。

● 3Dタイトル作成画面（3D-Title STUDIO）が起動します。



●カメラで撮影したDVD-RAMディスクからパソコンでDVDビデオを作成するには

DVD ビデオカメラで撮影した映像を DVD-MovieAlbumSE と MyDVD を使って、DVD ビデオ(DVD-R ディスク)を作成することができます。

4 **DVD-MovieAlbumSE の画面から DVD ビデオにしたいプログラムのサムネイルを選択し、マウスを右クリックして「切り出し」を実行する**

5 **右図のようなプログラムの切り出し画面が表示されるので、「切り出しモード」の設定で「同じ解像度で切り出し」「DVD-Videoで使用」を選択する**

「解像度」は「704 × 480(推奨)」を選択してください。



「プログラムの切り出し」画面

ヒント

- 「オプション」の「マーカー間で分割」を選択すると、DVDビデオカメラで撮影されたプログラムの各シーンがそれぞれ独立した動画ファイルとして保存され、切り出しは高速に行われます。
  「マーカー間で分割」を選択しないと、動画ファイルは 1 本に結合され、再エンコードされることがあるため、切り出しに時間がかかったり、画質がわずかに劣化することがあります。
  また、XTRA モードで記録された動画で、動きの激しいシーン(8 Mbps 以上)については、「マーカー間で分割」の設定に関わらず、自動的に再エンコードすることがあります。
- 「簡易（高速）切り出し」を選択すると、読み込みが途中で止まることがありますので選択しないでください。

6 **「開始」ボタンをクリックする**

切り出しを開始します。

7 **切り出しが終了したら、「書き出しが正常に終了しました。書き出したデータを使って「DVD-Video」や「MPEG ファイル」のディスクを作成しますか？」と表示されるので、「使用中のディスクを取り出す」チェックボックスをチェックして、「はい」をクリックする**

8 **ディスクがイジェクトされるので、未記録のDVD-Rディスクを本機にセットするまた、DVD-MovieAlbumが自動的に終了し、「ディスクへの書き出し」画面が表示されるので、「開始」ボタンをクリックする**

9 MyDVD が自動的に起動し、少し待つと MyDVDの編集画面に書き出したシーンが自動的に登録される

ここでDVDメニューをお好みのスタイルに変更したり、タイトルを変更したりできます。

10 「書き込み」ボタンをクリックする

DVD-Rディスクへの書き込みが始まります。書き込みが終了すると、DVD ビデオディスクが完成します。
そのあと、DVD ビデオカメラのディスクカバーが自動で開きます。



MyDVD の編集画面

> お願い
> - DVD ビデオカメラでは、MyDVD で作成したメニュー画面は表示されません。また、書き込む内容によっては、DVDビデオカメラでは正常に再生できない場合があります。そのような場合には、一般的なDVD プレーヤーをお使いください。

MyDVDから8 cm DVD-Rディスクに記録できる時間は以下の表のようになります。8 cm DVD-RAMディスクより記録時間が短くなるのは、MyDVDが常にLPCM方式で音声を記録するためです。

本機での録画画質モード	8cm DVD-R ディスクへの記録可能時間(MyDVD を使用)
STD	約 40 分
FINE	約 25 分
XTRA	約 18 分以上

ヒント

- 任意の位置に 3D タイトルを付けるには、その位置でプログラムを分割します。
- 付けた 3D タイトルは、本機では 1 シーンとして扱われます。それに続くシーンと結合する場合には、DVD-MovieAlbumSE を使って 3D タイトルに続くシーンのマーカーを削除するか、本機のディスクナビゲーション機能を使って3Dタイトルとそれに続くシーンを選択して結合してください（☞ P.104）。
- 3D タイトルを付けるには、DVD-RAM ディスクに数十秒分の空きが必要です。
- MyDVD ではパソコン上のMPEG ファイルからDVD ビデオを作成できますが、本機では再生できない場合があります。

ソフトウェアのアンインストール

パソコンにインストールした付属のソフトウェアをアンインストール（削除）する場合は、以下の手順に従ってください。

USB ドライバーのアンインストール

[Windows® 98 Second Edition / Me の場合]

1 **本機の電源を「🎥 動画」に合わせて、USB 接続ケーブルでパソコンと接続する**

2 **コントロールパネルの「システム」を開き、「デバイスマネージャ」タブを選択する**

3 **「CD-ROM」の中にある「MATSHITA DVD-CAMERA M30」を削除する**
ファイルが存在しない場合は次へ進んでください。

4 **「ディスクドライブ」の中にある「MATSHITA DVD-CAMERA M30」を削除する**
ファイルが存在しない場合は次へ進んでください。

5 **「ユニバーサル　シリアル　バス　コントローラ」の中にある下記の項目を削除する「Panasonic DVD CAMERA USB Interface」**
項目が存在しない場合は次へ進んでください。

6 **デバイスマネージャを閉じる**
再起動のメッセージが表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。

7 **下記のファイルを削除する**
C:¥WINDOWS¥INF¥OTHER¥Hitachi, LtdDz31u.inf
C:¥WINDOWS¥INF¥OTHER¥Dz31s.inf
この 2 つのファイルを削除します（98SE ／ Me 共通です）。
INF フォルダが見当たらない場合は、エクスプローラの「表示」メニュー→「フォルダオプション」→「表示」タブの中の「すべてのファイルを表示する」を選択して「OK」をクリックしてから再度試してください。

8 **本機とパソコンの接続を取り外し、パソコンを再起動する**

[Windows® 2000 Professional / XP の場合]

1 **本機の電源を「🎥 動画」に合わせて、USB 接続ケーブルでパソコンと接続する**

2 **コントロールパネルの「システム」を開き、「ハードウェア」タブの中の「デバイス マネージャ」をクリックする**

3 **「DVD/CD-ROM ドライブ」の中にある「MATSHITA DVD-CAMERA M30 SCSI CdRom Device」を削除する**

4 **Windows® 2000 Professional をお使いの場合は、「ディスクドライブ」の中の「MATSHITA DVD-RAM VDR-M30 SCSI CdRom Device」を削除する**
Windows® XP をお使いの場合とファイルが見つからない場合は、次へ進んでください。

5 **「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の中にある「Panasonic DVD CAMERA USB Interface」を削除する**
項目が見つからない場合は、次へ進んでください。

6 **デバイスマネージャを閉じる**
再起動のメッセージが表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。

7 **Windows® 2000 Professional をお使いの場合..... C:¥WINNT¥INF フォルダを開く**
Windows® XP をお使いの場合.................................... C:¥WINDOWS¥INF フォルダを開く
INFフォルダが見つからない場合は、エクスプローラの「ツール」メニュー→「フォルダオプション」→「表示」タブの中の「すべてのファイルとフォルダを表示する」を選択して「OK」をクリックしてから再度試してください。

8 **oem^{x}.inf ファイル(「^{x}」は数字)を「^{x}」の数字が大きい順に Windows® に添付のアプリケーションソフト「メモ帳」で開き、ファイルの２行目および３行目に下記の記載があるファイルを探し、削除する**

```
; Panasonic DVD DIGICAM VDR-M30 SCSI Interface
  Driver Installation File
; Panasonic DVD DIGICAM VDR-M30 USB Interface Driver
```

パソコンの設定によっては、拡張子「.inf」が表示されない場合があります。

9 **手順 8 で削除したファイルと同じ番号の入った oem^{x}.PNF ファイルも削除する**

10 **本機とパソコンの接続を外し、パソコンを再起動する**

その他のアプリケーションの削除

その他のアプリケーションのアンインストールは、「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」を開き、表示されたアプリケーション一覧から該当項目を選択して「変更/削除」ボタンをクリックしてください。

お願い
- ソフトウェアをアンインストールしたときは、必ずパソコンを再起動させてください。

本機とパソコンを接続してお使いになる際のお願い

お願い
- Windows® アプリケーションから本機で撮影した、DVD-R ディスクのファイナライズを行わないでください。本機で認識されなくなります。
- 静止画を加工、編集する場合は、「100CDPFP」フォルダの JPEG ファイルをパソコンのハードディスクにコピーしてから行ってください。
- パソコンから本機のDVD-RAMディスク内に一般のパソコンのデータを書き込むことができますが、動作保証はいたしません。
- 本機に付属のソフトウェア以外のソフトウェアを使用して本機にデータを読み書きできることがありますが、動作保証はいたしません。
- 本機をパソコンに接続したままパソコンをサスペンド（またはスリープやスタンバイ）から起動した場合は、本機を認識できないことがあります。この場合は一度パソコンとの接続を外し、パソコンを再起動させてください。
- パソコンに 2 台以上の DVD ビデオカメラを同時に接続することはできません。

付属ソフトウェアの互換性について

本機の付属のソフトウェアをDVDビデオカメラの以前のモデルでご使用になる場合の互換性は以下の通りです。なお、本機に付属のソフトウェアはオプションキット等で別売されておりません。

<table>
<tr><th></th><th></th><th>VDR-M10
(2000 年発売)</th><th>VDR-M20
(2002 年発売)</th></tr>
<tr><td rowspan="4">本機に付属のソフトウェア</td><td>USB ドライバー</td><td>使用できません</td><td>使用できません</td></tr>
<tr><td>DVD-RAM ドライバーソフト</td><td>読み込み専用として利用可能です。書き込みは動作保証外となります。</td><td>DVD ビデオレコーディングデータ以外のデータの読み書きに利用できますが、一部制限がございます（注 1）。</td></tr>
<tr><td>DVD-MovieAlbumSE</td><td colspan="2">DVD ビデオレコーディング規格の DVD-RAM ディスクの再生のみ可能です。
書き込みはできません。
3D-TitleSTUDIO はご利用になれません。</td></tr>
<tr><td>MyDVD</td><td>使用できません。</td><td>動作保証外になります。</td></tr>
</table>

注 1： DVD-RAM カートリッジのライトプロテクトタブを「消去不可(PROTECT)」の状態にして、Windows® 98 Second Edition / Me から、USB 接続した VDR-M10/VDR-M20へ書き込みやフォーマットを行っても、エラーは表示されず、作業が完了したように見えます。実際の書き込みやフォーマットは行われていません。また、ユーリードシステムズ社の DVD MovieWriterSE、VideoStudio5 SE VR、VideoStudio6 SE VR との組み合わせは動作確認されておりません。

上記情報は2003年3月現在の情報です。内容は予告なく変更されることがあります。

●以前の PC 接続キット /PC 編集キットとの互換性について

パソコン静止画キット VW-DTD1 は DVD ビデオカメラ VDR-M10 専用です。本機での動作保証はいたしません。

DVD ビデオカメラ VDR-M20 に付属の PC 接続キットは、VDR-M20 専用です。本機での動作保証はいたしません。

別売品のご紹介

別売のアクセサリーをご使用になるときは、各アクセサリーの説明書をご覧ください。

カメラアクセサリー

- ソフトケース
  VW-SCGS5
- ワイドコンバージョンレンズ
  VW-LW3007
- MC プロテクター
  VW-LMC30
- ソフトバッグ
  VW-SBJ3
- テレコンバージョンレンズ
  VW-LT3014
- 標準三脚
  VZ-CT55
- ステレオマイクロホン
  VW-VMS2
- ND フィルター
  VW-LND30

ディスク

- 8cm DVD-RAM ディスク 両面
  LM-AK60JE
- 8cm DVD-R ディスク 片面
  LM-RK30JE

カード

■ SD メモリーカード

- 32MB タイプ
  RP-SD032BL1A
- 64MB タイプ
  RP-SD064BL1A
- 128MB タイプ
  RP-SD128BL1A
- 256MB タイプ
  RP-SDH256L1A
- 512MB タイプ
  RP-SDH512L1A

■ マルチメディアカード

- 8MB タイプ
  VW-MMC8
- 16MB タイプ
  VW-MMC16

電　源

- バッテリーパック
  VW-VBD140/VW-VBD210
- AC アダプター / チャージャー
  VW-AD10

お手入れのしかた

本機のお手入れをするときは、必ず電源を切ってください。

液晶モニターやカメラ部のレンズの汚れは

乾いた柔らかい布などでふき取ってください。液晶モニターをふくときには、強く押したり、ひっかいたり、衝撃を与えないようお気を付けください。傷ができたり、表示ムラができることがあります。液晶モニターが壊れるおそれもあります。

本体ケースをベンジンやシンナーでふかない

本体ケースの塗装がはげたり、変色することがあります。本体ケースの汚れは、固く絞った布などでふき取ってください。化学ぞうきんをご使用の際はその説明書に従ってください。

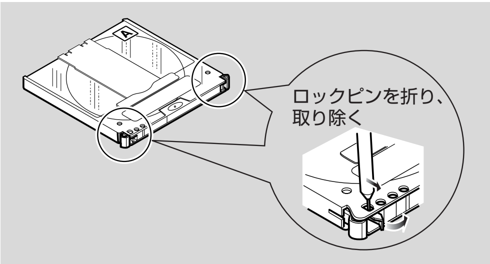
ビューファインダーのレンズにごみが付着したときは

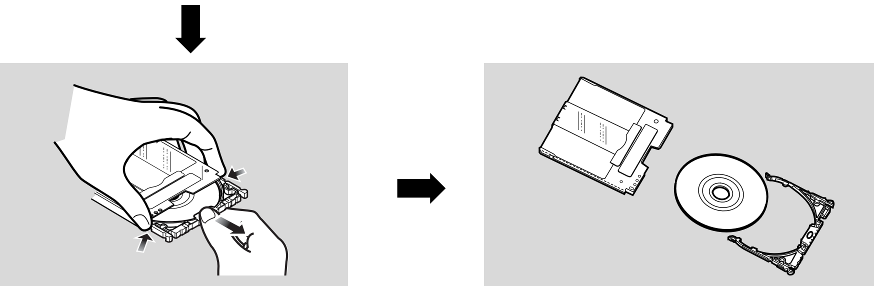
綿棒などでふき取ってください。強くこすると傷ができるおそれがあります。

角型アダプタのディスクについて

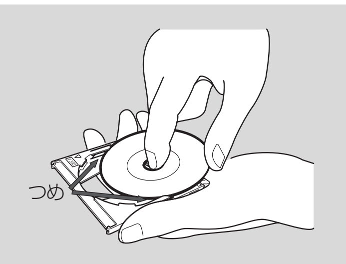
本機では8 cmDVD-RAMディスクや8 cmDVD-Rディスクなどの四角いカートリッジや四角いキャディーケースをお使いになることはできません。
一度四角いカートリッジや四角いキャディーケースからディスクを取り出して、丸型ホルダーにセットしてからお使いください。
詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

●四角いカートリッジからディスクを取り出す





●四角いキャディーケースからディスクを取り出す



つめに引っかからないように、ディスクを斜め上へスライドさせるように取る

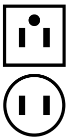
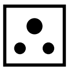
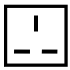
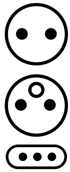
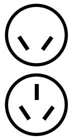
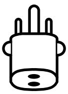
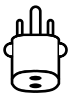
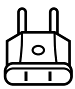
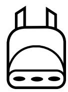
ヒント

- 取り出したディスクを本機で使える丸型ホルダーに正しくセットしたい(☞ P.73)。

海外で使うとき

本機は海外でもお使いいただけます。付属のACアダプター／チャージャーはAC100～240 V・50／60 Hzの電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、コンセントの形状に合った市販の変換プラグアダプターをお求めのうえ、お使いください。各国のコンセントの形状については、旅行代理店などでおたずねください。

●コンセントの形状と変換プラグの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状	 主に北米・南米・グアム・サイパン		 イギリスなど	 主にヨーロッパ	 主にオーストラリア
変換プラグ	不要です。そのままコンセントに差し込んでください。				

●テレビについて

再生映像をテレビに接続してご覧になる際は、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC方式）で、映像・音声入力端子付きのテレビであれば、付属のAV／S入出力ケーブルを使って見ることができます。

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC方式）を採用している国または地域（五十音順）

- ●アメリカ合衆国
- ●アンチグア・バーブーダ
- ●イエメン（一部地域）
- ●英領バーミューダ諸島
- ●エクアドル
- ●エルサルバドル
- ●ガイアナ
- ●カナダ
- ●キューバ
- ●グァテマラ
- ●グァム島
- ●グレナダ
- ●コスタリカ
- ●コロンビア
- ●ジャマイカ
- ●スリナム
- ●セントクリストファー・ネイビス
- ●セントビンセント・グレナディーン諸島
- ●セントルシア
- ●大韓民国
- ●台湾
- ●チリ
- ●ドミニカ共和国
- ●ドミニカ国
- ●トリニダード・トバゴ
- ●ニカラグア
- ●ハイチ
- ●パナマ
- ●バハマ
- ●バルバドス
- ●フィジー
- ●フィリピン
- ●プエルトリコ
- ●米領サモア
- ●ベトナム（一部地域）
- ●ベネズエラ
- ●ベリーズ
- ●ペルー
- ●ボリビア
- ●ホンジュラス
- ●マーシャル諸島
- ●マリアナ諸島
- ●ミクロネシア連邦
- ●ミャンマー
- ●メキシコ

・ 本機は国内仕様です。付属の保証書は国内のみ有効です。万一海外で故障や不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用の補償については、ご容赦ください。

・ NTSC方式以外のTV方式は外部入力による録画はできません。

操作ができないーチェックしてみましょう

チェック 1	動画が撮影できない

動画は、DVD-RAM ディスクまたは DVD-R ディスクにのみ記録可能です。
次のことを確認してください。

- DVD-RAM ディスクまたは DVD-R ディスクが入っていますか？
- 電源スイッチは「動画」に合わせてありますか？
- DVD-RAMディスクをお使いの場合、ディスクプロテクトされていませんか？
  解除してください（☞ P.129）
- 残量がありますか？

それでも撮影できない場合は、ディスクが壊れている可能性があります。
別のディスクをお使いください。

チェック 2	静止画が撮影できない

静止画は、DVD-RAMディスクまたはSDメモリーカード、マルチメディアカードにのみ記録可能です。
次のことを確認してください。

- DVD-RAMディスクまたはSDメモリーカードまたはマルチメディアカードが入っていますか？
- 電源スイッチは記録メディアに応じたところに合わせてありますか？
  - DVD-RAM ディスクをお使いの場合
    「静止画」に合わせてください。
  - SD メモリーカードまたはマルチメディアカードをお使いの場合
    「カード 静止画」に合わせてください。
- DVD-RAMディスクをお使いの場合、ディスクプロテクトされていませんか？
  解除してください（☞ P.129）
- SD メモリーカードをお使いの場合、ロックされていませんか？
- 残量がありますか？

それでも撮影できない場合は、ディスクやカードが壊れている可能性があります。
別のディスクやカードをお使いください。

チェック 3	スキップ再生やサーチ再生がうまくいかない

本機の内部が高温になると正常に動作しないことがあります。一度電源を切り、しばらく待ってから再度電源を入れて操作してください。

チェック４	・本機のアクセス /PC 接続ランプがいつまでも点灯または点滅していて、操作ができない ・ディスクを入れてから撮影できるようになるまで、時間がかかる

以下のような場合は、操作ができるようになるまで通常より時間がかかります。
- ディスクを入れ直したとき
- 日付が変わったとき(一日の最初の記録時)
- 前回撮影した状態から気温が大きく変わったとき
- 傷・汚れ・指紋のあるディスクを入れたとき
- 激しい振動が加えられたとき
- 電源スイッチで電源を切らずに、いきなりバッテリーやDCコードを外したとき

チェック５	カメラが動作しない

十分に充電されたバッテリーパックを取り付けてありますか？
または、コンセントから電源がとってありますか？

チェック６	ビューファインダーに映像が映らない

液晶モニターが開いていませんか？
液晶モニターが本機にしっかりロックされるまで閉じていないと、ビューファインダーに映像は映りません。

チェック７	液晶モニターに映像が映らない

- USB 接続ケーブルでパソコンと接続していませんか？
  USB 接続ケーブルを抜いてください。
- ワイプアウトを設定して再生したシーンの最後で停止していませんか？
  ディスクナビゲーションボタンを押してください。

メッセージが表示されたら

操作の途中でメッセージが表示されることがあります。
メッセージが表示されたときには、その内容に応じて、適切に対処してください。

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
① 映像ファイルの一部にエラーを検出しました。修復を行いますか？	映像記録中や編集（シーン削除・シーン分割・結合・プレイリスト作成など）中に誤って電源を切るなどして、システムがファイル書き込み処理を正常に終了できなかった可能性があります。 「はい」を選択すると、自動的に映像ファイルの修復を行います。「いいえ」を選択しても、次に電源を入れたときに再び同様なメッセージが表示されます（ディスク認識中にディスクは取り出さないでください。ファイル修復機能が働きません）。 画面の指示に従ってください。このときに以下のような注意事項があります。 ・電源を切られたタイミングによっては、修復できない場合があります。 ・他のレコーダーなどで記録されたデータが含まれると、正常に修復できない場合があります。 ・不具合箇所の一部削除などにより、修復されたデータは元の記録内容と異なる場合があります。 ・修復されたデータ（部分修復の場合は修正箇所のみ）については、修復実行時の日時情報が付加されるため、元の日時情報は失われます。 ・全動画→全静止画の順で修復が行われるため、記録内容の前後関係が失われる場合があります（メッセージ②③の場合のみ）。 ・P.177 注 1 参照。	—
② 映像ファイルにエラーを検出しました。修復を行いますか？		
③ 映像ファイルの一部修復に失敗しました。全修復を行いますか？		
① エラーが発生しました。電源を入れ直してください。	エラーが発生しました。 下記の方法で対処してください。 ①電源を切り、バッテリーパックやACアダプター／チャージャーを付け直してから、もう一度電源を入れてください。 ②電源を切り、ディスクを入れ直してください。そのあと、もう一度電源を入れてください。 ③番号（XXXX）をお控えのうえ、お買い上げの販売店へご連絡ください。 P.177 注 3 参照。	33 36 37 38 13
② エラーが発生しました。ディスクを入れ直してください。		
③ エラーが発生しました。エラーコード XXXX 取扱説明書を確認してください。		
④ ERROR XXXX		
① このディスクは初期化されていません。カメラで撮影するには初期化が必要です。	カメラ用に初期化されていないDVD-Rディスクを挿入したときに表示されます。	38
② ただし、PC接続端子から記録する場合は初期化しないでください。		
③ 初期化しますか？		
A C アダプター／チャージャーを使用してください。	バッテリーパックを使っていると、ファイナライズできません。ACアダプター／チャージャーをお使いください。	36 132
A C アダプター／チャージャーを使用してください。電源を切ってください。	バッテリーパックを使っていると、映像ファイルの修復はできません。 手元にACアダプター／チャージャーがない場合は、ディスクを取り出し、裏面または他のディスクをお使いください。取り出したディスクを修復するには、後で本機にディスクを挿入し、ACアダプター／チャージャーを接続してから行えます。	36

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
DPOF が設定されているシーンがありません。	DPOF設定してないカードで、スライドショーの「DPOF」を選択したときに表示されます。	135
DVD-Rディスクの場合、一旦記録した後の動画画質の変更はできません。	DVD-Rディスクの場合、一度記録したあとの動画モードの変更はできません。	27
いくつかの管理情報を追加できませんでした。	登録されているシーン数が登録可能な最大数に達しています。いくつかのシーンを結合するか、削除してください。	98 104
映像ファイルの修復に失敗しました。 ディスクを交換してください。	ディスクを交換してください。	—
映像ファイルの修復に失敗しました。ディスクを初期化するか、交換してください。	・修復しようとしているDVD-RAMディスクに異常が発生しました。ディスクを初期化してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、別のディスクをお使いください。初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。 ・P.177 注2参照。	130
カードエラーが発生しました。	・カードの端子が汚れている可能性があります。汚れを落としてからご利用になるか、別のカードをお使いください。 ・静止画像以外のデータが入っている可能性があります。別のカードをご利用ください。	26
カードエラーが発生しました。 カードを入れたまま電源を入れ直してください。	映像ファイル編集中にカードエラーが発生した可能性があります。 使用中のカードを本機に入れたまま電源を切り、ACアダプター／チャージャーを接続後、再度電源を入れてください。映像ファイルの修復を行います。	36
カードエラーが発生しました。 初期化しますか？	パソコンなどで初期化したカードではありませんか？ 初期化中に中断したカードではありませんか？ 本機で使用する場合は「はい」を選択して、初期化を行ってください。	130
カードエラーが発生しました。 初期化できませんでした。	カードが壊れている可能性があります。別のカードをご利用ください。	26
カードがありません。	カードを入れてください。	40
カードがロックされています。 ロックを解除してください。	誤消去防止スイッチがロックされたカードが入っています。ロックを外してください。	26
カード残量がなくなりました。	これ以上の記録はできません。不要な画像を削除するか、別のカードをご利用ください。	28 98
カード残量がなくなります。	カードの残量が、静止画で残り10枚未満になりました。 不要なシーンを削除するか、別のカードをお使いください。	28 98
カード残量が不足しています。	不要な画像を削除するか、別のカードをご利用ください。	28 98
カード残量が不足しているため実行できません。	不要な画像を削除してからご利用になるか、別のカードをお使いください。	28 98
カードを入れてください。	カードが入っていません。カードを入れてください。	40
管理情報エラーが発生しました。	記録されている映像と、シーン情報の不整合が生じている可能性があります。管理情報更新を行ってください。	131
	・別のディスクをお使いください。 ・P.177 注3参照。	72 73

メッセージが表示されたら

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
記録データがありません。	１シーンも記録されていない状態で、再生などが押された場合に表示されます（ナビゲーションからの再生、編集を実行しようとした場合に表示され、カメラスルーで再生を押しても表示されません）。	—
記録はできません。	本機に入力されている映像信号にコピーガードがかかっている可能性があります。 映画などの映像ソフトには、コピー防止のためのガードがかかっているものがあります。このような映像は、本機で録画することはできません。	61
結合するシーンが複数選択されていません。 シーンを複数選択してから結合してください。	結合したいシーンを２シーン以上範囲選択してから結合してください。	104
このカードには記録できません。	本機で使用できないカードが入っています。別のカードをお使いください。	26
このカードは使用できません。 カードを交換してください。	本機で使用できないカードが入っています。別のカードをお使いください。	26
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？	パソコンなどで初期化したカードではありませんか？ 本機で使用する場合は「はい」を選択して、初期化を行ってください。	130
このディスクには記録できません。	本機で使用できないディスクが入っているか、壊れている可能性があります。 ディスクの種類が正しいか確認してください。また、ディスクが書き込み禁止になっていないか確認してください。	24 129
このディスクはPAL方式で記録されています。ディスクを交換してください。	本機はNTSC方式で記録したディスクのみ使用できます。 PAL方式で記録されたディスクは使用できません。	—
このディスクは使用できません。 ディスクを交換してください。	本機で使用できないディスクが入っています。ディスクの種類が正しいか確認してください。	24
このディスクは初期化されていません。 初期化しますか？	・パソコンなどで初期化したディスクではありませんか？本機でこのディスクを使う場合は「はい」を選択して、初期化を行ってください。初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。 ・P.177 注２参照。	130
削除できるシーンはありませんでした。	ディスクナビゲーションで複数のシーンを削除したとき、選択されているシーンがすべてロックされている場合に表示されます。削除を実行する場合にはロックを解除してください。	98 107
処理を中断しました。	複数のシーンを処理しているときに □（停止／キャンセル）ボタンを押して中断したときなどに表示されます。	—
シーンに関連したファイルが見つかりません。	本機以外の機器でDVD-RAMディスクに記録した静止画を、カードにコピーする場合に表示されます。	—
シーンを削除できません。	分割などの編集を行ったシーンを削除する際に起こる可能性があります。 分割したシーンを結合してから削除してください。	104
静止画の記録はできません。	DVD-Rディスクを使用していませんか？ DVD-Rディスクには静止画の記録はできません。 本機で静止画を記録する場合は、DVD-RAMディスクまたはカードをお使いください。	28
静止画のサムネイルは変更できません。	静止画のサムネイルを変更することはできません。 動画を選択してください。	100

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
静止画は分割できません。	静止画の分割はできません。	105
設定可能なシーン数を超えました。 これ以上、設定できません。	DPOF 設定可能なシーン数は最大 999 シーンです。	108
選択可能なシーン数を超えました。 これ以上、選択できません。	選択可能なシーン数は最大 999 シーンです。	109
選択シーンが連続していないため、結合できません。	選択シーンが連続していないときシーンの結合はできません。	104
選択範囲に静止画が含まれているため結合できません。	動画のみを選択してから結合してください。	104
先頭では分割できません。	シーンの先頭と末尾では、分割できません。	105
末尾では分割できません。		
ディスクエラーが発生しました。	・別のディスクをお使いください。 ・P.177 注 3 参照。	73
	・本機以外の機器で編集して記録情報の不整合が生じている可能性があります。ディスクを初期化してからご利用になるか、別のディスクをお使いください。 ・初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。	130
ディスクエラーが発生しました。初期化しますか？	・パソコンなどで初期化したディスクではありませんか？初期化中に中断したディスクではありませんか？本機でこのディスクを使う場合は「はい」を選択して、初期化を行ってください。初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。 ・P.177 注 2 参照。	130
ディスクエラーが発生しました。 初期化できませんでした。	ディスクが汚れているなどの可能性があります。ディスクを取り出し指紋やほこりなどを落としてからご利用になるか、別のディスクをお使いください。 また、初期化が途中で中断されたディスクを再度入れたときにも、表示されることがあります。このようなときは、別のディスクをお使いください。	73 130
ディスクエラーが発生しました。 ディスクを入れたまま電源を入れ直してください。	映像ファイル編集中にディスクエラーが発生した可能性があります。使用中のディスクを本機に入れたまま電源を切り、AC アダプター／チャージャーを接続後、再度電源を入れてください。映像ファイルの修復を行います。	36
ディスクエラーが発生しました。ファイナライズできませんでした。	・ファイナライズ中にディスクエラーが発生し、ファイナライズに失敗したときに表示されます。ディスクを交換してください。 ・P.177 注 3 参照。	72 73 132
ディスクが高温のため処理を継続できません。 しばらく間をおいてから実行してください。	本機内の温度が高温になっています。本機内の温度が高温になると正常にディスクへの書き込みやディスクからの読み込みができない可能性があります。電源を切ってしばらくお待ちください。	41
ディスクが初期化されていません。	・ディスクが初期化されていないか、壊れている可能性があります。 このメッセージが出たら、必ず本機で初期化してからお使いください。 それでも同じメッセージが表示される場合は、ディスクが壊れている可能性があります。別のディスクを使用してください。 本機で使用したディスクでも、再度初期化が必要になる場合もあります（初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます）。	130
	・P.177 注 2 参照。	72 73

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
ディスク残量がなくなりました。	ディスクがいっぱいになり、これ以上記録することはできません。	27
ディスク残量がなくなります。	ディスクの残量が、動画で１分以内、静止画で10枚未満になりました。 不要なシーンを削除するか、別のディスクをお使いください。	27 28 98
ディスク残量が不足しているため実行できません。	不要な映像を削除してからご利用になるか､別のディスクをお使いください。	98
ディスク内に管理情報がないシーンがあります。管理情報を追加しますか？	・本機以外の機器で編集されたディスクを使用したときに､表示される場合があります。この場合、確認画面で「はい」を選択してください。本機で再生可能な状態にし､正常にディスクナビゲーション画面を表示します。 ・本機で日付をまたがるシーン結合を行ったディスクを使用すると表示される場合があります｡「はい」を選択すると結合したシーンを分割し､正常にディスクナビゲーション画面が表示されます｡「いいえ」を選択すると結合したシーンを分割せずに正常にディスクナビゲーション画面を表示します。ただし、この場合、電源を入れるたびにこのメッセージが表示されます。	131
ディスクに保存中です。	撮影した映像をディスクに保存しています。 メッセージが消えたら、使用を開始できます。	46 48
ディスク認識中です。	正しいディスクが入っているか、本機がチェックしています。 メッセージが消えたら、使用を開始できます。日付が変わったときは、このメッセージが少し長く表示されます。	―
ディスクを入れてください。	本機､またはディスクを温度の低いところから温かいところへ移すと､カメラのレンズまたは本機の内部に露付きが発生してこのメッセージが表示されることがあります。 ディスクを入れたまま､電源を切った状態でなるべく乾燥した場所に1～2時間以上、放置してください。	13
	ディスクが入っていません。 ディスクを入れてください。	37
動画はカードへコピーできません。	動画はカードへコピーできません｡静止画を選択してからコピーを実行してください。	106
登録可能なシーン数を超えています。シーンを移動できません。	シーン数が登録可能な上限に達している場合で､シーンの並べ替えをしようとしたときに表示されます。	115
登録可能なシーン数を超えています。 シーンを登録できません。	プレイリストに登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。別のシーンをいくつか削除してください。	115 120
登録可能なシーン数を超えています。 シーンを分割できません。	登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています｡別のシーンをいくつか削除してください。	105 115
登録可能なプレイリスト数を超えています。	すでにビデオレコーディング規格上限値まで登録済みの場合で､プレイリスト作成で新規もしくは編集が選ばれた場合に表示されます。	115
登録シーンが全て削除されたため、編集されたプレイリストを削除しました。	プレイリストのシーンがすべて削除されました。 規格上、シーンのないプレイリストを保持できていないので､登録シーンがすべて削除されたプレイリストは削除されます。	120 122
バッテリーが消耗しています。 交換してください。	充電したバッテリーに交換してください。 または、ACアダプター／チャージャーをご使用になり、コンセントから電源をとってください。	32 36

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
表示分類が "全て" の場合のみ実行可能です。	表示分類が動画／静止画のときに、シーンの結合や並べ替えを選んだ場合に表示されます。	133
ファイナライズが途中で中断された可能性があります。ファイナライズしますか？	ファイナライズ途中に停電などで電源が切れたあとに、電源投入・ディスク挿入をした場合に表示されます。 ファイナライズを行う場合は「はい」を選び、再度ファイナライズを行ってください。	132
複数シーン選択時には実行できません。	複数シーン選択時に、分割や、サムネイル変更を実行した場合に表示されます。	95
プレイリストが登録されていません。	プレイリストが1つも登録されていない状態で、プレイリスト切替を選んだ場合に表示されます。	117
プレイリスト中の関連シーンも削除されます。シーンを削除しますか？	シーン削除の際に表示されます。 ディスク内にプレイリストがある場合に、プログラムでシーン削除を実行すると表示されます（プレイリストでシーン削除をしてもメッセージは表示されません）。	98
プログラムのシーンは並べ替えできません。 プレイリストを作成してください。	シーンの並べ替えができるのはプレイリストのみです。 プレイリストを作成し、プレイリスト内でシーンの並べ替えを行ってください。	124
プロテクトされたシーンが含まれます。シーンを削除しますか？	本機以外の機器でソフトウェアプロテクトがされている可能性があります。その場合はソフトウェアプロテクトをかけた機器でソフトウェアプロテクトを解除してください。	—
プロテクトを解除しようとすると「ディスクエラー」が表示される。	本機付属のCD-ROM内のDVD-RAMドライバーに付属するライトプロテクト設定したディスクは、本機単独ではプロテクト解除できません。プロテクトを解除するには、パソコンからライトプロテクト設定ツールをお使いください。	—
ライトプロテクトされています。 ライトプロテクトを解除してください。	ライトプロテクトされたディスクが入っています。 ディスクナビゲーションのメニューからライトプロテクトを解除してください。	129

注 1）・ディスクに汚れが付着したときにもこのメッセージが出ることがあります。もし、映像を記録済みのディスクを入れた直後のディスク認識動作後にこのメッセージが表示されたときは、修復をせず、ディスクを取り出して、ディスクの汚れを柔らかい乾いた布でふき取ってからご使用ください。
・結露した場合にもこのメッセージが出ることがあります。この場合は修復をせず、電源を切り、乾いてから再び電源を入れてください。
・カメラで記録後、カメラからディスクを取り出さないで、電源を切→入して、修復メッセージが出た場合は、修復を選択してください。
・他のディスクだと正常に記録再生できる場合で、結露もディスクの汚れでもないのに修復メッセージが出る場合は、修復を選択してください。

注 2）・ディスクに汚れが付着したときにもこのメッセージが出ることがあります。この場合は初期化をせず、ディスクを取り出して、ディスクの汚れを柔らかい乾いた布でふき取ってからご使用ください。
・結露した場合にもこのメッセージが出ることがあります。この場合は初期化をせず、電源を切り、乾いてから再び電源を入れてください。
・初期化するとディスクに記録されている内容は消去されます。

注 3）・ディスクに汚れが付着したときにもこのメッセージが出ることがあります。ディスクを取り出して、ディスクの汚れを柔らかい乾いた布でふき取ってからご使用ください。
・結露した場合にもこのメッセージが出ることがあります。乾いてからご使用ください。

故障かな…と思ったら

修理を依頼する前に、下記のことをお調べください。それでも動作に支障が出たときは、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、アフターサービスについては、P.194 をご覧ください。

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
電源について	バッテリーパックが充電されない	AC アダプター／チャージャーに DC コードが接続されていませんか？ 外してください。	32 36
	＊右の対処で解決しない場合は、バッテリーパックの寿命が考えられます。新しいバッテリーパックをご用意ください。	バッテリーパックが異常に熱くなっていませんか？ バッテリーパックを外して、しばらく放置し、温度が低くなってから充電してください。 周囲の温度が低い、または高くなっていませんか？ 充電は気温が 10 ～ 30℃の環境で行ってください。	32
		長期間使用しなかったバッテリーパックではありませんか？ 一度バッテリーパックを外し、取り付け直してください。	33
	バッテリーパックがすぐになくなる	温度が極端に低い場所で使用しませんでしたか？ 満充電されたバッテリーパック（VW-VBD140）は、通常 40 分～ 60 分は使用できますが、寒冷地などではこれより早くなくなります。 低温の場所でご使用になるときは、バッテリーパックを多めにご用意ください。	34
		バッテリーパックの寿命が考えられます。 バッテリーパックは、長期間あるいは頻繁に使用すると、性能が劣化します。新しいバッテリーパックをお買い求めください。	35
	AC アダプター／チャージャーの CHARGE ランプが点滅している	周囲の温度が低い、または高くなっていませんか？ 充電は気温が 10 ～ 30℃の環境で行ってください。バッテリーパックが過剰に放電している可能性があります。そのまましばらく充電を続けると、規定の電圧まで充電され、充電ランプが点灯します。そのあと、正常に充電されます。	32
	電源を入れてもすぐに切れる	バッテリーパックは充電されていますか？ バッテリーパックを充電してください。	32
	電源を入れると、液晶モニターがついたり消えたりする		
	途中で電源が切れる	パワーセーブの設定が「オン」になっていませんか？ 「オン」に設定してあると、電源を入れたままの状態で撮影や再生をしないで5分以上経過すると、自動的に電源が切れてしまいます。電源スイッチを「電源／切」に合わせて、再度電源を入れてください。自動で電源を切らないようにするためには、パワーセーブの設定を「オフ」にしてください。	89
	電源が切れない	バッテリーパックまたはACアダプター／チャージャーを抜いてください。そのあと、本機のリセットボタンを押し、再度電源を入れてください。	—

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
撮影・録画時	「録画」ボタンを押しても録画が始まらない	入力されている映像にコピーガードがかかっていませんか？ コピーガードがかかっている映像は、本機では録画できません。	61
	録画を開始しても、すぐ止まってしまう	ディスクに傷や汚れ、指紋はありませんか？ ディスクをクリーニングしてください。それでも改善されない場合は、ディスクを交換してください。	73
		本機を高温下で長時間ご使用になった場合、レーザーピックアップ部の保護のために、自動的に記録が停止する場合があります。その際には、本機のメッセージに従って操作してください。また、電源を切ってしばらくお待ちいただくと記録が可能となります。	—
		他のAV機器から直接本機の映像／音声入力端子に接続していますか？ AVセレクタなど多くの機器を経由して接続すると、映像信号がうまく伝わらない場合があります。その場合は、映像信号が経由する機器の数を減らすか、直接接続してください。	60
		テレビゲーム機やパソコンの映像を録画しようとしていませんか？ テレビゲーム機やパソコンの機種によっては、映像を本機で録画できない場合があります。	61
	手に振動を感じる、本機から小さな音がする	ディスクドライブの動作により発生しています。故障ではありません。	42
	液晶モニターが見にくい	液晶モニターの明るさは調節しましたか？ 撮影や録画を停止し、液晶モニターの明るさを調節してください。	88
		屋外で使用していますか？ ビューファインダーをお使いください。液晶モニターをお使いになる場合は、液晶モニターに直射日光が当たらないように、角度を調節してみてください。	42 43
	ピントが合わない	オートフォーカスが働きにくい被写体ではありませんか？ 手動でピントを合わせてください。	53
		「MF」と表示されていませんか？ マニュアルフォーカスになっています。手動でピントを合わせるか、マニュアルフォーカスを解除してください。	52
		ビューファインダーの場合は、視度調節が合っていますか？ 視度調節をしてください。	42
		上記以外の場合は、一度電源を切り、入れ直してください。	41
再生時	ディスク認識が終了しない	ディスクが汚れていませんか？ 柔らかい乾いた布でふきとってください。	73
	再生ボタンを押しても再生できない	本機以外で記録した映像ではありませんか？ 本機以外で記録した映像は、本機で再生できないことがあります。	63
		本機以外で映像を編集しませんでしたか？ 本機以外で本機の映像を編集すると、本機では再生できないことがあります。	63

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
再生時	テレビに再生映像が出ない	テレビの入力切換は正しく設定されていますか？ テレビによってはビデオ入力が複数あるものがあります。接続した端子に対応する入力になっているか、確認してください。 ビデオデッキに接続しているときは、ビデオデッキの入力切換を「外部入力」（LINE）にしてください。	69
		テレビと正しく接続されていますか？ 接続を確認してください。	68
	再生画面が一瞬途切れることがある	ディスクに傷や汚れ、指紋はありませんか？ ディスクをクリーニングしてください。	73
	再生映像の画質が悪い	アナログ方式のビデオ（VHSや8mm）からのAV入力映像を録画した映像ではありませんか？ 再生側にTBC回路を搭載したビデオデッキを用いると改善される場合があります。	—
	再生静止画像にぶれが多い	外部入力で「フレーム」を選択して撮影しませんでしたか？ 動画モード設定の「外部静止画入力」を「フィールド」に設定してください。	85
	音声が出ない	テレビの音量は正しく設定されていますか？ テレビの音量を調節してください。	69
	ディスクナビゲーションのサムネイルが表示されない	AV／S入出力端子に接続して録画したときに、映像が乱れていませんでしたか？ ノイズや乱れのない映像を録画してください。	—
パソコンと接続しているとき	パソコンにドライブアイコンが表示されない	カメラの電源は入っていますか？ 電源を確認してください。	41
		ドライバーが正しく認識されていません。 パソコンの電源を入れ直してください。それでもドライブアイコンが表示されない場合は、デバイスマネージャの「ドライバの更新」でドライバーの再インストールを行ってください。	142
		パソコンの電源を切ってからUSB接続ケーブルを一度外してください。再度パソコンの電源を入れて、USB接続ケーブルで本機と接続してください。	153
		USB接続ケーブルが本機に根元まで挿入されていることをご確認ください。	141
		Windows®のデバイスマネージャに黄色い（！）マークが付いている項目がある場合には、P.163の手順に従い一度USBデバイスドライバーのアンインストールを行い、P.141の手順に従いUSBドライバーのインストールを再度行ってください。	141 163
	本機のパソコン再生で再生が滑らかではない	USB接続で発生する場合は、転送レートが十分でない場合に発生します。	140
	パソコンのアプリケーションが正常に動作しない	一度パソコンと本機の電源を切り、再度試してください。	—

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
パソコンと接続しているとき	DVD-R ディスクへの書き込み中にエラーが出る	本機が連続動作により、高温になっています。一度パソコンと本機の接続を外し、本機からディスクを取り出したあと本機の電源を切ってください。しばらくしてから再度接続し、新しいディスクに書き込みを行ってください。	153
	映像を転送している間に停止してしまう	お使いのパソコンの別の USB 端子に接続してください。デスクトップ型パソコンの場合、リアパネルの USB 端子をおすすめします。	153
	添付のソフトウェアをインストールしたら、パソコンに内蔵しているＤＶＤ-RAM/R/RW ドライブが使えなくなった	お使いのパソコンのDVD-RAM/R/RW関連ソフトウェアをバージョンアップするか、DVD-RAMドライバーをアンインストールすると解決することがあります。ただし、Windows® 98 Second Edition / Me / 2000 Professional の場合は、DVD-RAM ドライバーをアンインストールすると、本機の DVD-RAM に記録された JPEG 静止画をパソコンで読み出せなくなります。	—
	DVD-MovieAlbumSE で DVD-R ディスクが再生できない	DVD-MovieAlbumSEはDVD-Rディスクの再生、取り込みに対応しておりません。パソコンでの DVD-R 再生には、市販の DVD ビデオ再生ソフトウェアをご利用ください。	149
	DVD-MovieAlbumSE を起動するとエラーが表示される。またはパソコンが応答しなくなる	お使いのパソコンのディスプレイアダプタ（ビデオカード）が DirectX 8.1 に対応しているかご確認ください。	140
	DVD-MovieAlbum コピーツールでパソコンのハードディスクに取り込んだ映像が編集できない	DVD-MovieAlbumSE はパソコンのハードディスクに保存された DVD-VR データを編集することはできません。そのデータを別の DVD-RAM ディスクにコピーしてから編集してください。	155
	パソコンのアプリケーションから動画が認識されない	本機の電源スイッチが「 動画」または「 静止画」になっていることをご確認ください。	142
	ＰＣ接続中にディスク取出しボタンが効かない	ＰＣ接続中のディスクの取り出しは、エクスプローラから DVDビデオカメラのドライブを右クリックして「取り出し」を実行してください。	154
	パソコンのエクスプローラやアプリケーションから DVD ビデオカメラの DVD-RAM ドライブが開けない エラーが表示されるディスクの取り出しができない	DVD-MovieAlbumSE が起動している場合は、終了してください。	—
	パソコンでＤＶＤ-RAM 内のファイルのタイムスタンプを見ると、撮影時刻とずれている	本機のファイルシステムは UTC(協定世界時）で動作しており、時差情報は未設定となっています。2003 年 1 月現在の Windows®では、エクスプローラから見えるファイルのタイムスタンプは撮影時刻と差があるように見えます。なお、再生画面上の日付表示は実際の撮影時刻で表示されます。	—

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
パソコンと接続しているとき	DVD-MovieAlbumSE起動時に「ドライブX：のディスクはDVD-MovieAlbumでは使用できません。」と表示される	DVD-RAM以外のディスクがドライブにセットされている。DVD-MovieAlbumSEはDVD-RAM以外のメディアにはお使いになれません。 そのダイアログボックスの「環境設定」ボタンをクリックして、「デバイス設定」タブをクリックして、「ドライブ選択」欄で編集するDVD-RAMディスクの入ったドライブを選択し、「OK」をクリックしてください。	160
	DVD-MovieAlbumSEを起動しても、記録されているはずの映像が表示されない	DVD-MovieAlbumSE 画面の右上にある「環境設定」ボタンをクリックして、「デバイス設定」タブをクリックして、「ドライブ選択」欄で編集する DVD-RAM ディスクの入ったドライブを選択し、「OK」をクリックしてください。	160
	DVD-MovieAlbumSEで「切り出し」を行うと、読み込みが途中で止まってしまう	「簡易（高速）切り出し」を選択していると、読み込みが途中で止まることがありますので、選択しないでください。	161
	DVD-MovieAlbumSEで「切り出し」を行うと、読み込みに時間がかかる	切り出す範囲に静止画が含まれていると、再エンコードしながら読み込まれるため、時間がかかる場合があります。 「マーカー毎に分割」を選択していないと、再エンコードしながら読み込まれることがあるため、時間がかかる場合があります。	161
その他	電源が入らない、ボタンを押しても操作を受け付けない	システムリセットを行ってください。	184
		本機に強い衝撃を与えませんでしたか？ 本機が壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	日付・時刻が合わなくなった	長時間使用していませんでしたか？ 内蔵電池がなくなっている可能性がありますので、充電してください。	45
	シーンの削除ができない	削除したいシーンにカーソルが合っていますか？ 黄色のカーソルで任意のシーンを選んでも選択済みのシーン（赤枠のあるシーン）があるとそのシーンが削除されてしまいます。 サムネイル画面でカーソルとバーグラフの色を確認してください。	95 98
	ディスクが取り出せない	電源を切る前にバッテリーパックやACアダプター／チャージャーを外しませんでしたか？ バッテリーパックまたはACアダプター／チャージャーをもう一度接続し、電源を切／入してから取り出してください。	36 39

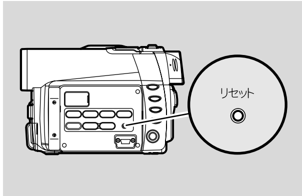
	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
その他	リモコンで操作できない	リモコンをカメラの受信部に向けていますか？ カメラの受信部に向けて操作してください。	31
		カメラの受信部に直射日光や蛍光灯の強い光が直接当たっていませんか？ 受信部に強い光が当たっていると、操作できません。 カメラの置き場所や角度を調整してください。	31
		リモコンに電池は入っていますか？ 電池の向きも確認してください。電池がなくなっている可能性もあります。電池を交換してみてください。	31
		カメラの電源は入っていますか？ カメラの電源を入れてください。	41
	ふたが閉まらない	ディスクが正しく挿入されていますか？ ディスクを取り出して、もう一度挿入してみてください。	37
		誤った向きで挿入していませんか？ ディスクを取り出して、もう一度挿入してみてください。	37
	周期的に動作音がする	ディスクを周期的に動作させているために出る音です。故障ではありません。	—

システムリセット

本機が正常に動作しないときは、システムリセットを行うと、回復することがあります。システムリセットをすると、すべての設定値が工場出荷時の状態に戻り、日付もリセットされます。使用開始前に日付を設定し直してください。

1 電源を切る
電源スイッチを「電源／切」に合わせてください。
バッテリーパック・AC アダプター／チャージャーも外します。

2 先の細いペンなどでリセットボタンを数秒間押す
システムがリセットされます。



お願い • リセットボタンは強く押さないでください。

●設定項目一覧

	設定項目	初期設定	設定方法
カメラ機能設定	プログラム AE	オート	P.77
	ホワイトバランス	オート	P.78
	手振れ補正	オン	P.80
	デジタルズーム	40x	P.81
	ウインドカット	オフ	P.82
記録機能設定	動画画質	FINE	P.83
	静止画画質	FINE	P.84
	入力切替	カメラ	P.84
	静止画外部入力	フィールド	P.85
	セルフタイマー	オフ	P.86
	画面表示出力	オン	P.87
日付機能設定	表示モード	年／月／日	P.45
	日付設定	2003. 1. 1 0:00	P.44
液晶モニター設定	明るさ	◀ □■□ ▶	P.88
	色のこさ	◀ □■□ ▶	P.88
初期設定	操作音	オン	P.89
	パワーセーブ	オフ	P.89
	録画ランプ	オン	P.90
	言語切替	日本語	P.91

※ 使用するディスクやカードによっては表示されない項目もあります。

主な仕様

DVD ビデオカメラ

電源	DC 7.9/7.2 V
消費電力	録画時 (FINE) 4.7 W（ファインダー使用時） 5.7 W（液晶使用時 明るさ：標準）

CCD		1/4 型インターレース 総画素数約 68 万画素 有効画素数　動　画：約 34 万画素 静止画：約 31 万画素
レンズ		F1.8-2.5　f=3.15-31.5 mm フィルター径 30.5 mm
フォーカス		オートフォーカス／マニュアルフォーカス
ズーム		光学 10 倍／デジタル併用 240 倍 （静止画時は 40 倍）
必要最低照度		12 ルクス（ローライトモード時：3 ルクス）
ビューファインダー		0.44 型カラー TFT（約 11 万画素）
液晶モニター		2.5 型カラー TFT（約 12 万画素）
手ぶれ補正方式		電子式
シャッター速度		1/60 ～ 1/4000（動画）
セルフタイマー撮影		あり　（静止画モードのみ）
外部マイク端子		ステレオミニジャック φ 3.5 mm プラグインパワータイプのマイクはご使用できません。
USB		USB2.0 準拠（最大 12 Mbps）
撮影モード		動画（音声つき）
		静止画（DVD-RAM ディスク／ SD メモリーカード／マルチメディアカード）
最大記録時間（片面あたり）	DVD-RAM ディスク	(XTRA) 約 18 分／(FINE) 約 30 分／ (STD) 約 60 分
	DVD-R ディスク	(FINE) 約 30 分／(STD) 約 60 分／ (LPCM) 約 30 分
最大記録枚数	DVD-RAM ディスク（片面あたり）	静止画　999 枚 ただし動画と混在の場合、枚数が減少します。
	カード	画質やカードの種類により異なります （☞ P.28）。

記録方式	DVD-RAM ディスク	動　画：DVD ビデオレコーディング規格準拠 音　声：MPEG1 オーディオレイヤー 2 静止画：JPEG（640 × 480 画素）および DVD ビデオレコーディング規格準拠（704 × 480 画素）の同時記録
	DVD-R ディスク	動　画：DVD ビデオ規格 音　声：MPEG1 オーディオレイヤー 2 または リニア PCM ＊[1]
	カード	静止画：JPEG 規格準拠（640 × 480 画素）
音声再生方式		MPEG1 オーディオレイヤー 2、リニア PCM、ドルビー AC3
記録メディア		8 cmDVD-RAM（DVD-RAM Ver. 2.1 Book2.1 準拠） 8 cmDVD-R (DVD-R for General Ver. 2.0 準拠) SD メモリーカード、マルチメディアカード
端子		映像音声入出力× 1、外部マイク入力× 1、USB 接続端子（パソコンの USB 端子へ接続）× 1
バッテリーパックシステム		リチウムイオン
外形寸法（幅×高×奥行）		約 57 × 89 × 134 mm （突起物含まず）
許容動作温度（湿度）		0 ～ 40 ℃（80 %以下） ただしパソコンとの接続時は、0 ～ 30 ℃
本体質量		約 480 g （バッテリーパック、ディスク等含まず）
撮影時総質量		約565 g（バッテリーパックVW-VBD140使用時）

＊ 1：MPEG1 オーディオレイヤー 2 方式は、DVD ビデオ規格のオプション規格です。ファイナライズ済みのDVD-RディスクをDVDプレーヤーでご覧になるとき、ご使用になるDVDプレーヤーが MPEG1 オーディオレイヤー 2 に対応していない場合は、LPCM モードで録画してください。

AC アダプター

電源	AC100 － 240 V　50/60 Hz
入力容量	26 VA（AC100 V 時）/36 VA（AC240 V 時）
DC 出力	7.9 V　1.4 A（ビデオカメラ）
充電出力	8.4 V　0.65 A（充電）

質量	約 105 g
外形寸法（幅×高×奥行）	約 61 × 32 × 91 mm
許容動作温度	0 ～ 40 ℃
許容相対湿度	10 ～ 80 %

さくいん

さくいんの見かた
見出し言語と同一のものは「～」で省略してあります。

英数字

ア行

カ行

さくいん

サ行

さくいん

MEMO

ユーザーサポートについて

アクセスお待ちしております

ビデオの撮りかたや新製品情報など、パナソニックビデオ／ビデオカメラのホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/dvc

製品のサポート情報について

http://panasonic.jp/support

MyDVD に関して

MyDVDについてのお問い合わせは、下記のソニックDVDサポートセンターへお願いいたします。

ソニック DVD サポートセンター

TEL　03-5232-5065
E-mail　dvdsupport@sonicjapan.co.jp
URL　http://www.sonicjapan.co.jp/support/
電話受付時間：am10:00 ～ pm12:00 および pm1:00 ～ pm5:00
（土日、祝祭日、年末・年始および特別行事日を除く）

ユーザー登録はオンラインで受け付けております。
ソニックユーザー登録ページよりご登録ください。
URL http://www.sonicjapan.co.jp/register/register.html

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！

●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVDビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	DVDビデオカメラ
品　番	VDR-M30K
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック
修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-087-087

• お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
• 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
• 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365** (パナは 365日)

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)